

臨床実習（Ⅰ・Ⅱ）

責任者・コーディネーター		科目責任者： 口腔顎顔面再建学講座（口腔外科学分野）山田 浩之 教授 総ライター長： 歯科保存学講座（歯周療法学分野）佐々木 大輔 教授		
担当講座（分野）		歯学部臨床科目担当教員		
対象学年	5	区分・時間数 (半日を4時間に換算)	講義/演習	実習
期間	通期		前期	— 504.0時間
			後期	— 708.0時間

学修方針（講義概要等）

将来、歯科医師として適切な歯科医療を提供するために、岩手医科大学附属病院および内丸メディカルセンター歯科医療センターで診療参加型臨床実習を行う。本実習を通して、歯科臨床に必要な知識・技能・態度を身につける。

教育成果（アウトカム）

患者を全人的・全身的に捉えるMultidisciplinary Comprehensive Careを基本とした態度を養うとともに、歯科医師として必要な基本的臨床能力を習得するため、患者の同意を得て、指導医のもとで実際の歯科医療に携わる。指導医の行う歯科治療の介助や見学に加えて、地域医療への参加や介護体験を通して幅広い臨床経験を積む。

（関連するディプロマポリシー：1、2、3、4、5、6、8、9）

到達目標（SBOs）

- 1) 診療の基本
信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、救急処置法を身に付けるとともに、患者への安全対策に配慮した歯科医療を実践する。
- 2) 基本的診察・診断技能
患者から詳しく症状を聴取したうえで診察を行い、適切な検査を選択して診断できる技能を身に付ける。
- 3) 症候・病態からの臨床推論
口腔・顎顔面領域の主な症候・病態から原因疾患を鑑別診断できる基本的能力を身に付ける。
- 4) 診療記録の整理と治療計画立案
患者から得られた医療情報の取り扱いを理解し、個々の患者の抱える背景を踏まえた治療計画の立案法を身に付ける。
- 5) 基本的治療手技
安全・安心な歯科医療を提供するために、基本的治療技能を身に付ける。
- 6) 多職種連携、チーム医療、地域医療
医療チームの一員として介護体験、地域医療に参画する。

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている臨床実習内容を確認し、自験症例もしくは各臨床科目の実習で行う項目に沿った知識を教科書等を用いて習得する。必要であれば口腔模型を用いて技能を習得する事前学修を行うこと。各臨床実習内容に対する事前学修の時間は1日あたり平均60分を要する。

【事後学修】

臨床実習後に指導医から得たフィードバックをもとに、不十分だった項目に対して教科書等を用いて事後学修を行うこと。各実習項目に対する事後学修の時間は1日あたり平均60分を要する。

（事前学修：1日あたり平均60分を要する 事後学修：1日あたり平均60分を要する）

教科書・参考書・推薦図書…予め指定する図書はありません。

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年

成績評価方法・基準・配点割合等

1. 実習科目とリクワイアメント
 実習科目は17科目とする。リクワイアメントは、総合歯科学200点、その他の科目を各100点とし、17科目合計1800点とする。
 [G-1～5]
2. 修了要件
 下記の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の要件を満たしていることを臨床実習修了の要件とする。
 - (1) 全科目のリクワイアメントを100%以上達成していること。
 - ・前期リクワイアメント：原則として7月末の時点で全科目合計650点を達成すること。
 - ・中期リクワイアメント：原則として12月末の時点で全科目合計1500点を達成すること。
 (上記が達成できない場合は長期休業期間等に補習等を課す場合がある)
 - (2) 臨床実習開始日から臨床実習終了日までの臨床実習の全日程において、4/5以上出席していること。
 - (3) 臨床実習後臨床能力試験「一斉技能試験」および「臨床実地試験」に合格していること。
 - (4) 介護体験実習および地域医療体験実習を修了していること。
 - (5) 岩手医科大学附属病院総合安全教育プログラム研修を2回以上受講していること。
3. 評価方法
 - 1) 基礎点
 - (1) 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)を満たしている場合、基礎点を65点とする。
 - (2) 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)のいずれか一つを満たしていない場合、基礎点を0点とする。
 - 2) 総合評価点
 - (1) 各科目において、臨床実習の到達度評価を行い35点満点で評価する。
 ※35点の評価方法は各科目の項に記載する。
 - (2) 17科目の総合評価の点数の平均を臨床実習の総合評価点とする。
4. 臨床実習の評価点
 - (1) 基礎点に総合評価点を加えた点数を臨床実習の評価点とする。
 - (2) 評価点が65点以上を臨床実習修了とする。

特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等)

必要に応じてWebClassを使用して資料配布、レポートの提出等を行う(各科目による)。学生の出欠確認およびリクワイアメント進行状況の管理は、e-ログブックシステムを利用する。学生が作成したレポートおよび臨床実習後のフィードバック等は、シラバスに記載されている各指導教員のオフィスアワーを利用して行う。

当該科目に関連する実務教員の有無…有(大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う)

授業に使用する機械・器具と使用目的…別に示す。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的

臨床実習Ⅰ：予防歯科学・歯周病学

ライター長：口腔医学講座（予防歯科学分野） 大石 泰子 助教
歯科保存学講座（歯周療法学分野） 鈴木 啓太 助教

1. 教育成果（アウトカム）

予防歯科学・歯周病学臨床の基本的な知識、技能、態度を修得することで、実際の予防歯科学・歯周病学臨床を行う準備ができる。

DP 項目番号：6

2. 到達目標（SB0s）

- ① 適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者対応できる。
- ② 医療面接における基本的なコミュニケーションができる。
- ③ 患者の病歴を聴取できる。
- ④ 適切な個人用防護具(PPE)を選択して着用できる。
- ⑤ 検査、治療に必要な器具を準備できる。
- ⑥ 清潔に配慮した操作ができる。
- ⑦ 歯周組織検査を実施できる。
- ⑧ 歯周基本治療としてスケーリングができる。
- ⑨ PMTC を実施できる。
- ⑩ 検査、治療の際に指導教員への報告・確認ができる。
- ⑪ 医療廃棄物を適切に分別し廃棄できる。

コア・カリキュラム番号

D-5-2-3-2、E-1-1-3、4、E-2-1-1-1、2、4、E-5-2-3、E-5-3-3-2

3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
3/30～4/7	2階歯周病外来	・問診、歯式確認、歯周組織検査、スケーリング、PMTC について相互実習

4. 実習担当者

臨床実習（I）・・・3月30日～4月7日

歯周科

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 鈴木 啓太 相原 恵子
午後	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 鈴木 啓太 相原 恵子

予防歯科

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	佐藤 華子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 大石 泰子 衣斐 美歩	杉山 由紀子 佐藤 華子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 杉山 由紀子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 大石 泰子 衣斐 美歩
午後	佐藤 華子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 大石 泰子 衣斐 美歩	杉山 由紀子 佐藤 華子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 杉山 由紀子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 大石 泰子 衣斐 美歩

臨床実習Ⅰ：保存修復学・歯内治療学

ライター長：歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 大塚 泰寛 助教

1. 教育成果（アウトカム）

臨床実習Ⅱにおいて、保存修復学および歯内治療学の臨床実習を効果的に行うために必要な、基本的な知識・技術・態度を修得する。

あわせて、歯内疾患を含む歯の硬組織疾患に対する適切な診査・診断および治療方針（計画）の立案について理解を深め、治療に必要な基本的臨床技能を身につける。

2. 到達目標（SBOs）

1) 診療環境・基本操作

- ①清潔・不潔操作を適切に区別し、遵守できる。
- ②歯科ユニットの基本的な操作を理解し、適切に使用できる。
- ③各処置に応じた診療準備を行い、多種にわたる歯科器具の器具出しができる。

2) 診査・診断および治療計画

- ①適切な診査を行い、その結果に基づいて診断できる。
- ②診断に基づき、妥当な治療方針を立案できる。

3) 診療記録

- ①治療内容を順序立てて正確に記録できる。
- ②適切な診療録を作製できる。

4) 器具・材料の取り扱い

- ①保存修復および歯内治療に用いる各種器具・材料の基本的な使用法を理解する。
- ②各種仮封用セメントおよび根管充填用シーラーを適切に練和できる。
- ③カラーコードにより、リーマー・ファイルの号数を識別できる。

コア・カリキュラム番号

E-1-1), E-1-2), E-1-4)-(3), E-2-4)-(3), E-3-1), E-3-2), E-3-3), G-3

3. 実習方法

1) 実習内容

- ・臨床実習概要説明、外来見学
- ・保存修復・歯内治療での材料取り扱い実習
- ・処置内容等書き方説明
- ・局所麻酔、ラバーダム防湿の実習
- ・歯髄診断の検査法説明

2) 日程

実習日程	実習場所	実習内容
1日目	歯学部 4F 第2講義室	周術期の基本の流れと当科受診患者が有する全身管理が必要な疾患、歯髄診断の検査の説明を行う。
	3F 総合歯科 B	器材取り扱い実習、相互で浸潤麻酔とラバーダム防湿実習を行う。

4. 実習担当者

臨床実習 (I)・・・3月30日～4月7日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平
午後	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平	浅野 明子 千田 弥栄子 東 兼司 相上 雄亮 大塚 泰寛 鈴木 太平

集合時間は8:50に総合歯科B外来へ集合する

臨床実習Ⅰ：有床義歯補綴学・冠橋義歯補綴学・口腔インプラント学

ライター長：歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 米澤 悠
歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 齊藤 裕美子 助教
歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 八戸 勇樹 助教

1. 教育成果（アウトカム）

有床義歯補綴学、冠橋義歯補綴学および口腔インプラント学の基礎的な知識・技術・態度を習得することで、臨床実習Ⅱにおける臨床実習を効果的に進められる基盤が形成される。

（関連するディプロマポリシー：1, 2, 3, 4）

2. 到達目標（SB0s）

1) 外来・実習室実習

- ① 有床義歯、冠橋義歯および口腔インプラントによる補綴歯科治療の目的と流れを説明できる。
- ② 有床義歯、冠橋義歯および口腔インプラントによる補綴歯科治療に必要な器具、機器を説明できる。
- ③ 有床義歯、冠橋義歯および口腔インプラントによる補綴歯科治療時の介助ができる。
- ④ Oral Health Impact Profile (OHIP) を用いて口腔関連 QOL 評価ができる。
- ⑤ 咀嚼機能検査ができる。
- ⑥ 咬合検査ができる。
- ⑦ 支台歯形成に必要な形態が説明できる。
- ⑧ 支台歯形成ができる。

コア・カリキュラム番号

D-5-3-1、D-5-3-2、D-5-3-3、E-5-3

3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前 午後	義歯外来 A、義歯外来 B、 口腔インプラント科、 インプラントオペ室、 技工室、臨床第 1・2 実習室	外来設備・備品の説明、外来診療 (DP/SB0s : 1~3/①~③) OHIP、咀嚼能力検査、咬合検査、支台歯形成実習 (DP/SB0s : 1, 4/④~⑧)

※集合場所：臨床第 1・2 実習室 集合時間：8:50

4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月30日～4月7日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	佐藤 宏明 米澤 悠 米澤 沙織 原 総一郎 島田 崇史 伊藤 凌	佐藤 宏明 米澤 悠 米澤 沙織 原 総一郎 島田 崇史 伊藤 凌	佐藤 宏明 米澤 悠 米澤 沙織 原 総一郎 島田 崇史 伊藤 凌	佐藤 宏明 米澤 悠 米澤 沙織 原 総一郎 島田 崇史 伊藤 凌	佐藤 宏明 米澤 悠 米澤 沙織 原 総一郎 島田 崇史 伊藤 凌
午後	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 佐々木 溪人 八戸 勇樹	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 佐々木 溪人 八戸 勇樹	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 佐々木 溪人 八戸 勇樹	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 佐々木 溪人 八戸 勇樹	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 佐々木 溪人 八戸 勇樹

臨床実習Ⅰ：口腔外科学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（口腔外科学分野） 野宮 孝之 助教、川又 慎介 助教

1. 教育成果（アウトカム）

- ・口腔・顎・顔面領域に疾患を有する患者に対し、適切な情報聴取を行うために必要な知識、技能および態度を修得し、得られた情報を基に診断の考え方を理解し、治療計画立案の過程を説明できるようになる。
- ・口唇・口腔・顎顔面領域における基本的な診察技能について、理論的背景を理解した上で、視診・触診を中心とした診察を安全かつ適切に実践できる態度を身につける。
- ・口腔外科診療において必要となる基本的手技および診療補助について、手技の目的・手順・注意点を理解し、指導医の監督下で診療参加型実習として関与できる能力を身につける。
- ・臨床実習Ⅰでは、臨床実習Ⅱにおいて求められるより実践的な診療参加に必要な基礎的知識・技能・態度を体系的に修得することを目標とする。

2. 到達目標（SBOs）

1) 医療面接

- ① 患者から、主訴・現病歴・既往歴・家族歴を適切に聴取し、得られた情報を整理して指導医に説明できる。

2) 診察の基本

2-1) バイタルサイン

- ① 血圧・脈拍・体温の測定方法と意義を理解し、指導医または医療スタッフの指示のもとで測定に関与できる。

2-2) 頭頸部の診察

- ① 顔面の色調変化や左右対称性を観察し、正常・異常の判断の視点を説明できる。
- ② 下顎の開閉口運動を観察し、評価のポイントを説明できる。
- ③ 顎関節部の診察方法を理解し、診察に立ち会い所見を説明できる。
- ④ 頭頸部筋群の診察の目的を理解し、診察の流れを説明できる。
- ⑤ 顎下リンパ節の触診方法を理解し、所見の評価について説明できる。

2-3) 口唇・口腔内状態の診察

- ① 口唇および口腔内の基本的な診察方法を理解し、異常所見の有無を観察し説明できる。

3) 診療録の記載と診断結果・治療方針の説明

- ① 医療面接および診察で得られた情報を整理し、診療録に記載される内容を理解し、記載の補助ができる。
- ② 診断結果および治療方針について、指導医による患者説明に同席し、その内容を理解し説明できる。

4) 口腔外科の基本的手技

- ① 清潔操作の基本原則を理解し、診療において適切な態度で行動できる。
- ② 抜歯（小手術を含む）に必要な器材について、名称・用途を理解し、準備および片付けに関与できる。

- ③ 手術における手洗いおよび滅菌グローブ装着の手順を理解し、指導医の監督下で実施に関与できる。
- ④ 普通抜歯の手技の流れおよび注意点を理解し、見学や診療補助を通して治療の全体像を説明できる。

コア・カリキュラム番号

CS-09、CM-01, 02, 03、D-1-2-1、D-2-1-1-2, 3、D-2-2、D-2-3、D-4-1-1, 2、D-4-3-1, 2, 3、D-5-4、E-1-1-2, 4、E-1-2-1、E-1-3-1、E-2-1-1-1, 2, 4, 5, 6, 7、E-2-2-2、E-2-3-2, 4、E-2-5-1、E-3-1-3、E-4-2、E-4-3-1, 2, 4、E-5-3-5

3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
全 日	矢 巾 (外 来)	<p>オリエンテーション（外来見学中心）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習全体の流れおよび注意事項の説明 ・外来診療の流れ、診療体制の説明 ・医療面接の進め方に関する解説 ・診察（視診・触診）の観察およびポイントの理解 ・診療録記載の基本構成の説明 ・抜歯に使用する器材および処置の流れの解説 ・抜歯後の注意事項および処方内容についての説明
	矢 巾 (病 棟)	<p>病棟・手術室の見学を中心とした実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟および手術室の構造、動線の確認 ・病棟における患者対応の見学 ・手術室での役割分担および安全管理の説明 ・滅菌区域の概念と基本的な感染対策の理解 ・手術器具および滅菌操作の見学 ・術前・術後管理の流れの理解
	課 題	<p>DESS（国家試験問題演習アプリ）を用いた問題演習（臨床実習Ⅰ期間中～4月30日まで）</p> <p>※本問題演習は、歯科医師国家試験レベルの思考過程を確認するとともに、臨床実習Ⅱで経験する症例と関連付けて理解を深めることを目的とする。また、臨床実習における症例観察の視点を明確化するための補助的学習として位置づける。</p>

※ 集合時間：午前8時30分

集合場所：矢巾附属病院5階医局

4. 実習にあたっての注意事項

- ① 清潔域および不潔域の区別を十分に理解し、清潔操作を遵守すること。
- ② 患者に対して不適切な発言や態度をとらないよう十分に配慮すること。
- ③ 集合時間および集合場所を厳守し、医療従事者としてふさわしい態度で行動すること。
- ④ 実習に関する相談等のアPOINTは、原則として希望日の1週間前までに取得すること。連絡は口腔外科ライター長へ学内メール（大学個人メール）を用いて行うこと。

5. 実習担当者

臨床実習（I）・・・3月30日～4月7日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	山田 浩之 川井 忠 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 古城 慎太郎 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 川又 慎介 矢菅 絵里加	野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里	川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 川又 慎介
午後	山田 浩之 川井 忠 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 古城 慎太郎 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 川又 慎介 矢菅 絵里加	野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里	川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 川又 慎介

臨床実習Ⅰ：歯科麻酔学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科麻酔学分野） 坂野上 和奏 助教

1. 教育成果（アウトカム）

歯科麻酔学に関する基本的な知識を習得することで、臨床実習Ⅱにおいて効果的に歯科麻酔学臨床実習を行う。

2. 到達目標（SB0s）

- ① バイタルサインについて説明できる。
- ② 全身麻酔と静脈内鎮静の方法について理解する。

コア・カリキュラム番号

D-1-1, D-1-2, D-2-3, E-1-2, E-1-3, E-2-3

3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前	歯学部 5 階大会議室 (533 号室)	バイタルサイン・モニタ講義 全身麻酔、静脈内鎮静の周術期管理の講義

※集合時間：8 時 50 分（歯学部 5 階大会議室）

※教科書、筆記用具、タブレット等持参すること

4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3 月 30 日～4 月 7 日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	佐藤 健一 筑田 真未 坂野上 和奏 佐藤 州 柳町 晴香 前澤 五月	坂野上 和奏 柳町 晴香 前澤 五月	佐藤 健一 筑田 真未 坂野上 和奏 佐藤 州	佐藤 健一 筑田 真未 佐藤 州 柳町 晴香 前澤 五月	佐藤 健一 筑田 真未 坂野上 和奏 佐藤 州 柳町 晴香 前澤 五月

臨床実習 I : 歯科放射線学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野） 佐藤 仁 助教

1. 教育成果（アウトカム）

画像診断の基本である X 線検査と画像解剖を理解することで、歯科臨床に必要な読影能力の基礎を修得する事が可能となる。

2. 到達目標（SB0s）

- ① 放射線検査の種類と特徴を説明できる（パノラマ X 線検査、頭部側方向 X 線検査、後頭前頭方向 X 線検査、Waters' 法、顎関節 X 線検査）。
- ② 放射線検査の撮影法と、正常画像における解剖学的な構造を説明できる。
- ③ 放射線検査の適応症、非適応症を説明できる。

コア・カリキュラム番号

E-2-5-2, 4

3. 実習方法

1) 実習内容

- ① パノラマエックス線写真、単純エックス線写真の種類、撮影法を理解し正常解剖像をトレースする。
- ② パノラマエックス線写真、単純エックス線写真の解剖学的構造を教員に説明する。

2) 日程

実習日程	実習場所	実習内容
午後	歯科放射線学分野 第2臨床実習室 120号室	パノラマエックス線写真、単純エックス線写真のトレースと観察できる構造の解剖学的な名称を記載する。

4. 実習担当者

臨床実習（I）・・・3月30日～4月7日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁
午後	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁

臨床実習Ⅰ：歯科矯正学

ライター長：口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野） 菊池 恵美子 助教

1. 教育成果（アウトカム）

基本的な知識、態度を習得することで、臨床実習Ⅱにおいて、効果的に歯科矯正学の臨床実習を行うことができる。

2. 到達目標（SBOs）

- 1) 診察に必要な基本的知識
 - ①矯正歯科治療の診断に必要な医療面接を実施できる。
 - ②口腔内および口腔外の診察ができる。
- 2) 臨床実習Ⅱに必要な基本的な知識・技能・態度
 - ①器具・器材の準備ができる。
 - ②器具の受け渡しが安全にできる。
 - ③矯正装置について理解し、説明できる。
 - ④頭部エックス線規格写真の計測点について理解し、説明できる。
 - ⑤頭部エックス線規格写真の計測平面について理解し、説明できる。
 - ⑥頭部エックス線規格写真の計測項目について理解し、説明できる。
 - ⑦資料分析を行い、その結果を正しく解説できる。
 - ⑧資料から特異的な問題を抽出して指摘できる。
 - ⑨Tweedの分析について理解し、説明できる。

コア・カリキュラム番号

D-2-1, E-2-1-1, E-2-2-4, E-5-4-1, E-5-1

3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前	3階矯正歯科外来 第4セミナー室	オリエンテーション、臨床実習Ⅱに必要な知識の習得・演習
午後		外来見学・演習

※集合時間：8:30

集合場所：矯正歯科診療室横の出入り口の前

4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月30日～4月7日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	深澤 慶子 吉田 弘法	飯塚 康之 浅沼 莞奈	菊池 恵美子 上田 茜	桑島 幸紀 吉田 弘法	浅沼 莞奈 上田 茜
午後	佐藤 和朗 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法	佐藤 和朗 桑島 幸紀 飯塚 康之 菊池 恵美子 浅沼 莞奈 深澤 慶子 上田 茜 吉田 弘法

臨床実習Ⅰ：小児歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野）齊藤 桂子 講師

1. 教育成果（アウトカム）

小児歯科診療に必要な診査、診断、治療計画の立案、歯科的対応についての基本的な知識、技術、態度を修得する事で、臨床実習Ⅱにおいて効果的に小児歯科学臨床実習を行うことが可能となる。

2. 到達目標（SBOs）

- 1) 診査・診断に必要な基本的な知識
 - ① 小児の診査方法を説明できる。
 - ② 採得すべき資料を列挙できる。
 - ③ 診断と治療法を説明できる。
 - ④ 1 口腔 1 単位の小児歯科診療の流れが分かる（治療計画の立案）。
- 2) 外来実習に必要な基本的な知識、技能、態度
 - ① 器具・材料の準備ができる。
 - ② 器具の受け渡しが安全にできる。
 - ③ 小児への歯科的対応法を説明し、実行できる。
 - ④ 小児歯科三角を説明できる。
 - ⑤ ブラッシング指導の概要を説明できる。
 - ⑥ フッ化物塗布法の概要を説明できる。
 - ⑦ 予防填塞法の概要を説明できる。
 - ⑧ 学生用診療録（SOAP の記載）を作成できる。

コア・カリキュラム番号

C-2-1, 2, 3, 4, 5, 6、D-2-1, 2、D-5-6、E-1-1、E-2-1-2、E-5-5

3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前	矢巾歯科外来	臨床実習Ⅱについてのオリエンテーション 外来見学 小児歯科学臨床実習に必要な知識に関する演習
午後	医局 (小児・障害)	

※集合時間：8時30分（矢巾歯科外来：附属病院4階）

班員を2グループに分けて、午前・午後の時間それぞれで小児歯科学と障害者歯科学について臨床実習Ⅰを行う。グループ編成については、集合時に指示を出すので、その指示に従い実習をすること。

*急遽変更になる場合、ライター指示があるので従うこと

持ち物：筆記用具、小児歯科学の教科書・実習書、臨床実習の手引き

4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月30日～4月7日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子
午後	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子

臨床実習Ⅰ：障害者歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野） 磯部 可奈子 助教

1. 教育成果（アウトカム）

障害や障害者歯科についての必要な基礎的知識について理解する。
実習の手順を理解し、効果的な臨床実習を実現する。

2. 到達目標（SBOs）

- ① 主な障害（自閉スペクトラム症、知的能力障害、身体障害など）の医科学的および歯科学的特徴を説明できる。
- ② 治療中の行動調整法について説明できる。

コア・カリキュラム番号

D-5-8-1~5

3. 実習方法

実習日程	実習場所	実習内容
午前・午後	小児・障がい者 歯科外来	・臨床実習概要説明 ・障害者の医科学的および歯科学的特徴、行動調整法の講義

※集合時間：8時30分（矢巾歯科外来：附属病院4階）

班員を2グループに分けて、午前・午後の時間それぞれで小児歯科学と障害者歯科学について臨床実習Ⅰを行います。

*急遽変更になる場合、ライターから指示があります。

4. 実習担当者

臨床実習（Ⅰ）・・・3月30日～4月7日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午後	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	磯部 可奈子

5. 実習にあたっての注意事項

- 1) 入室の際は、許可を得てください。
- 2) 教科書、筆記用具を持参してください。

臨床実習Ⅱ：総合歯科学

ライター長：歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 福德 暁宏 講師

1. 教育成果（アウトカム）

基礎歯科医学、臨床歯科医学で学んだ知識を整理、統合し、臨床実習を通して歯科医療の実践に必要な知識・技能・態度および思考力を身につける。

2. 到達目標（SBOs）

- ① 外来新患者の医療面接を行うことができる。
- ② 顔面および口腔粘膜、歯の診査を行い診断することができる。
- ③ 診療記録の作成ができる。
- ④ 自験患者の診察および診療を行うことができる。
- ⑤ 患者診察時に適切な器具を準備し、感染対策に配慮した片付けをできる。
- ⑥ 患者診察時に安全に配慮した診療を行うことができる。
- ⑦ Case presentation を通してプレゼンテーション力を身につける。
- ⑧ Case presentation を通して症例の概要を説明できる。

コア・カリキュラム番号

D-2-1、D-4-1、D-4-2、D-4-3、E-4-1、E-4-2、E-4-3

3. 実習内容

1) 診療参加型臨床実習

- ① 医療面接実習
 - (1) 新患者を対象として医療面接を行い診療録の作成を行う。
 - (2) 新患者を対象として主訴部を中心に歯、歯周組織、口腔粘膜、顔面について診査し、必要なエックス線検査等を行い診断する。
 - (3) 診療録を記載する際には法律や学内規則を遵守する。
 - (4) 朝 8 時 45 分に初診外来に集合し、当日の担当医から出席の承認をもらうこと。
- ② 臨床実地予備試験
 - (1) 10 月頃から行われる臨床実地試験（CPX）の前段階として、7 月以降に実施する。
 - (2) 各診療科から配当された自験患者を対象として、試験を実施する。受験する分野は臨床実地試験（CPX）と同じものとする。
 - (3) 担当ライターの指導、監督下のもと治療計画に基づいた治療を的確、安全に行う。
 - (4) 介助者および器具準備者として担当ライターあるいは他学生自験患者の診察、治療の介助を行う。

2) Case presentation 実習

担当教員から提示された症例について検討し Presentation を行う。

① 発表日時

令和 8 年 10 月以降に開催する。

(詳細な開催日程等は別紙にて通知する。)

4~8 名程度の学生でグループを作り、それぞれ 1 演題の症例を発表する。

② 発表方法

(1) 発表方法は口演発表とし、1 日にすべての演題を発表する。

(2) 口演発表は、1 症例につき発表 15 分、質疑応答 10 分とする。

(3) 口演発表は、すべて PC (単写) で行う。

(4) 質疑は座長の指示に従い評価者および会場の参加者から受けつける。

③ 発表概要

(1) 発表症例は岩手医科大学附属歯科医療センターに通院中もしくは治療を終了した患者の中から、担当教員が指示した症例とする。

(2) 発表内容は診査、診断、理想的治療計画 (期間, 治療費等の制約がないもの) と現実的治療計画 (実際に患者と決定し治療を行ったもの) の立案, 行った治療内容, 臨床的ポイント、考察等とする。

(3) 発表内容は学生自身が自ら考え、調べた内容で行う。

(4) 発表に際しては、症例の概要を記した配布資料を製作し、参加者に対して配布する (A3 サイズ 1 枚)。

4. 実習にあたっての注意事項

- 初診外来では、患者は事前にアポイントを取得しない。そのため、初診担当学生は患者が来院した場合に備えて、午前中の対応時間 (8:45~11:30) の間は初診外来で待機すること。
- 初診担当日の午後は白枠扱いとし、他の科の臨床実習を積極的に進めること。
- 臨床実地予備試験を行う際には、各担当ライターの予定を事前に確認すること。
- 臨床実地予備試験を行う前に、当該分野の介助および自験を十分に行うこと。

5. 評価

総合歯科学講座のミニマムリクワイアメント (65 点) は 200 点に換算し評価する。

1) 診療参加型実習のミニマムリクワイアメントは 120 点 (200 点中) とする。

① 医療面接実習のミニマムリクワイアメントは 80 点とする。

(1) 医療面接実習のミニマムリクワイアメントは 8 症例 (各 10 点) とし、1 症例毎に担当ライターより技能、態度について指導および評価を受け電子ログブックの承認をもらう。

(2) ミニマムリクワイアメントのケースが終了した際は、オーバーケースとして取り扱われる。

(3) ケース承認権のないドクターが初診外来を担当した際は、担当した患者のレポートを製作し、同じ診療科の教員から承認をもらう。

② 臨床実地予備試験のミニマムリクワイアメントは 40 点とする。

- (1) 臨床実地試験では、診察日 7 日前までに診療当日担当ライター確認が必要となる。
- (2) 臨床実地予備試験は、1 回につき 20 点とする。
- (3) 診療当日の担当ライターより知識、技能、態度について評価を受ける。その後、担当ライターが確認した後、電子ログブックの承認をもらう。

2) Case presentation (CP) のミニマムリクワイアメント 80 点とする。

- ミニマムリクワイアメント達成には、以下の 3 項目が必要条件となる。
 - (1) Case presentation を実施する。
 - (2) Case Presentation に出席する。
 - (3) Case presentation 前に各 Society で予演会を行う。
- ミニマムリクワイアメント評価の内訳は発表（60 点：Case Presentation を発表）、予演会（20 点/2 回以上）とする。
- Case presentation 発表の評価は歯学部教員のうち 3 名で行う。
- Case presentation 発表の教員評価点数は、評価者ひとりの評価点数 100 点×3＝300 点満点とし、また、評価は優秀発表 Society 選考時の選考材料となる。
- Case presentation の最終的な評価は、評価者の評価点数を合計したものとす
- 出席については Case presentation 開始前に入室し、終了時まで在室すること。
- CP 評価の詳細は、評価基準に従い行う（別紙）。

6. その他

ミニマムリクワイアメントケース 200 点を臨床実習評価点 65 点（/100 点）として換算する。

評価点数の合計時に小数点以下の点数が生じた場合には切り上げとする。

7. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

8. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

※初診外来担当表を参照

臨床実習Ⅱ：予防歯科学

ライター長：口腔医学講座（予防歯科学分野） 大石 泰子 助教

1. 教育成果（アウトカム）

保健指導、予防処置並びに周術期の口腔管理に必要な知識、態度と技能を習得することで、患者のニーズにあった歯科保健医療を提供することができる。

DP 項目番号：2、3、4、5、6

2. 到達目標（SBOs）

- ① 硬組織検査ができる。
- ② PCR を測定できる。
- ③ セルフ（ホーム）ケア指導ができる。
- ④ 口腔ケアができる。
- ⑤ 機械的歯面清掃ができる。
- ⑥ 周術期における口腔管理の必要性を説明できる。
- ⑦ 社会保障制度について説明できる。
- ⑧ 歯科診療時に必要な感染対策について説明できる。

コア・カリキュラム番号：

C-4-2-5、C-4-2-6、C-4-3-2、C-6-1-3、D-2-4-3、D-5-1-2、D-5-1-3、D-5-1-4
E-1-1-1、E-1-1-5、E-5-2-1、E-5-2-2、E-5-2-3、E-6-1-1

3. 実習内容

予防歯科学分野のケース表に基づき、ミニマムリクワイメントを達成するよう、学生自身が実習を行う。

内丸・矢巾で行う実習の詳細は、下記のとおりである。

①内丸での実習について（予防歯科単独実施）

集合場所/時間：内丸 5 階 予防歯科の医局前 / 8 時 40 分

実習場所：内丸 歯科医療センター2F 予防歯科外来*を予定。

課題レポート：ライターの指示で3つのレポートを提出すること。

a)前期：社会保障制度について

b)後期：感染予防対策について

c)前期～後期：定期口腔管理について

試験：実施時期は、前期および後期の配属期間中に、課題レポート a)、b)をそれぞれ提出後に実施する。内容は課題レポートに関連したものとする。

講義：課題レポート内容および試験に関する講義を行う。

配属表：成長発育・全身管理系 予防歯科 に記載。

②矢巾での実習について（総合歯科と合同実施）

集合場所/時間：矢巾附属病院 4F 歯科外来* / 8時30分

実習場所：矢巾附属病院 4F 歯科外来*、または 8F 処置室*、病棟。

課題レポート：配属1日目に矢巾にて周術期口腔管理レポートを配布。ライターから指示を受け、配属期間中に提出～口頭試問～ケース承認まで受けること。

配属表：矢巾系 周術期 に記載。

(*)年度内に変更の可能性があるため、変更時はライターより学生へ事前連絡を行う予定。

4. 実習にあたっての注意事項

- (ア) 実習はすべてライターの指導のもと行うこと。
- (イ) 事前に臨床実習書をよく読み、基礎的知識を身につけて臨むこと。
- (ウ) 介助に際しては患者、術者に気を配り、診療が円滑に進むように行うこと。
- (エ) 診療にあたっては、患者の年齢を考慮して対応し、コミュニケーションをはかり、患者との信頼関係が得られるように努力すること。
- (オ) 無断で欠席、遅刻はしないこと。
- (カ) レポート提出・口頭試問等は、事前に各ライターから日時の指定を受けること。
- (キ) 配属中に提示された課題について自己学習を行い、課題を提出してもらう。
課題提出後に、課題内容に関連した試験および解説講義を実施する。
予防歯科の教科書・講義資料、ノート等を準備すること。
- (ク) ライターへのアポイント取得を希望する場合は、アポイントを取得したいライターの大学個人メールアドレス宛にメール送付すること。各ライターのメールアドレスについてはシラバスの記載を参照すること。

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

6. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内丸*	杉山 由紀子 佐藤 華子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 衣斐 美歩 大石 泰子	佐藤 俊郎 杉山 由紀子 佐藤 華子 衣斐 美歩	大石 泰子 佐藤 俊郎 杉山 由紀子 衣斐 美歩	佐藤 華子 佐藤 俊郎 大石 泰子 衣斐 美歩	佐藤 俊郎 衣斐 美歩 大石 泰子 佐藤 華子 杉山 由紀子
矢巾*	佐藤 俊郎 大石 泰子	杉山 由紀子 佐藤 華子	大石 泰子	佐藤 華子	杉山 由紀子	

臨床実習Ⅱ：保存修復学・歯内治療学

ライター長：歯科保存学講座（う蝕治療学分野） 大塚 泰寛 助教

1. 教育成果（アウトカム）

座学、シミュレーターで取得した修復治療するための知識、技術、態度を応用して、自験症例に対して正確な診査、診断のもと治療計画を立案できるようになる。また、立案した治療計画に従って修復・歯内治療を実施できるようになる。

2. 到達目標（SBOs）

1) 診察の基本技能

- ① 問診を実施できる。
- ② 視診を実施できる。
- ③ 触診を実施できる。
- ④ 硬組織疾患及び歯内疾患の病態を説明できる。
- ⑤ デンタルエックス線写真を読影し、説明できる。
- ⑥ 患者に治療方針を説明できる。
- ⑦ 患者およびコ・デンタルスタッフとコミュニケーションできる。

2) 治療・術式（一般事項）

- ① 診療録を作成できる。（SOAP の記載ができる）
- ② 処方箋を作成できる。
- ③ 患者への病状の説明を実施あるいは説明することができる。
- ④ 歯科技工指示書の作成を実施あるいは説明することができる。
- ⑤ インフォームドコンセントを説明することができる。
- ⑥ 各種手用器具を適切に使用できる。
- ⑦ 歯髄診査を適切に実施できる。
- ⑧ 表面麻酔・浸潤麻酔を実施できる。
- ⑨ ラバーダム防湿を説明し、実施できる。

3) 治療・術式（修復処置）

- ① 直接修復の複雑、単純窩洞形成が実施できる。
- ② レジン充填を実施できる。
- ③ グラスアイオノマーセメント充填を実施できる。
- ④ 間接修復（インレー修復）を実施または説明できる。
- ⑤ 仮封および仮着を実施できる。
- ⑥ 象牙質知覚過敏処置を実施できる。
- ⑦ 覆髄法を説明できる。

4) 治療・術式（歯内処置）

- ① 根管孔の明示ができる。
- ② 作業長が測定できる。
- ③ 適切な救急処置ができる。
- ④ 簡単な抜髄・感染根管治療ができる。
- ⑤ 適切な仮封ができる。

5) 臨床推論

- ① 講義、臨床実習で得た知識を用いて、問題を解くことができる。

6) 周術期管理

- ① 周術期管理における歯科医師の役割を理解できる。

コア・カリキュラム番号

E-1-1-）、E-1-2）、E-1-4）-(3)、E-2-4）-(3)、E-3-1）、E-3-2）、E-3-3）、G-3

3. 実習内容

1) 総合歯科自験患者治療ケース：自験担当患者で修復・歯内処置が必要になった場合

- ① 原則担当学生と、介助を含め計2人で取り組むこと。
- ② アポイント1週間前までにセッション計画を作成し、当日の担当ライターの確認をもらう。（治療当日までに最低2回以上の確認を行うこと。）
- ③ 診療
 - ・アポイントメントの20分前に外来に集合し、ユニットの操作方法の確認、使用する機材の準備を行う。担当ライターの指示で患者誘導を行い、診療あるいは介助を行う。
- ④ 患者および担当ライターと相談し、次回アポイントを取得する。
- ⑤ 後片付け
 - ・総合歯科Bのルール従い使用した器具の片づけ、ユニットの清掃を行う。
- ⑥ レポートの作成
 - ・治療後1週間以内に担当ライターに治療内容のレポートを作成して確認を行い、フィードバックを受ける。レポートの確認は原則、外来診療時間の終了後からとする。なお、会議、出張などで不在の場合も予想されるため事前に担当ライターと予定を決めておくこと。

※形成など事前に練習をしておくように指示することもあるため、模型、形成に用いる機材などを各自用意しておくこと。練習場所はライターの指示に従うこと。

2) 総合歯科配属：

- ① 配属当日8:30に総合歯科B外来に集合し、当日の担当ライターを決める。
- ② 担当ライターの指示のもと、患者の誘導、診療介助を行う。
- ③ 配属日の予約状況によって、外来での学生対応が難しい場合が予想されるため、形成課題を出す場合もある。実習室にて課題に取り組んだのち、臨床での術式、実際の使用器具、本課題で留意した点をレポートに記載したうえで、模型を提出す

ること。作成されたものは、各種ケースとして承認を行う。

④ レポートの作成

- ・ 介助、見学ケースの場合は2週間以内に担当ライターに治療内容のレポートを作成して確認を受ける。
- ・ 形成課題の場合は課題を受け取った日から3日以内にレポートと形成物を提出すること。

3) 診療実習ケース

- ① ラバーダム防湿
- ② 浸潤麻酔
- ③ 直接修復
- ④ 間接修復
- ⑤ 象牙質知覚過敏症

4) 周術期ケース

- ① 配属日当日の朝8:30に矢巾大学病院歯科外来に集合する。
- ② 当科担当医から1ケース配当を受け、見学、介助を行う。
- ③ 水曜日配属の際は16:30から内丸総合歯科Bにてカンファレンスに参加する。
- ④ 配属後2週間以内にライターにレポートを提出し、口頭試問を受けること。

4. 実習にあたっての注意事項

- ・ 原則当科学生対応は診療終了後の時間とする。その他の時間でのアポイントはライターと要相談すること。
- ・ 必ずアポイントは翌日以降で取得すること。
(朝や、診療時間にライターを訪問しその日の診療時間終了後に尋ねるのは特別な理由がない限り認めない。)
- ・ ライターに会えない場合はシラバス記載のメールアドレスやWebclassでのメールでアポイントを取得すること。
- ・ 臨床推論での講義、周術期の配属の際の中座は原則禁止です。諸事情により中座が必要の場合は1週間までにライターへ要相談です。

5. 身だしなみ等

- ・ 常に清潔な白衣、服装を心がけること。また、頭髪の長さ、色にも注意し、病院スタッフの自覚を持つこと。
- ・ 患者への説明など丁寧でわかりやすい言葉を使用すること。
- ・ においへの配慮も行うこと(タバコ、香水など)
- ・ 上記に対して指導を受けたものは速やかに改善を行うこと。改善されない場合は実習中止とする。また、無断での欠席や配属当日、患者予約日に無断で現れない場合も実習の中止とする。

臨床実習Ⅱ：歯周病学

ライター長：歯科保存学講座（歯周療法学分野） 鈴木 啓太 助教

1. 教育成果（アウトカム）

歯周疾患は歯周組織を損壊する因子と、その因子に対する宿主の生体応答のバランスの上に成り立つ病変である。歯周組織とその周辺関連組織の形態的および機能的特性を理解するとともに、それらに基づいて歯周組織に生じる病変（lesion）及び疾患（disease）の病態、検査、診断、治療計画立案、治療法を歯科医学の見地から修得することで、歯周疾患の病態を正しく理解、把握し、歯周治療を実施することができる。

DP 項目番号：4、6

2. 到達目標（SBOs）

- 1) 歯周病の診査・診断を行うことができる。
 - ① 歯・歯周組織・歯列・咬合の診察を実施できる。
 - ② エックス線写真を適確に読影し、説明できる。
 - ③ 歯周組織検査を実施できる。
- 2) 歯周基本治療が実施できる。
 - ① プラークコントロール指導ができる。
 - ② スケーリングができる。
 - ③ スケーリング・ルートプレーニングができる。
 - ④ PMTC ができる。
 - ⑤ 咬合治療（咬合調整・暫間固定）ができる。
- 3) 歯周外科治療の種類や術式を理解し、介助を行うことができる。
 - ① 歯周外科治療の各分類や該当する術式の種類・処置の流れ・使用する器具を説明できる。
 - ② 歯周外科治療の準備を行うことができる。
 - ③ 歯周外科治療の介助を行うことができる。
- 4) サポートィブペリオドンタルセラピー（SPT）及びメンテナンスが実施できる。

コア・カリキュラム番号

D-5-2-3-1～5、E-2-2-4～5、E-2-5-4、E-5-2-3、E-5-3-3-1～6

3. 実習内容

- 1) 歯周病外来
 - ① ライター指導のもとに臨床実習を行い、診療術式を習得する。
 - ② 重度歯周炎症例や特殊な歯周疾患について、見学・介助実習を通して診療術式を修得する。
- 2) 歯周外科治療
 - ① 歯周外科治療（分類、各術式・手順）について基礎実習動画視聴を行う。

- ② ①を実施後、歯周外科治療について口頭試問・フィードバックを行う。
- ③ 歯周外科治療の準備・介助を行う。
- 3) PBL (Webclass)
配属中に歯周病学の知識と技能が連動することを目的とした問題解決型学習を行う。
- 4) 臨床習熟度評価 (WebClass)
臨床実習で得られた知識の定着度の評価を行う。
- 5) 自験技能試験
臨床実習で得られた技能を評価する。
- 6) 実習にあたっての注意事項
 - ① 配属学生は AM8:30 までに 2 階歯周病外来にきて新急患担当先生から電子ログブックで登校承認をもらう。
 - ② 臨床実習後は処置内容を記載の上、必ず担当ライターから確認を受け、電子ログブックにて承認を受ける。
 - ③ ネームプレートは必ず着用する。また、臨床実習は患者さんのご好意によって行われるため、実習にふさわしくない言動や身だしなみ（髪型、髪長さ、髪の色、ヒゲ）、服装（汚れた白衣等）の院内生は実習を中止し、外来からの退出を指示する場合もあるので十分に注意する。
 - ④ 長期間通院されている患者さんの中には、自身の基礎疾患や歯科治療の内容について十分な知識を有している方が多いので、担当する際は予め十分に勉強をした上で実習に臨むように心がける。
 - ⑤ 学生相互実習については、事前に担当ライターに相談する。
 - ⑥ 学生への対応時間について
 - ・ 基本的に診療終了後（17：00 以降）
 - ・ 担当ライターは会議等で不在の場合があるため、事前にメール等でアポイントを取ることを推奨（メールによるアポイント取得は教員の大学個人メール宛てに送ること）

4. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

5. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 鈴木 啓太 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子
午後	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 相原 恵子	佐々木 大輔 村井 治 鈴木 啓太 相原 恵子	村井 治 鈴木 啓太	佐々木 大輔 鈴木 啓太 相原 恵子	

臨床実習Ⅱ：有床義歯補綴学

ライター長：歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 米澤 悠 助教

1. 教育成果（アウトカム）

- ① 講義および基礎実習で修得した知識・学理を理解し、臨床の現場で実践することで、補綴歯科治療の導入基盤が形成される。
- ② 有床義歯治療の初診から予後までを見学および自験を行うことで、症例の問題点を抽出し、その解決法を見出すことができるようになる。
- ③ 各学生が自主性と責任をもって補綴治療および患者教育を研修し、歯科補綴治療を行うことができるようになる。

2. 到達目標（SBOs）

- ① 全部床義歯および部分床義歯治療の目的と意義および具備条件を説明できる。
- ② 歯の喪失と加齢変化に伴う無歯顎口腔の病態像を説明できる。
- ③ 歯の欠損を有する高齢患者の特徴を説明できる。
- ④ 義歯に起因する口腔粘膜病変の種類と、その特徴を説明できる。
- ⑤ 治療計画を左右する因子を理解し、治療計画の提示と医療面接が実施できる。
- ⑥ 可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内の診察・検査・診断用模型およびエックス線画像等により適切に設計ができる。
- ⑦ 設計に応じて、支台歯の前処置（歯冠形態の修正、レストシートおよびガイドプレーンの形成）を適切に実施できる。
- ⑧ 印象採得に必要な口腔解剖を理解し、印象採得を実施できる。
- ⑨ 下顎位と下顎運動に関する基本的事項を説明できる。
- ⑩ 顎間関係の決定法と、その問題点を理論的背景から説明し、適切に顎間関係の記録を実施できる。
- ⑪ 人工歯の種類と、その特徴を理解し適切に選択できる。
- ⑫ 咬合器の種類と、その特徴を理解し適切に選択できる。
- ⑬ 可撤性義歯に付与する咬合様式と、その意義を説明できる。
- ⑭ ろう義歯試適の臨床的意義と検査項目を説明し、実施できる。
- ⑮ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明し、各技工操作を適切に実施できる。
- ⑯ 咬合調整の臨床的意義と基本的な方法を説明し、実施できる。
- ⑰ 完成義歯を患者に装着し、患者指導内容を説明できる。
- ⑱ 義歯装着後の定期検診の意義と重要性を理解し、診察事項を説明し実施できる。
- ⑲ 義歯の調整、リライン、および修理を適切に実施できる。

コア・カリキュラム番号

B-1, 2, 3, D-4, D-5-3-2, E5-3-4-2

3. 実習内容

1) 義歯外来自験実習、技工操作

- ・学生は、患者 1 名を数名で担当し、検査～完成義歯装着および予後までのいずれかの治療を行う（義歯外来自験実習 6 点×2 項目=12 点）。
- ・自験実習を行う際は、事前に担当ライターと相談し許可を得る。自験治療後は、原則一週以内に処置内容を担当ライターに提出し確認を受ける。
- ・義歯外来 A で行う治療のみをケースとして認める。
- ・患者未来院や患者数の不足により自験実習が行えない場合は、ライター長の判断で、義歯外来の見学ケースを、自験治療ケースの代替とする（オーバーケース 2 回分を自験 1 回分とする。ただし、原則として義歯外来自験実習を進行させ、ミニマムリクワイアメントを修了することを前提とする）。
- ・技工操作として義歯外来自験実習および介助・見学実習の患者の技工操作を行う。後期の総合試験が終了しても技工ケースがない場合は、ライターの技工操作の見学やレポートで代替する。（5 点×1 項目=5 点）。

2) 有床義歯介助・見学実習

- ・義歯外来 A にて、ライターの検査・概形印象採得から義歯調整および義歯修理・その他の有床義歯治療の症例の介助または見学を行う（4 点×7 項目、顎間関係の記録および義歯調整は 3 ケース）。
- ・介助、見学は 1 ケースにつき原則 3 名までとする。
- ・処置内容の記載は原則不要。ライターの指示があった際は、レポートを提出すること。
- ・同一患者の見学を継続して行うのが望ましいが、場合によってはその限りではない。
- ・義歯外来 A 受付の棚にライターのアポイント帳がある。事前に患者予約を確認し、担当ライターに介助見学の許可を得る。ライターの裁量で当日見学を認める場合もある。
- ・FR 実習等によってライターの多くが不在になる日もあるため、事前に電子カルテやライターのアポイント帳で予約を確認し、前日までにライターの指示を受けること。

3) 新患急患（予診）対応実習

- ・義歯の破損や義歯による疼痛など、有床義歯の主要徴候への対応方法を学ぶ。（2 点×2 回=4 点）
- ・新患急患（予診）対応実習は、原則前日までに希望日に予約を取る。実習は半日を合計 2 回行う。義歯外来 A の新患急患見学実習予約表に番号と名前を記載する。

4) 有床義歯学習

- ・有床義歯に関連する治療の治療計画や手順、臨床操作に基づいた口頭試問や課題提出を行うことで歯科医師として必要な知識を深める。（2 点）

5) オーバーケースについて

- ・外来実習におけるミニマムリクワイアメント以外の実習は、オーバーケースとして扱う。
- ・義歯外来における自験治療のオーバーケースは 6 点とする。介助見学実習は 4 点とする。

技工操作のオーバーケースは5点とする。新患急患対応実習のオーバーケースは、3点とする。

6) 各ケースの評価方法

- ・自験、見学終了後、ライターによるフィードバックを行いケースの検印及びログブックの承認を受ける。レポートや処置内容の提出が必要と指示があった場合は、課せられた内容についてレポートを提出する。提出後、内容が良好であればケース承認となる。

7) 形成的評価（有床義歯治療評価）

- ・口頭試問、有床義歯学習を行い評価し、有床義歯治療の理解を深める。(2点)
- ・義歯治療に関する課題、レポートを行い評価し、有床義歯治療の理解を深める。(3点)

8) 習熟度試験

- ・基礎学力向上、臨床実習中の知識の確認を目的に習熟度試験を年1回開催する。70点以上を合格とし、基準点に満たないものは不合格とする。不合格者が出た場合は再試験を実施する。(10点)

4. 実習にあたっての注意事項

配属実習について

- ・配属実習の際は、8時50分までに義歯外来Aに集合し、当日の来院患者治療内容を把握しておくこと。出席の承認は9時にライターが行う。
- ・配属実習中は義歯外来Aにて終日実習を行う。
- ・実習時間は原則9時～12時、13時～16時とする（混雑により変更になる場合がある）。
- ・レポート提出、検印、ケース承認は、原則月曜日、金曜日の16時～17時とする。
- ・レポートの提出はケース実施より1週以内とし、それ以降提出した場合は無効とする。やむを得ず、期限内での提出が難しいと判断される場合は、事前にライターと相談すること。
- ・配属中のライターの不在や配属人数に対して患者数が少ない場合は、担当ライターの指示に従い義歯外来Bやインプラント外来での実習を認める。また、相互実習や実習室で模型実習を行う場合がある。
- ・配属期間中は、ライターに所在を明らかにすること。外出はライターの許可を得る。
- ・欠席する場合は8時30分までに臨床実習欠席時の連絡フローに従って連絡すること。連絡なしの欠席は認められない。無断欠席の場合、実習を停止する場合がある。
- ・配属期間中にミニマムリクワイアメントを終了すること。原則追加配属実習は行わない。

5. 身だしなみ等

常に清潔な白衣、服装を心がけ、頭髪の長さや色にも注意し、病院スタッフや患者にも清潔と容易に理解されるように十分に配慮すること。また、タバコやアルコールの臭いなどの悪臭を放つことのないよう、十分に注意すること。

6. 臨床実習停止時の対応

有床義歯介助・見学実習の小項目から、班ごとにケースとして承認を得たいケースを選択し、その項目について学習する。班ごとに協力して、PowerPoint に発表時間 10～20 分程度でまとめる。その後、ライターの評価を受け、合格することで介助・見学 1 ケースとして認めることとする。発表は外来診療終了後に行う。

※上記に関しては、当日いるライターに指示を受けることとする。

7. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

8. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	原 総一郎 米澤 紗織 米澤 悠 佐藤 宏明 伊藤 凌	米澤 悠	小林 琢也 原 総一郎 米澤 紗織 佐藤 宏明	原 総一郎 米澤 悠 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	小林 琢也 原 総一郎 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	佐藤 宏明
午後	原 総一郎 米澤 紗織 米澤 悠 佐藤 宏明 伊藤 凌	米澤 悠	小林 琢也 原 総一郎 米澤 紗織 佐藤 宏明	原 総一郎 米澤 悠 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	小林 琢也 原 総一郎 佐藤 宏明 島田 崇史 伊藤 凌	

臨床実習Ⅱ：冠橋義歯補綴学

ライター長：歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 齊藤 裕美子 助教

1. 学修方針（講義概要等）

歯の実質欠損を生じた口腔内は、原因、期間、欠損部位などによりその程度は様々であるが、健全な歯列にみられる生体に調和、適合した要件が失われる。したがって、歯科材料を用いて、冠橋義歯補綴装置を製作し、形態的、機能的、審美的に顎口腔系の回復や改善、回復を図るための理論を理解し、患者の口腔内検査から口腔内装着までの基本的な流れ、知識、技術を習得する。

2. 教育成果（アウトカム）

臨床の場で診断、治療計画、治療経過および術後の経過観察までの各段階を通じて歯科技工を含めた冠橋義歯補綴学を理解、修得することで患者の顎口腔系の形態、機能を回復し、健康を維持増進することができる。

ディプロマ・ポリシー項目番号

1～9

3. 到達目標（SBO）

1) 冠橋義歯外来実習

- ① 学生が診察法を理解することで、適切な診断ができるようになる。D-4-2-1、D-4-2-2、D-4-2-3
- ② 学生が患者とのコミュニケーションをはかることができるようになる。D-4-3-1、D-4-3-1、D-4-3-3、D-4-3-4
- ③ 学生が冠橋義歯補綴学の臨床の流れを理解することで、説明できるようになる。D-5-3-1-1
- ④ 学生が歯の欠損に対する補綴治療を学び、理解できるようになる。D-5-3-1-2
- ⑤ 学生が指導者のもと、冠橋義歯補綴による補綴治療からメンテナンスまでを学び、理解できるようになる。D-5-3-1-1、D-5-3-1-13
- ⑥ 学生が冠橋義歯補綴学の技工操作を学び、理解できるようになる。D-5-3-1-10、D-5-3-1-11
- ⑦ 学生が高度な欠損補綴治療に対して適切な介補ができ、診療を円滑に進めることができるようになる。D-5-3-1-9

コア・カリキュラム番号

D-4-2 D-5-3

4. 実習内容

1) 冠橋義歯外来実習

- ① 学生が冠橋義歯外来において指導医のもとで介助・見学することで診療術式を理解できるようになる。
- ② 介助・見学ケースは4月13日(月)より開始し、各指導医のアポイントで各自確認する。

※指導医は今、深澤、横田、福德、齊藤、佐々木、星、八戸の8名とする。指導医が認める場合は、指導医以外の先生の見学も可とする。

- ③ 見学は3名までとして認める。
- ④ 学生本人が指導医へ介助・見学の許可をもらう。
- ⑤ 指導医の所在についてはアポイントまたはシラバスで確認すること。
- ⑥ 見学終了後、処置内容ならびに見学処置に該当する項目について直ちに承認をもらう。進行表を必ず持参すること。
- ⑦ 指導医が必要と判断した場合、レポートを作成し、口頭試問を行う。その上で十分な知識の獲得を確認できた場合、本ケースを終了として承認する。その際、進行表を必ず持参すること。
- ⑧ 処置内容ならびにレポート、進行表には『処置日』『指導医印』を必ず記入すること。

※各ケース実施日より2週間を過ぎて提出、また見学日から1ヵ月以内に承認が得られていないケースは無効とする。

- ⑨ 進行表、処置内容ならびに関連資料は必ず自身で保管しておく。紛失した場合はそれまでの承認を無効とする。

2) 形成的評価

学生が、実習中に顎歯模型で右下4のCAD/CAM冠の支台歯形成の練習を5本以上行うことで、支台歯形成ができるようになる。形成評価は必ず顎歯模型へ装着した状態で行う。人工歯は指導医より配布予定である。6本目以降はオーバーケースとして認める。

3) 総括的評価

実習終了後、指導医1名(前期もしくは後期講義担当者)のもと総合的レポートの作成をおこない、冠橋義歯補綴学の理論を理解できるようになる。指導医が必要と判断した場合は、さらに口頭試問を追加しそれらの結果をもとに評価を行う。十分な知識、技術を修得していない場合は再試験を施行する。

4) 教科書、参考書等

クラウンブリッジ補綴学第6版、クラウンブリッジテクニック第2版、冠橋義歯補綴学テキスト第5版

5. 実習にあたっての注意事項

- 1) 臨床にふさわしい服装を心がけること。
- 2) 外来介助・見学は、各自が指導医にアポイントをとること。
- 3) アポイント取得や学生対応時間は、事前にオフィスアワー時間に指導医へ尋ねるか、直接会えない場合は、メールなどを利用して確認する。

6. 授業日程

臨床講義は1クールに1回設ける。配属期間の前期は1クール最後の木曜日、後期は1クール最後の水曜日にそれぞれ行う。場所については事前に学生の代表が講義担当者へ確認を行うこと。

7. 臨床実習停止時の対応

(基礎実習室・技工室・CAD/CAM センターへの立ち入りが許される場合)

1) 冠橋義歯外来介助ケース

- ① 支台築造：支台築造用の上顎前歯人工歯 5 本に対し、直接法支台歯築造を行い、概形成まで終了させる。指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。
- ② 支台歯形成、精密印象・咬合：右下第一大臼歯全部金属冠の支台歯形成を 5 本行い、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。
- ③ 暫間冠作製・調整：右上中切歯の暫間冠作製を、既製冠を用いる方法、レジン泥を用いる方法のそれぞれで 2 本製作し、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。
- ④ 試適・装着：右下第一大臼歯全部金属冠のワックスアップを行い、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。

2) 冠橋義歯外来見学ケース

上記以外の補綴：上記以外の補綴治療に関するレポートを A4 用紙 2 枚程度にまとめ、指導医の評価に合格することで見学 1 ケースと認める。

※臨床実習停止時は上記のいずれを行うか選択できるが班員全員が共通の課題を行うこと。

8. 臨床実習停止時の対応（実習室・技工室への立ち入りが許されない場合）

- ・口腔内写真、研究用模型、エックス線写真等の資料からケースプレゼンテーションに準じた症例検討を行う。パワーポイントで発表時間 10 分程度にまとめ、指導医の評価に合格することで介助 1 ケースと認める。

※班ごとに協力して 1 症例のケースプレゼンテーションを製作すること。

※外来診療終了後に指導医に対し発表を行う。

※上記、臨床実習停止時には当日いる指導医に指示を受けること。

9. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

10. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹
午後	横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 福德 暁宏 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 深澤 翔太 横田 潤 齊藤 裕美子 佐々木 溪斗 星 美貴 八戸 勇樹	

臨床実習Ⅱ：口腔インプラント学

ライター長：歯科補綴学講座（冠橋義歯・口腔インプラント学分野） 八戸 勇樹 助教

1. 教育成果（アウトカム）

一連の口腔インプラント治療の見学および参加を行うことで、臼歯部の咬合支持が確立している口腔インプラント治療の知識を習得し、説明できる状態に到達する。

（関連するディプロマポリシー：1, 2, 3, 4, 6）

2. 到達目標（SBOs）

1) 診察・検査の基本的知識・技能

- ① 口腔インプラント治療に必要な検査について説明できる。
- ② 患者およびコ・デンタルスタッフとコミュニケーションがとれる。
- ③ 口腔インプラント治療の方法・期間・予後・リスクについて説明できる。

2) 治療の基本的知識・技能

- ① 適切な診断用模型を製作できる。
- ② エックス線画像（デンタル、パノラマ、CBCT）を適格に読影し、説明できる。
- ③ インプラント埋入手術について説明できる。
- ④ 適切な印象採得を行うことができる。
- ⑤ 暫間補綴装置及び最終上部構造の装着ができる。
- ⑥ メンテナンスについて説明できる。

コア・カリキュラム番号

B-2-6、D-2-5-9、D-5-3-3、E-5-3

3. 実習内容

1) 外来実習について

- ・ 外来実習では、口腔インプラント治療を行う患者を通して、診断、治療計画、手術術式、補綴術式を修得し理解を深めることを目的とする。
- ・ 実習期間は4月13日（月）から2月25日（木）までとする。
- ・ 配属中は8:50に口腔インプラント外来に集合とする。
- ・ アポイントの確認、登校・下校承認は患者や病院関係者の通行の妨げにならないように注意する。
- ・ 設定されたリクワイアメントのうち、外来ケース(インプラント1次手術、インプラント2次手術、印象採得、上部構造装着、インプラントメンテナンス)の見学介助を行う。
- ・ 外来ケースの見学介助に先立ち、処置する部位やインプラントシステム、エックス線画像などを確認し、当日行う手技や器具についての事前学習を行う。
- ・ 見学・介助終了後、担当医より口頭試問の実施あるいは事後レポートを課す。担当医からの合格をもらった場合にケース進行表の検印とログブックの承認を行い、そのケースを終了とする。

※指導医は今、横田、福德、佐々木、八戸の5名とする。指導医が認める場合に指導医以外の先生の見学・介助も可とする。指導医以外の先生の見学・介助に入った際は、担当医から検印をもらい、指導医による承認を行う。

- ・ 既定の配属期間中にリクワイアメントに足るインプラントケースが無い場合においては、手術の録画映像の視聴や印象採得・上部構造装着のレクチャーを受け、担当医の課すレポートを提出することで、ケースの代替とする。
- ・ リクワイアメントを達成している項目についての見学介助は、すべてオーバーケースとして取り扱う。評価点での加点はリクワイアメントで設定したものと同様とする。

2) 臨床習熟度評価（形成的評価）について

- ・ 印象採得および上部構造装着のそれぞれに対し模型を用いた実技演習と口頭試問を実施することで、手順および使用器具、基礎知識を確認する。不足する知識については、その場で教科書や参考書を交えながら口頭にてフィードバックを行う。

3) 治療計画立案（総括的評価）について

- ・ 2人または3人1組のグループを形成し、インプラント埋入シミュレーション演習データを用いて、インプラントの治療計画を発表し、質疑応答を行う。
- ・ 指導医は発表と質疑応答の内容について35点満点で評価する。26点以上の得点獲得者は点数に応じて評価点にて加点を行う。

4) PBL:知識・技能問題解決(臨床実習中の学習時間)について

- ・ 実際の症例データを用いたインプラント埋入シミュレーション演習と、口腔インプラント学領域の設問に対するレポートの作成をワークショップ形式で行う。

5) 臨床実習停止時の対応

- ・ 外来実習については、1)の“既定の配属期間中にリクワイアメントに足るインプラントケースが無い場合”に準じて対応する。臨床習熟度評価については、対面実習ができる場合は通常通り実施し、対面実習ができない場合は口頭試問のみ実施する。その他、詳細は担当ライターより指示を仰ぐ。

4. 実習にあたっての注意事項

1) 外来実習において

- ・ 診療業務の妨げにならないように周囲に配慮して行動する。
- ・ リクワイアメント対象となるケースは、インプラント外来にあるアポイント帳や電子カルテで予約を参照して各自確認する。
- ・ 手術ケースは必ず担当医に許可を申し出て、見学予定の手術について術前確認が行われるカンファレンスに参加した上で行う。

※カンファレンスは原則として毎週水曜 16:30 より 4F 第一講義室で行われる。

※術前確認は原則として手術予定日より7日以上前のカンファレンスで実施される。なお、静脈内鎮静を併用する症例や担当医の出張がある場合は術前確認が早まる可能性があるため、担当医に許可を申し出る際に各自確認する。

- ・ 補綴処置・メインテナンスケースは原則として前日までに本人が担当医に見学介助の許可を申し出る。
- ・ 外来ケースの見学介助の許可が得られたら、担当医のアポイント帳（補綴処置ケースの場合）あるいは手術・メインテナンスのアポイント帳（手術・メインテナンスケースの場合）に自分の番号と名前をフリクションのボールペンで記入する。
- ・ 見学介助人数は、手術ケースは4名まで、補綴処置・メンテケースは3名までとする。
- ・ 口頭試問の実施あるいはレポートの提出期限は見学介助を行った日から1週間程度あるいは担当医が指定した日時とする。再提出の場合も担当医が指定した日時に提出する。原則として提出が遅れた場合、ケースは無効とする。また、承認は見学介助を行った日から1ヶ月以内とし、承認が得られていない場合のケースは無効とする。
- ・ 口腔インプラント学配属中に口腔インプラント学のケースがない場合には、冠橋義歯補綴学のケースを進行しても差し支えない。

2) 指導医のオフィスアワーについて

- ・ 学生の対応時間はカンファレンスの終了後を基本とする。
- ・ その他、各指導医と学生間で相談により対応時間を決定する。その際の連絡先は、シラバス内オフィスアワーに記載のあるメールアドレスとする。

3) 教科書、参考書について

- ・ よくわかる口腔インプラント学 第4版 医歯薬出版
- ・ 口腔インプラント治療指針 2024 日本口腔インプラント学会

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

6. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	横田 潤 福德 暁宏 八戸 勇樹	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 佐々木 溪斗	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	横田 潤 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹
午後	横田 潤 福德 暁宏 八戸 勇樹	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 佐々木 溪斗	今 一裕 横田 潤 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 福德 暁宏 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	今 一裕 佐々木 溪斗 八戸 勇樹	

臨床実習Ⅱ：摂食嚥下・口腔リハビリテーション学

ライター長：歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 島田 崇史 助教

1. 教育成果（アウトカム）

- ① 講義で修得した知識・技術を理解し、臨床の現場で実践することで、摂食嚥下リハビリテーションを行うことができるようになる。
- ② 他職種とのコミュニケーションを取りながら病棟または訪問診療での治療に参加することができるようになる。
- ③ 患者とその家族・介護者への対応ができるようになる。

2. 到達目標（SBOs）

- 1) 摂食嚥下障害患者に対する全身評価と問診ができる。
 - ① 摂食嚥下障害患者に対する全身評価と問診ができる。
 - ② 摂食嚥下障害に対する必要な検査を列挙できる。
 - ③ 摂食嚥下障害の病態を説明できる。
 - ④ 摂食嚥下障害の診断ができる。
 - ⑤ 摂食嚥下障害に対する治療法を説明できる。
 - ⑥ 高齢者の栄養状態の評価ができる。
 - ⑦ 摂食嚥下障害の病態に合わせた食形態の調整を説明できる。
 - ⑧ 要介護高齢者の口腔内能状態を判断できる。
 - ⑨ 要介護者およびその介護者に対して基本的な対応ができる。
 - ⑩ 口腔機能低下症の検査と予防法を説明できる。

コア・カリキュラム番号

GE-05、IP-01～03、C-1-3-1～3、D-3-1-11-2・5、D-5-7-1～9、D-6-2-1～4、E-5-6-2～5

3. 実習内容

- 1) 摂食嚥下機能障害患者に対する診療（10点×4項目=40点）
 - ・病棟や外部施設における訪問歯科治療にチームの一員として参加するために摂食嚥下障害患者の診療について理解を深める。
- 2) 嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査実習（5点×2項目=10点）
 - ・外来、病棟において、嚥下内視鏡検査および嚥下造影検査それぞれの介助または見学を行う。
- 3) 摂食嚥下リハビリテーション計画立案（PBL）（10点×1項目=10点）
 - ・摂食嚥下障害を有する患者の治療に必要な基本事項を理解し、検査結果より診断を行い、治療計画の立案を行う。治療計画は各自で立案したものをプレゼンテーションし、意見交換および口頭試問を行い、問題解決型学習を行う。
- 4) 直接訓練・間接訓練・口腔衛生管理見学実習（10点×2項目=20点）
 - ・摂食嚥下障害を有する患者の治療の治療計画に基づいた処置、訓練方法、問題点とその解決法について理解を深める。

- ・病棟における摂食嚥下リハビリテーションの直接訓練・間接訓練・口腔衛生管理を見学する。
- 5) 形成的評価（口頭試問）（10点×1項目=10点）。
- ・摂食嚥下障害を有する患者の治療の治療計画に基づいた口頭試問を行い評価し、理解を深める。
- 6) 総括的評価（習熟度評価試験）（10点×1項目=10点）。
- ・1)～4)の実習が全て終了後に、コア・カリキュラムに基づいて臨床実習の中で習得すべき技能と態度の項目について学習進捗を評価するために、試験を行う。
 - ・判定基準は65点以上を合格とする。
- 7) オーバーケースについて
- ・口腔機能低下症の検査，嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査実習、間接訓練・直接訓練・口腔衛生管理見学実習について、同様の点数を与える。
- 8) 評価方法
- ・ミニマムリクワイアメントを100%達成した場合、基礎点を65点とする。
 - ・習熟度試験、オーバーケース、実習態度を評価し、総合評価を35点満点で評価して、総合評価点とする。

4. 実習にあたっての注意事項

配属日当日は朝8:45に矢巾大学病院歯科外来(技工室側)に集合すること。

学生対応時間は火曜日または木曜日の16時から17時で内丸での対応とする。他の時間を希望する際は担当教員に各自でアポイントをとりにくること。担当教員が不在の際は、大学個人メールにてアポイント取得すること。

5. 身だしなみ等

常に清潔な白衣、服装を心がけ、頭髪の長さや色にも注意し、高齢者にも清潔と容易に理解されるように十分に配慮すること。また、タバコの臭いなどの悪臭を放つことのないよう、十分に注意すること。改善がみられない場合は実習を中止させることがある。配属日に学生が無断で現れなかった場合も実習中止とする。

6. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史 伊藤 凌 金子 千洋 高杉 采伽	小林 琢也 島田 崇史 伊藤 凌 金子 千洋 高杉 采伽	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史 金子 千洋	米澤 紗織 島田 崇史 伊藤 凌 高杉 采伽	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史 伊藤 凌 金子 千洋 高杉 采伽	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史 伊藤 凌 金子 千洋 高杉 采伽
午後	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史 伊藤 凌 金子 千洋 高杉 采伽	小林 琢也 島田 崇史 伊藤 凌 金子 千洋 高杉 采伽	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史 金子 千洋	米澤 紗織 島田 崇史 伊藤 凌 高杉 采伽	小林 琢也 米澤 紗織 島田 崇史 伊藤 凌 金子 千洋 高杉 采伽	

臨床実習Ⅱ：口腔外科学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（口腔外科学分野） 野宮 孝之 助教、川又 慎介 助教

1. 教育成果（アウトカム）

口腔・顎・顔面領域における代表的疾患について、診断から治療に至る一連の流れを理解し、臨床現場において必要とされる知識・態度・基本的技能を身につけることを目的とする。具体的には、以下を到達目標とする。

- 口腔・顎・顔面領域の疾患を有する患者から適切に情報を収集し、診断および治療方針決定の過程を理解できる。
- 口腔外科診療における基本的な診察・処置の流れを理解し、診療に参加できる。
- 医療安全およびチーム医療の重要性を理解し、医療者として適切な態度で行動できる。

2. 到達目標（SBOs）

1) 医療面接

- ① 主訴、現病歴、既往歴、家族歴などを適切に聴取し、得られた情報を整理・把握することができる。
- ② 患者の心理的・社会的背景に配慮し、医療者として適切な態度で対応することができる。

2) 診察の基本

2-1) バイタルサイン

- ① 血圧、脈拍、体温の測定方法を理解し、適切に測定および評価することができる。

2-2) 頭頸部の診察

- ① 顔面の左右対称性や色調変化を観察し、異常所見を把握できる。
- ② 下顎運動および顎関節の状態を評価する視点を理解できる。
- ③ 頭頸部リンパ節の触診方法を理解し、所見を説明できる。

2-3) 口唇・口腔内状態の診察

- ① 口腔内の正常構造および異常所見を識別し、その特徴を説明できる。

3) 診療録の記載と診断結果・治療方針の説明

- ① 医療面接および診察から得られた情報を整理し、適切に診療録へ記載することができる。
- ② 診断および治療方針について、指導医の説明を理解し、患者への説明内容を把握できる。

4) 口腔外科の基本的手技

- ① 清潔操作の基本原則を理解し、診療環境の維持に配慮できる。
- ② 拔牙および小手術に必要な器材の名称・用途を理解し、準備に関与できる。
- ③ 手術における手洗いおよび滅菌操作の手順を理解し、指導のもとで実践できる。
- ④ 拔牙および小手術の流れを理解し、診療補助を通じて治療の全体像を把握できる。

5) 粘膜疾患・顎関節疾患を有する患者の診察

- ① 粘膜疾患および顎関節疾患を有する患者の診察に立ち会い、疾患の特徴を理解する。
- ② 各疾患の鑑別の視点および治療方針の概要を説明できる。

6) 歯科医師国家試験問題を解くために必要な知識の習得

- ① 主要な症候について、その原因および病態生理を理解する。
- ② 症候・病態から鑑別すべき疾患を推定し、説明することができる。
- ③ 診断に必要な検査の種類と意義を理解する。
- ④ 検査結果と疾患との関連性を説明できる。
- ⑤ 患者の全身状態を踏まえた歯科治療上の留意点を理解する。
- ⑥ 服用薬剤が歯科治療（局所麻酔・投薬等）に及ぼす影響を理解する。
- ⑦ 全身疾患を有する患者に対する歯科治療上の注意点を理解する。

コア・カリキュラム番号

CS-07, 09, CM-01, 02, 03, D-1-2-1, D-2-1-1, D-2-2, D-2-3, D-3-1-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 10, D-4-1-1, 2, D-4-3-1, 2, 3, D-5-4, D-6-1, E-1-1, E-1-2-1, E-1-3-1, E-2-1-1, E-2-2-2, E-2-3-1, 2, 3, 4, 6, 7, E-2-5-1, E-3-1-1, E-3-2-1, 2, E-4-2, E-4-3-1, 2, 4, E-5-3-5

3. 実習内容

1) 実習概要

本実習は、矢巾附属病院における口腔外科診療を通じて、歯科医師として必要な基礎的知識・技能・態度を修得することを目的とする。

外来および病棟における診療に参加し、実際の臨床現場を通じて診断から治療に至る一連の流れを理解する。

2) 外来実習（矢巾附属病院 4 階）

集合時間：午前 8 時 30 分（矢巾附属病院 5 階医局）

- 実習開始時にオリエンテーションを行い、実習内容および注意事項を確認する。
- 朝のカンファレンスに参加し、当日の診療内容や患者情報を共有する。
- 初診および再診患者の診療を見学し、以下の事項を学ぶ。
 - 医療面接の進め方
 - 視診、触診、口腔内診査の実際
 - 診療録の記載方法
- 抜歯および小手術における器材の準備、処置の流れ、術後管理について理解を深める。

3) 病棟実習（西 8A 病棟）

集合時間：午前 8 時 30 分（矢巾附属病院 5 階医局）

- 病棟回診に参加し、入院患者の病状、治療方針および経過を把握する。
- 周術期管理（術前・術後）の流れを理解する。
- 手術症例については以下のスケジュールに基づき見学を行う。
 - 月・木・金：終日
 - 第 2・第 4・第 5 火曜日：午前

4) 症例検討および関連実習

- 毎週月曜日午後 4 時 30 分より、矢巾附属病院 5 階医局にて行われる症例検討会に参加する。
- 外来および病棟で担当した症例について、診断過程・治療方針・経過を整理し、理解を深める。
- 頭頸部外科実習では、午前 8 時 30 分に矢巾附属病院 5 階耳鼻咽喉科頭頸部外科医局に集合し、大橋准教授の指示のもと診療および手術見学を行う。なお、頭頸部領域の疾患の事前予習と解剖書の持参をする。

5) 学修上の留意事項

- 実習中は医療者としての自覚を持ち、時間厳守、身だしなみ、守秘義務を徹底すること。
- 指導医および医療スタッフの指示に従い、安全かつ円滑な診療に協力すること。
- 実習修了に必要な症例数の達成のみにとどまらず、可能な限り多くの症例を主体的に見学し、自らの目で病態および治療過程を確認すること。
- これにより、将来の歯科医師国家試験および臨床実践に必要な知識・判断力・態度の修得を目指す。

4. 実習にあたっての注意事項

- ① 清潔域および不潔域の区別を十分に理解し、清潔操作を遵守すること。
- ② 患者に対して不適切な発言や態度をとらないよう十分に配慮すること。
- ③ 病棟および手術室においては私語を慎み、診療および医療行為の妨げとならないよう留意すること。
- ④ 実習中に体調不良等を感じた場合は、速やかに指導医または担当者へ申し出ること。
- ⑤ 集合時間および集合場所を厳守し、医療従事者としてふさわしい態度で行動すること。
- ⑥ 処置または見学に入る際には、必ず当日の担当医の許可を得ること。
- ⑦ 症例の承認は、診療終了後に当該症例を担当した指導医から受けること。
- ⑧ 実習に関する相談等のアポイントは、原則として希望日の 1 週間前までに取得すること。連絡は口腔外科ライター長へ学内メール（大学個人メール）を用いて行うこと。

5. 診療録の記載法

- ① 患者担当が決定した後、速やかに医療面接記録用紙を準備すること。
- ② 指導医の指導のもと、患者を診療ユニットへ誘導し、医療面接および診察を行うこと。
- ③ 診療録には、全身状態および局所所見を正確かつ簡潔に記載し、第三者が読んでも理解できる内容とすること。

6. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	山田 浩之 川井 忠 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 古城 慎太郎 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 川又 慎介 矢菅 絵里加	野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里	川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 川又 慎介	山田 浩之 川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加
午後	山田 浩之 川井 忠 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 古城 慎太郎 野宮 孝之 高橋 美香子 秋本 祐基 川又 慎介 矢菅 絵里加	野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里	川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 野宮 孝之 高橋 美香子 太田 藍里 川又 慎介 矢菅 絵里加	山田 浩之 川井 忠 大橋 祐生 古城 慎太郎 平野 大輔 川又 慎介	

臨床実習Ⅱ：歯科麻酔学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科麻酔学分野） 坂野上 和奏 助教

1. 教育成果（アウトカム）

歯科麻酔臨床全般における実践的な知識、態度、技能を習得することで、口腔外科手術の全身麻酔、歯科治療時の静脈内鎮静法の周術期管理を理解する。

2. 到達目標（SBOs）

- ① バイタルサインについて説明できる。
- ② バイタルサインの測定・評価ができる。
- ③ 生体情報モニタの操作ができる。
- ④ 全身麻酔の術前管理について説明できる。
- ⑤ 患者の全身状態について評価できる。
- ⑥ 麻酔計画について説明できる。
- ⑦ 全身麻酔の導入について説明できる。
- ⑧ 全身麻酔の維持について説明できる。
- ⑨ 全身麻酔の覚醒について説明できる。
- ⑩ 全身麻酔の術中管理について説明できる。
- ⑪ 全身麻酔の介助ができる。
- ⑫ 全身麻酔の術後管理について説明できる。
- ⑬ 静脈内鎮静法について説明できる。
- ⑭ 静脈内鎮静法の介助ができる。

コア・カリキュラム番号

D-1-1、D-1-2、D-2-3、E-1-2、E-1-3、E-2-3

3. 実習内容

- 1) 日程：附属病院（矢巾）にて前期・後期それぞれ2日間（月または金）の配属実習
- 2) 内容：全身麻酔・静脈内鎮静法
全身麻酔症例と静脈内鎮静法の見学・介助実習を行う。
- 3) レポート
配属期間中に、見学に入った症例についての課題を提出。配属実習後、指定された期日までに紙媒体で提出。
- 4) 口頭試問
臨床実習の総括的評価として、口頭試問を後期配属実習期間内に行う。内容は臨床実習内で学習した内容全般とする。
不合格となった場合、別途課題を課すので指示に従うこと。
- 5) その他
配属期間内の症例が極端に少ない場合、再配属や白枠を利用した症例の充当がある。

4. 実習にあたっての注意事項

- 1) 初回は8時40分までに矢巾附属病院4階歯科外来L11 歯科診察室に集合すること。以降は静脈内鎮静班・全身麻酔班ごとに指示を出すため、その指示に従うこと。
- 2) 学生への対応時間について
対応時間： 8時30分～17時
対応時間内に矢巾歯科外来へ訪問
時間内の訪問が難しい場合はシラバスのオフィスアワー記載の担当教員メールアドレスに連絡し、アポイントを取得する。
(※歯科麻酔科医局は医科麻酔科医局と同室のため、訪室時はアポイントを取得してから訪室すること)
- 3) 教科書・参考書について
臨床歯科麻酔学 第6版 永末書店

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

6. 実習担当者

臨床実習(Ⅱ)・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	佐藤 健一 筑田 真未 坂野上 和奏	坂野上 和奏 柳町 晴香 前澤 五月	佐藤 健一 筑田 真未 坂野上 和奏	佐藤 健一 筑田 真未 佐藤 州 柳町 晴香 前澤 五月	佐藤 健一 筑田 真未 坂野上 和奏 佐藤 州 柳町 晴香 前澤 五月
午後	佐藤 州 柳町 晴香 前澤 五月		佐藤 州		

臨床実習Ⅱ：歯科放射線学

ライター長：口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野）佐藤 仁 助教

1. 教育成果（アウトカム）

放射線関連の検査種、方法、手技を理解、修得し基本となる正常像の読影ならびに疾患の弁別に必要な技量、読影能力を学修し鑑別診断ができる。

（関連するディプロマポリシー：1, 2, 3, 4, 6）

2. 到達目標（SBOs）

- ① 口内法撮影の手技（二等分法と平行法、正放線投影と偏心投影、咬翼法、咬合法）を実施できる。また、X線の性質を理解し口内法撮影で起こりうる失敗とその原因について説明できる。
- ② 写真処理（現像、定着、水洗、乾燥）について理解し、自動現像機による写真処理が実施できる。また、CCD、IPによるデジタルエックス線撮影の手技を理解、実施し、画像表示やデンタルマッピング（14枚法）の方法を理解、実施できる。
- ③ CBCT, MDCT, MRIの撮影方法、表示条件、断層像を理解し、正常解剖像を説明できる。また、CBCT画像においてDental MPR画像の再構成を実施できる。
- ④ CBCT, MDCT, MRI、核医学検査(RI)、超音波検査(US)における画像形成原理と検査の適応について説明できる。
- ⑤ パノラマX線撮影を教員の指導のもと実施できる。また、パノラマX線撮影で起こりうる失敗とその原因について説明できる。
- ⑥ 様々な放射線検査の画像所見をもとに鑑別診断を列挙できる。
- ⑦ 疾患別に特徴的な画像所見を列挙できる。
- ⑧ 鑑別診断を行う上で必要となる画像診断法を選択できる。

コア・カリキュラム番号

E-2-5-1, 2, 3, 4

3. 実習内容

臨床実習Ⅱ配属

事前学習内容をwebclass上に提示するので学習内容をレポートし、Webで提出、実習時に持参する。提出は実習の前週までに行うこととする。

内容の提示は臨床実習Ⅰ開始後に行う。

臨床実習Ⅱ講義

講義は後期配属時に予定する。口腔外科、歯科麻酔科、歯科放射線科の各ライターが交代で講義を担当するが、他配属状況やミニマムケースの進行状況を考慮し参加学生数が変動する。場所は歯科放射線実習室あるいは暗室を予定する。

1) **口内法撮影実習** (歯科放射線学分野第1臨床実習室 117号室および外来)

実習室

- ① シミュレーターにおいて口内法デンタルX線撮影の流れ、方法を確認する(ミニマムケースの設定は無いが、その後の相互撮影実習での成果にかかわるためすべての部位で確認すること)。
- ② 院内生相互で14枚法によるデンタル撮影(片側8枚の撮影がミニマムケース)および咬翼法撮影および咬合法撮影(それぞれ1枚がミニマムケース)を実施する。実習は2名一組を基本とする。配属奇数名の場合は3名とする。

外来自験

- ③ 外来にて教員の指導のもと自験患者のデンタル撮影を行う(ミニマムは1枚)。
- ④ 相互、自験撮影のオーバーケースはデンタル写真1枚につき2点を加算する。
- ⑤ 口内法撮影評価試験を実習後期(白桦)に行う(2人あるいは3人でそれぞれ2枚撮影を行い評価)。80点以上(100点満点)を合格とする。③にて自験患者撮影を2枚以上行った場合は口内法撮影試験免除とする。

2) 施設見学実習 (臨床実習II配属)

- ① CBCT、MDCT、MRI、核医学検査(RI)、超音波検査(US)のうち矢巾内の施設については動画学習にて振り替える。
- ② 実習後に webclass 上で課題提示された内容について「見学実習レポート」を作成し、指示された日時までに webclass を使い提出する。

3) 読影実習 (歯科放射線学分野第2臨床実習室 120号室) (臨床実習I、II配属)

- ① パノラマエックス線写真をはじめとする口外法単純エックス線撮影の画像を観察し所見を読影し理解する。(臨床実習Iから引き続き)
- ② CBCT、CT撮影、MRI撮像の原理および撮影された画像の表示条件、断層像を理解する。(臨床実習Iから引き続き)
- ③ CTの水平断、冠状断写真(各2枚)とDental MPR画像を観察、トレースし解剖学的構造を説明する。(臨床実習Iから引き続き)
- ④ 読影実習では顎顔面口腔領域疾患の各種画像を読影し、所見を適切に理解した上で診断名と鑑別診断名を列挙する。また、症例の概要と診断に至った理由を教員に説明する。
- ⑤ 読影実習は15症例(典型例穴埋め式5例、自由記載10例)をミニマムリクワイアメントとする。(臨床実習II配属)
- ⑥ 16症例目以降はオーバーケースとして1症例につき2点を加算する。(臨床実習II)
- ⑦ 読影実習のミニマムリクワイアメント終了後、総括的評価として読影評価試験を行う。読影評価試験は臨床実習Iの正常エックス線解剖と臨床実習IIの疾患読影の内容で実施する。読影評価試験(配点20点)では80%を合格点とする。
- ⑧ 「胸部エックス線写真の基本」は配属時の金曜午前の枠で教授よりレクチャーを受ける。(臨床実習II配属)

※**読影実習のオーバーケースについては、多く実施することによって臨床実地問題の読影能力を修得することが可能となるため、多くのオーバーケースを実施できるように努力すること。**

①) 胸部エックス線レクチャー（歯科放射線学分野第2臨床実習室120号室）

- ① 配属金曜日の午前中の実習とする。
- ② 実習開始時間は9:00とする（8:55に出席の確認を行う）。
- ③ **実習中の中座は原則認めない。**

4. 実習にあたっての注意事項

- ・ 口内法撮影実習、疾患読影実習を受ける学生は**ケーシー着用のうえ午前は8:50、午後13:30**に歯科放射線科実習室（120号室）に集合する。実習室においては長白衣の持参、着用は可とする。
- ・ 疾患読影実習には筆記用具、教科書、アトラス等の参考書を持参すること。
- ・ **胸部エックス線写真の基本については原則として中座を認めないものとする。**
- ・ ライターの対応時間は基本的に臨床実習時間内（8時30分～17時）としますが、17時以降に対応が必要な場合は事前にライターにアポイントをし、日時を協議する。アポイントは直接ライターに面会して行うことを原則とするが、外勤等で不在の場合にはライター長に相談する。アポイントは医局、外来、実習室いずれにおいても実習時間内であれば可とし、即時に対応できるように配慮しますが、暫時待ち時間が生じる可能性もあります。

5. 学習方略：第5学年臨床実習学生を対象

SBOs	種類	人的資源	物的資源	時間	備考
①、③、 ④、⑤、 ⑦	相互実習、自験	担当教員 学 生	放射線実習室 外来診療室 教科書、実習書	診療時間内	
②、⑥	見 学	担当教員 学 生	外来診療、検査室 実習書	診療時間内	

6. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

7. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁
午後	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	佐藤 仁	

臨床実習Ⅱ：歯科矯正学

ライター長： 口腔保健育成学講座（歯科矯正学分野） 菊池 恵美子 助教

1. 教育成果（アウトカム）

不正咬合の診察、検査、分析や矯正装置の知識を習得することで矯正歯科治療における治療計画の立案ならびに患者への説明ができる。

2. 到達目標（SBOs）

- 1) 担当患者の見学、介補、実技実習
 - ① 患者の矯正歯科治療の流れを理解し、説明できる。
 - ② 患者に適確な診療を実施できる。
 - ③ 患者の資料の分析結果を説明できる。
 - ④ 診療に必要な器材を準備できる。
 - ⑤ 矯正用器械・器具の使用方法について説明できる。
 - ⑥ 矯正装置の使用方法について説明できる。
 - ⑦ 矯正歯科治療の概略について説明できる。
 - ⑧ 矯正歯科治療中の患者のブラッシング指導が実施できる。
- 2) 症例検討会の参加
 - ① 症例の概略を説明できる。
 - ② 症例の資料の分析結果を説明できる。
 - ③ 症例の診断と予後判定を説明できる。
 - ④ 診断に基づいた治療計画を説明できる。
 - ⑤ 上記の項目について質疑応答ができる。
- 3) 小テスト・到達度試験・装置および器具の試験・講義
 - ① 歯科矯正学に必要な基本的な知識について理解し、説明できる。
 - ② 小テスト、到達度試験、装置及び器具の試験について理解し、合格できる。

コア・カリキュラム番号

D-2-1-1, D-2-2, D-5-5, E-1-1-2~5, E-2-1-1, E-2-2-1, 4, 6, E-5-2-3, E-5-4

3. 実習内容

※集合時間：（午前）8:30、（午後）13:30

※集合場所： 矯正歯科診療室出入口脇のキャビネット前

1) 担当患者の診療見学、介補、実技実習

・下記の16ケースの処置内容の提出を必須とする。

(1) 混合歯列期症例（機能的矯正装置、機械的矯正装置、顎外固定装置）

保定および経過観察症例を除く5ケース（バンドを用いた装置の症例を最低1ケース含むこと。）

(2) 成人矯正症例

保定および経過観察症例を除く4ケース（バンドを用いた加强固定装置、歯科矯正用アンカースクリューを用いた症例をそれぞれ最低1ケース含むこと。）

(3) 顎変形症症例

保定および経過観察症例を除く3ケース（術前矯正治療時の症例を最低1ケース含むこと。）

(4) 口唇口蓋裂症例

保定を除く2ケース（乳幼児期、学童期から成人期の症例をそれぞれ1ケースずつ。）

(5) 睡眠時無呼吸症候群症例

2ケース（装置装着を最低1ケース含む）

- ・ 診療後、処置内容記録を1週間以内に提出し、指導教員とショート・ディスカッションを行う。必要に応じてレポートを課す。
- ・ 実技実習として学生の習熟度に応じて、診療前の器械・器具の準備及び後片付け、診療内容、治療経過の説明、装置使用時の注意事項の説明、ブラッシング指導、ブラケット周囲のクリーニング、診療の介補を実施し、適切な実技の実施がなされたと指導教員が判断した際にケースとして認める**（最低10ケース）**。

2) 症例検討会の参加

- ・ 最低1回

・ 日 時：木曜日 17:10 開始

・ 場 所：歯学部 4F 第1講義室

（変更もあり得るため各自確認すること）

症例検討会参加予約表(外来)に参加日を記入し予約すること。

3) 小テスト

- ・ 日 時：配属期間中に行う。

① 頭部エックス線規格写真の計測点

② 頭部エックス線規格写真の計測平面・計測項目

③ 歯科医師国家試験の一般問題対策を行う。

- ・ 90%以上の正解率で合格とし、合格点に満たないものは再試験とする。

4) 到達度試験

- ・ 日 時：配属時に行う。

歯科医師国家試験の臨床実地問題対策を行う。

90%以上の正解率で合格とする。小テストが合格点に満たないものには再試験とする。

5) 器具および装置の試験

- ・ 日 時：前期後期の配属期間中に行う。

矯正装置及び器具の基本的な知識を問う。

6) 講 義

歯科医師国家試験の一般問題および臨床実地問題対策を行う。

4. 実習にあたっての注意事項

- ・教員の対応可能時間についてはオフィスアワーを確認し、必要に応じてアポイントを取ること。
- ・常に清潔な身だしなみと服装を心がける。臨床実習にふさわしくないと判断した場合、実習を中止する場合もあるので十分に注意する。
- ・矯正歯科診療室（診療室）への入退室時は受付からではなく、**常に診療室横の出入り口を使用すること。**
- ・**診療室で患者を待つ場合、出入り口脇のファイルキャビネット前に整列して待機すること。**
- ・持参した実習帳等は、出入り口正面キャビネットに設けた専用棚を使用し、見学時には両手を自由な状態にしておくこと。
- ・ユニットの診療準備、患者の誘導、見学、介補、後片づけ等は、必ず指導教員あるいは担当医の指示に従うこと。
- ・実習時間内に無許可で診療室を離れた場合は、欠席扱いにすることがある。
- ・指導教員あるいは担当医の指示なしに患者のファイルやエックス線写真、その他の資料を勝手に閲覧したり診療室から持ち出してはならない。
- ・**守秘義務を遵守すること。**
- ・**実習日から1週間以内**に処置内容を記載し、指導教員の評価を受けること。**正当な理由無く遅れた場合には、ケースとして認めない。**
- ・**レポート提出の遅延理由がある場合は、必ず担当教員宛に、大学の個人メールか口頭で連絡すること。**
- ・教員へのアポイントをとる場合は、大学の個人メールか口頭で連絡を行うこと。対応時間についてはオフィスアワーを確認すること。

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

臨床実習Ⅱ：小児歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野）齊藤 桂子 講師

1. 教育成果（アウトカム）

小児歯科診療に必要な診査、診断、治療計画立案、歯科的対応、処置法、口腔管理の手順について基本的な知識、技術および態度を修得することで小児歯科診療をスムーズに行えるようになる。

2. 到達目標（SBOs）

1) 小児の診察の基本的技能

- ① 小児患者の確認・診療室への誘導ができる。
- ② 小児の口腔内診査の項目について説明できる。
- ③ 歯列、咬合および歯の発育と異常について理解し、説明できる。
- ④ 小児歯科三角について理解し、小児とのラポール形成について説明できる。
- ⑤ 小児患者の特性を理解し、その患児に合わせた行動調整を行うことができる。

2) 小児の歯科治療

- ① 小児及び保護者に対し口腔衛生指導を実施できる。
- ② 小児及び保護者へのブラッシング指導を実施できる。
- ③ 小児に対して PMTC を実施することができる。
- ④ 年齢別の食事指導・間食指導の内容について説明できる。
- ⑤ 齲蝕予防処置について理解し、実施できる。
- ⑥ 小児の歯科治療に必要な器具・器材を準備することができる。
- ⑦ 小児の歯科治療について理解し、その手順について説明することができる。
- ⑧ 小児または保護者に対しての治療後の説明や予後について説明できる。
- ⑨ 見学内容を迅速に学生用診療録に記載することができる。

3) 治療計画の立案

- ① 乳歯齲蝕に関するデンタルエックス線画像の読影ができる。
- ② 乳歯齲蝕について診断し、その治療方法を挙げることができる。
- ③ 治療後の口腔衛生管理や定期健診の必要性について説明できる。
- ④ 小児の齲蝕治療に関する 1 口腔単位での治療計画立案について理解できる。

4) 到達度試験・習熟度試験

- ① 臨床実習・実習中の講義等で得た知識を用いて、問題を解くことができる。
- ② それぞれの試験に合格することができる。

5) 問題解決型学修

- ① 臨床実習・実習中の講義等で得た知識を用いて、課題を解決することができる。

コア・カリキュラム番号

A-2-2、A-3-4-1、C-2-1、3~7、D-2-1~3、D-5-6、E-2-1-2-1、2、E-3-1-1、2、E-3-2-1~3、E-5-1、E-5-5、E-5-7-1

3. 実習内容

1) 外来実習

実習形態：配属実習（日程については各自で配属表を参照すること）

小児・障害者での配属となるため実習日当日ライターから指示があるのでそれに従い、臨床実習を進めること

集合場所：**矢巾歯科外来（附属病院4階）**

集合時間：（午前）8時30分 （午後）13時00分

9時に診療が開始するので、それまでに必ず来ること

持ち物：小児歯科の教科書・実習書

（必ず配属されるグループで1冊は持参すること）

筆記用具

2) 実習内容

① 外来実習

(1) 配属実習の流れ

配当された小児患者の事前情報把握のために、電子カルテにて診療内容などの情報を確認すること。診療見学が終了したのち、必要事項を専用の用紙（レポート用紙）に記載し、配属期間内にライターのチェックを受けること。

自験する際には、配当された小児に適した行動調整法等を使用し、実習を行うこと。

(2) 実習内容

1. 定期健診

自験2症例、見学3症例

乳歯列期～混合歯列期にかけての小児の定期柄管理について実習を行う。

自験症例では、配当患児に対し口腔内診査、ブラッシング指導、PMTC、フッ化物歯面塗布を一連の流れで行っていく。

レポートの記載：自験2症例（口腔衛生指導、齲蝕予防処置の内容も含む）

2. 口腔衛生指導

自験3症例、見学2症例

乳歯列期～混合歯列期にかけての小児に対しての口腔衛生指導（ブラッシング指導など）について実習を行う。自験症例では、課題で提出したリーフレットを用いてブラッシング指導を行うケースを1つ必須とする。

3. 齲蝕予防処置

自験2症例、見学3症例

乳歯列期～混合歯列期にかけての小児に対しての齲蝕予防処置（フッ化物歯面塗布、予防填塞など）について実習を行う。

*ただし、1～3の実習内容は同一患者に対し、実施したものでも承認を行う。

4. 治療

見学5症例、介助1症例

小児の治療（齲蝕治療、外傷に対する対応、外科処置、保険など）について実習を行う。**少なくとも1ケースは齲蝕治療の症例**になるよう注意する。齲蝕治療のケースを配当されていない場合には、ライターに口頭で伝えること。介助

のケースがない場合には、見学した症例で代用する。

レポートの記載：見学5症例、介助1症例

5. 器材準備

自験5症例（少なくとも1症例は齶蝕治療の準備とする）

小児患者の診療に必要な器具・器材の準備、片づけ・ユニット清掃について実習する。器材の準備では、その用途についても聞く場合があるので、事前に指示を受けた症例に対しては、必要な器材等の確認をしておくこと。

6. その他

見学6症例

小児患者の診察・診療について実習を行う。すべての小児患者（15歳未満）の症例を対象とするが、可能であれば初診患者の見学を1症例以上見学することが望ましい。

② 課題

(1) レポート（5ケース）

レポートは、**1課題につきA4用紙3枚以上**にまとめ、**後期配属実習開始時まで**に作成し持参すること。なお、レポートは諸事情がない限り、手書きで記載すること。

《課題》

1. 小児の成長発達について
2. 歯の発育・萌出の異常について
3. 保隙（静的咬合誘導）について
4. 小児の外傷について
5. 小児歯科領域でみられる全身疾患について

(2) リーフレット作成（1ケース）

4歳から10歳程度の小児を想定して、その小児に対する**歯磨き指導用のパンフレット（はがきサイズ）**を作成すること。リーフレットは、**後期配属実習開始1週間までにWeb classに提出**あるいは**手書きの場合は当日持参**すること。

③ PBL（問題解決型学修）

(1) 臨床推論（2ケース）

配属期間内に小児歯科学の知識向上施策として演習を行う。

実施場所：小児歯科学・障害者歯科学分野医局（附属病院5階）

持ち物：筆記用具、**小児歯科学の教科書**

④ 試験

(1) 到達度試験（1ケース）

前期配属実習期間内に実施する。なお、合格点は65%以上とし、合格点に満たない場合には課題を課すので指示に従うこと。

実施場所：小児歯科学・障害者歯科学分野医局（附属病院5階）

持ち物：筆記用具、小児歯科学の教科書

試験範囲：成長・発育、歯列・咬合の発育、歯科的対応法、齶蝕、保隙

形式：5肢択一式問題

(2) 習熟度試験 (1 ケース)

後期配属実習期間内に実施する。なお、合格点は65%以上とし、合格点に満たない場合には課題を課すので指示に従うこと。

実施場所：小児歯科学・障害者歯科学分野医局（附属病院5階）

持ち物：筆記用具、小児歯科学の教科書

試験範囲：歯の発育とその異常、歯周疾患、外傷、軟組織疾患

形式：5肢択一式問題

⑤ まとめ

(1) 口頭試問

臨床実習の総括的評価として、口頭試問を**後期配属実習期間内**に行う。

内容は、臨床実習内で学修した内容全般とする。試問の評価が不合格となった場合には、別途課題を課すので指示に従い行うこと。

4. 実習にあたっての注意事項

・ 処置内容等のチェック・学生対応時間：診療時間終了後～19:00

（ただし、会議や出張等で不在の場合もあるので、緊急時はメールを送付すること）

アポイントについてはメールにて連絡すること。

連絡先は、ライター長宛（ksaitho@iwate-med.ac.jp）に送ること。

- ・ 配属期間中に他科の実習で抜ける場合には、ライターに事前に伝えること。
- ・ 遅刻・欠席等する場合には、連絡をすること。
- ・ 患児とその保護者に好印象を与えるような服装、髪形、態度で実習に臨むこと。
- ・ 実習に臨む際には、事前学修を必ず行い、知識の確認をしておくこと

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

6. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子
午後	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	齊藤 桂子	

臨床実習Ⅱ：障害者歯科学

ライター長：口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野） 磯部 可奈子 助教

1. 教育成果（アウトカム）

障害者歯科の臨床を体験することにより、障害者における口腔内の疾病の予防および治療について具体的に述べることができる。

2. 到達目標（SBOs）

定期診査、口腔衛生指導

- ① 障害者の医科学的特徴・歯科学的特徴を理解し安全面に配慮しながら、ユニットへの誘導や移乗の介助ができる。
- ② 診査・指導中の行動調整法の理論を理解し、円滑に進めることができる。
- ③ 手順を理解し、必要な準備ができる。
- ④ 口唇・口腔内状態の診察ができる。
- ⑤ 口腔衛生指導ができる。
- ⑥ 分かりやすい言葉使いと聞き取りやすい話し方ができる。
- ⑦ 患者の不快感に配慮した操作や声かけができる。

コア・カリキュラム番号

D-5-8-1～5

E-5-7-1, 2

3. 実習内容

- 1) 前期 定期診査 3～4日間で3症例、レポート1症例
- 2) 後期 定期診査 3～4日間で3症例、レポート1症例（課題を実習中に説明する）
後期配属期間中に習熟度試験・口頭試問を行う
- 3) 配属日程中に講義（学習時間を含む）を行う。前期 1回、後期 1回
- 4) レポート提出について
配属実習中の提出が望ましい。用紙はA4手書き。
遅くとも前期と後期の配属実習後、それぞれ2週間以内に提出。
- 5) 実習形態：配属実習（日程については各自で配属表を参照すること）
小児・障害者での配属となるため実習日当日ライターから指示があるのでそれに従い、臨床実習を進めること
集合場所：矢巾歯科外来（附属病院4階）
集合時間：（午前）8時30分（午後）13時25分

4. 実習にあたっての注意事項

- 1) 患者の誤解や恐怖を招かぬよう、言動や行動に注意を払う。
- 2) 患者やその家族と接するときは、障害を有する者とその家族の気持ちを十分に思いやる。
- 3) 対応可能な時間 月・水曜日 16:00～18:00
- 4) 連絡事項はある場合（体調不良で欠席など）は、下記まで連絡をしてください。
(磯部 : kisobe@iwate-med. ac. jp)

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

6. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子
午後	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	熊谷 美保 磯部 可奈子	磯部 可奈子	

臨床実習Ⅱ：内科学

ライター長：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉 俊美 教授

1. 教育成果（アウトカム）

内科における診断アプローチと治療戦略の立て方を理解する。また、歯科医師として必要な診察技術と内科救急の基礎的手技を修得する。

2. 到達目標（SBOs）

ユニット名 一般目標	到達目標
外来診察室において内 科的診察法と診断戦略 について理解する。 また、歯科医師として必 要な診察技術と内科救 急の身体所見の習得と 基礎的手技を修得する。	① 外来診察室において問診法および内科的診察法について説明できる。 ② 歯科医師として必要な診察技術の取得。 ・ バイタルサインについて説明できる。 ・ 脈拍、血圧測定、聴診（I音、II音）ができる。 ・ 頭頸部、胸腹部の身体的所見を説明できる。 ③ 心電図所見を説明できる。 ④ 血液検査、生化学、HBs抗原、HBs抗体所見について説明できる。 ⑤ 内科救急の身体所見の習得とBSLの手技（AEDなど）を説明できる。

コア・カリキュラム番号

E-2

3. 実習内容

■実習概要

外来で脈拍、血圧測定、聴診（I音、II音）、頭頸部、胸腹部の身体的所見についての相互実習を行う。

■集合場所・時間：歯学部1階内科診療室・実習予定日の午前9時集合

☆問診法および歯科医師として必要な診察の実践（必須—*実習加算点）

■レポート（必須—*実習加算点）

・実習当日の午後に記載し、WebClassに同日午後5時までに提出すること。

4. 実習にあたっての注意事項

- ・対応時間は、オフィスアワーと同様とする。
- ・アポイントの取得を希望する場合は、ライター長（千葉俊美：toschiba@iwate-med.ac.jp）にメールすること。

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

6. 実習担当者

臨床実習（Ⅱ）・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	千葉 俊美					
午後	千葉 俊美					

臨床実習Ⅱ：臨床薬学

ライター長： 薬剤部 和久井 珠里 薬剤長

1. 教育成果（アウトカム）

医薬品の取り扱いに関する知識を整理し、医薬品の適正使用に必要な情報の収集方法を習得する。また処方箋を正しく作成することができ、有効かつ安全な薬物療法を行うための注意事項を認識できる。

2. 到達目標（SBOs）

- 1) 医薬品の取り扱い
 - ① 医薬品の分類、保管方法などを説明できる。
 - ② 法的規制のある医薬品（毒薬、劇薬、麻薬、向精神薬、特定生物由来製品など）の取扱いに係る規定について説明できる。
- 2) 医薬品情報
 - ① 医薬品添付文書の法的位置づけや記載事項について説明できる。
 - ② 医薬品に関する情報の入手方法を説明できる。
 - ③ 健康被害救済制度について説明できる。
- 3) 歯科繁用医薬品
 - ① 解熱鎮痛薬、抗生物質、口腔用剤など歯科領域で使用する主な医薬品について、種類や特徴などを説明できる。
 - ② 妊婦・授乳婦、小児、高齢者など特別な配慮が必要な患者において、薬剤の選択や投与方法に適切な対応ができる。
- 4) 処方箋の書き方
 - ① 処方箋の記載事項を説明できる。
 - ② 処方箋を正しく書くことができる。
 - ③ 電子カルテで処方オーダーができる。
- 5) チーム医療における薬剤師との関わり
 - ① 薬剤師の業務や役割について説明できる。
 - ② 歯科用院内製剤の種類と特徴を説明できる。
- 6) 歯科医師による服薬指導
 - ① 歯科専用医薬品の使用方法を説明できる。
 - ② 持参薬、お薬手帳の確認の要点を説明できる。
 - ③ 処方薬の効能・効果、用法・用量、使用上の注意を説明できる。

コア・カリキュラム番号

A-6、C-1-3、D-1-2-1、D-2-1

3. 実習内容

*岩手医科大学附属病院薬剤部で1日間の実習を行う。

*医薬品の取り扱い、医薬品情報、歯科常用医薬品、処方箋の書き方・オーダの仕方、処方
の薬剤選択について、スライドを用いた講義とシミュレーション実習を行う。

SB0s	種 類	人的 資源	物的資源		時 期	備 考
			場 所	媒 体		
1) ①～② 2) ①～③ 3) ①～②	講 義	ライター 学 生	薬剤部	実習書 スライド	臨床実習Ⅱ	1グループに つきライター 1名。
4) ①～③	講 義 シミュレーション実習	ライター 学 生	薬剤部	実習書 スライド 電子カルテ	臨床実習Ⅱ	
5) ①～②	講 義 見 学	ライター 学 生	薬剤部	実習書 スライド	臨床実習Ⅱ	
6) ①～③	講 義 シミュレーション実習	ライター 学 生	薬剤部	実習書 患者用指導箋	臨床実習Ⅱ	

4. 実習にあたっての注意事項

*対応時間 月～金曜日 8:30～17:00 (レポート提出、電話対応など)

*ライターとの連絡方法 内線番号 #4220 (矢巾)

*レポート提出先 2階 薬剤部 (矢巾)

5. 成績評価方法・基準・配点割合等

※別紙リクワイアメント表に記載

6. 実習担当者

臨床実習(Ⅱ)・・・4月13日～2027年2月25日

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前			和久井 珠里			
午後			和久井 珠里			

1. 総合歯科学

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）			
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	オーバーケース	臨床実地予備試験	ケースプレゼンテーション
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数				
①②③	6	【診療参加型臨床実習】 医療面接	80	10	8	0	0	0	0	医療面接の態度や技能、診療録の記載項目を担当ライターが評価する。	20		
④⑤⑥	6	【診療参加型臨床実習】 臨床実地予備試験	40	20	2	0	0	0	0	態度、技能を担当ライターが評価する。		5	
⑦⑧	3	【ケースプレゼンテーション】 発表	60	60	1	0	0	0	0	プレゼンテーションの内容、質疑応答の状況を考慮して担当教員が評価する。			10
⑦⑧	3	【ケースプレゼンテーション】 予演会	20	10	2	0	0	0	0	プレゼンテーションの準備状況を考慮して担当教員が評価する。			
リクワイアメント合計			200		13		0		0				

形成的評価：

- 1) 医療面接後に患者から聴取した内容について確認し、各ライターからフィードバックする。
- 2) ケースプレゼンテーション予演会において、発表内容の理解度を確認し、各教員からフィードバックする。

その他（補足事項）：

- 1) オーバーケースの加点はミニマムと同じとする。オーバーケースは加算状況を全体的に評価するが、基本的には最高加算者を20点/35点として比例加算を行うこととする。比例計算で生じた小数点以下は切り上げとする。
- 2) 臨床実地予備試験の評価に関しては以下のとおりとする。
5点・・・CPX本試験前に2課題ともに終了する。
0点・・・CPX本試験前に2課題終了できない。
- 3) ケースプレゼンテーションの評価については以下のとおりとする。
10点・・・得点率95%～100%
8点・・・得点率90%～95%未満
6点・・・得点率80%～90%未満
4点・・・得点率70%～80%未満
2点・・・得点率70%未満

2. 予防歯科学（予防歯科学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）		
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	オーバーケース	定期試験
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数			
①	6	【定期口腔管理】 硬組織検査の記録	6	2	3	0	0	0	0	自験実施により1ケースとして承認する。	30	
①	6	【定期口腔管理】 硬組織検査の実施	4	4	1	0	0	0	0	自験実施により1ケースとして承認する。 介助実施により1ケースとして承認する。		
②	6	【定期口腔管理】 PCR測定の実施	12	4	1	2	4	0	0	自験実施により1ケースとして承認する。 介助実施により1ケースとして承認する。		
③	2,6	【定期口腔管理】 ブラッシング指導の実施	10	5	1	2	1	1	3	自験終了後、口頭試問実施により1ケースとして承認する。 介助実施により1ケースとして承認する。 見学実施により1ケースとして承認する。		
④	6	【定期口腔管理】 口腔ケアの実施	11	5	1	2	2	1	2	自験実施により1ケースとして承認する。 介助実施により1ケースとして承認する。 見学実施により1ケースとして承認する。		
⑤	6	【定期口腔管理】 機械的歯面清掃の実施	15	5	2	2	2	1	1	自験実施により1ケースとして承認する。 介助実施により1ケースとして承認する。 見学実施により1ケースとして承認する。		
⑦	5	【講義】 前期）講義	1	0	0	0	0	1	1	前期配属終了時点で講義を実施し、講義を受講することにより1ケースとして承認する。		
⑧	4	【講義】 後期）講義	1	0	0	0	0	1	1	後期配属終了時点で講義を実施し、講義を受講することにより1ケースとして承認する。		
①③	4	【課題】 定期口腔管理レポート提出	5	5	1	0	0	0	0	配属中のレポート提出後、口頭試問を受けることにより1ケースとして承認する。		
⑥	3,4	【課題】 周術期口腔管理レポート提出	15	15	1	0	0	0	0	矢巾周術期配属中のレポート提出後、口頭試問を受けることにより1ケースとして承認する。		
⑦	5	【試験】 前期）課題提出・習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	前期配属最終日のレポート提出後に行う筆記試験の受験により1ケースとして承認する。	5	
⑧	4	【試験】 後期）課題提出・習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	後期配属最終日のレポート提出後に行う筆記試験の受験により1ケースとして承認する。		
リクワイアメント合計			100		13		9		8			

オーバーケース点数 1回につき

形成的評価：

<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度試験（前期） ・習熟度試験（後期） <p>上記は、成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。</p>

その他（補足事項）：

<p>◆習熟度試験（前期）、習熟度試験（後期）の評価点は、以下のとおり5点満点で評価する。</p> <p>5点…前期および後期を合わせた得点率 100% 4点…前期および後期を合わせた得点率 76%～ 99% 3点…前期および後期を合わせた得点率 51%～ 75%未満 2点…前期および後期を合わせた得点率 26%～ 50%未満＝口頭試問対象者 1点…前期および後期を合わせた得点率 0%～ 25%未満＝口頭試問対象者</p> <p>◆オーバーケースの評価点はミニマムと同じとする。加算状況を総合的に評価するが、基本的には最高得点者を30/35点として比例加算を行うこととする。比例加算で生じた小数点以下は切り上げとする。</p>

3. 保存修復学 4. 歯内治療学（う蝕治療学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
1) ①～⑦ 2) ⑨	4	【修復/歯内】 ラバーダム	25	10	2	0	0	5	1	見学・自験終了後、レポート提出により1ケースとして承認する。
1) ①～⑦ 2) ⑧	4	【修復/歯内】 浸潤麻酔	10	5	1	0	0	5	1	見学・自験終了後、レポート提出により1ケースとして承認する。
1) ①～⑦ 3) ⑥	4	【修復/歯内】 象牙質知覚過敏症	10	5	1	0	0	5	1	見学・自験終了後、レポート提出により1ケースとして承認する。
1) ①～⑦ 2) ①～⑨ 3) ①～⑦	4	【修復/歯内】 直接修復処置・間接修復処置	20	5	2	5	1	5	1	自験・介助・見学終了後、レポート提出により1ケースとして承認する。
1) ①～⑦ 2) ⑦	6	【修復/歯内】 歯髄疾患の診査	15	10	1	0	0	5	1	見学・自験終了後、レポート提出により1ケースとして承認する。
1) ①～⑦ 2) ①～⑨ 4) ①～⑤	4	【修復/歯内】 抜髄法・感染根管処置（初回）	20	0	0	10	2	0	0	介助後、レポート提出により1ケースとして承認する。
1) ①～⑦ 2) ①～⑨ 4) ①～⑤	4	【修復/歯内】 根管充填	10	0	0	10	1	0	0	介助後、レポート提出により1ケースとして承認する。
1) ①～⑦ 2) ①～⑨ 4) ①～⑤	4	【修復/歯内】 根管拡大・根管形成	10	10	1	0	0	0	0	自験後、レポート提出により1ケースとして承認する。
5) ①	4	【口頭試問】 その他の歯内ケース（口頭試問）	10	0	0	2	5	0	0	介助後、レポート提出と口頭試問を行う。
5) ①	4	【口頭試問】 その他の修復ケース（口頭試問）	10	0	0	2	5	0	0	介助後、レポート提出と口頭試問を行う。
5) ①	8	【臨床推論】 臨床推論（修復・歯内）	20	10	2	0	0	0	0	配属中の中間試験、解説講義に出席によって1ケースとして承認する。
6) ①	8	【周術期管理 矢巾病院】 ①周術期の見学、レポート	30	30	1	0	0	0	0	矢巾配属、指導医の見学、症例レポートを提出により1ケースとして承認する。
6) ①	8	【周術期管理 矢巾病院】 ②カンファランス出席	10	10	1	0	0	0	0	総合歯科配属中にカンファランスに参加により1ケースとして承認する。
リクワイアメント合計			200		12		14		5	

評価点（35点）		
オーバーケース	臨床推論 （前期）	臨床推論 （後期）
15		
	10	10

形成的評価：

・自験、介助、見学の際、患者への挨拶、誘導の際の対応など臨床実習生（歯学）として適切な態度であるかを評価する。
 ・各リクワイアメント項目のレポート確認の際に口頭試問、臨床推論で筆記試験を行い、理解度を確認し、フィードバックする。
 ・臨床推論（前期）
 ・臨床推論（後期）
 上記は、成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。

その他（補足事項）：

・その他の修復ケース、その他の歯内ケースは臨床推論、周術期管理以外でミニマムを超えた際に1ケースとして承認する。
 ・オーバーケースはその他の修復ケース・その他の歯内ケースのミニマム数を超えた場合に、1ケース5点として追加での加点とし、加算状況を全体的に評価するが、基本的には最高得点者を15/35点として比例加算を行うこととする。比例加算で生じた小数点以下は切り上げとする。
 ・臨床推論の際の筆記試験を行い評価点に加算する。臨床推論（前期）、臨床推論（後期）の評価点は試験とその後の解説講義での口頭試問により各10点を加算する。

5. 歯周病学（歯周療法学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）											評価点（35点）				
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	オーバー ケース	習熟度試験①	習熟度試験②	自験技能試験	
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数						
1)	①	6	【診査】 口腔内写真、研究模型採得、咬合診査	5	5	1	5	0	0	0	自験終了後、ケースレポート提出及び口頭 試問実施により1ケースとして承認する。	5			
	②	6	【診査】 エックス線写真読影	5	5	1	5	0	0	0					
	③	6	【診査】 歯周組織検査	5	5	1	5	0	0	0					
2) 4)	①	6	【歯周基本治療】 TBI	10	5	2	3	0	0	0					
	②	6	【歯周基本治療】 スケーリング(超音波)	10	5	2	3	0	0	0					
	③	6	【歯周基本治療】 SRP	10	5	2	5	0	0	0					
	④	6	【歯周基本治療】 PMTc	10	5	2	4	0	0	0					
	⑤	6	【歯周基本治療】 咬合（調整・固定）	5	5	1	5	0	0	0					
3)	①②③	6	【歯周外科治療】 準備・介助	10	10	1	13	0	0	0					
1) 2) 3) 4)		4	【PBL】 歯周知識・技能問題解決	10	5	2	0	0	0	0					Webclassでの問題演習および解説実施により1ケースとして承認する。
1) 2) 3) 4)		4	【試験】 習熟度試験①	7	7	1	0	0	0	0					Webclassでの問題演習および解説実施により1ケースとして承認する。
1) 2) 3) 4)		4	【試験】 習熟度試験②	7	7	1	0	0	0	0	Webclassでの問題演習および解説実施により1ケースとして承認する。	7.5			
2)	③	4	【試験】 自験技能試験	6	6	1	0	0	0	0	SRPに関する実技試験および解説実施により1ケースとして承認する。		15		
リクワイアメント合計				100		18		0		0					

オーバーケース点数 1回につき

形成的評価：

・習熟度試験①
・習熟度試験②
上記は、成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。

その他（補足事項）：

習熟度試験①、習熟度試験②の評価点については以下のとおりとする。
 ・正答率100%=7.5点換算として行う。
 ・換算で生じた小数点以下は切り上げとする。
 自験技能試験の評価点については以下のとおりとする。
 ・各項目を評価し、15点満点で評価する。
 オーバーケースの評価点はミニマムと同じとする
 ・基本的には最高得点者を5/35点として比例加算を行うこととする。
 ・比例加算で生じた小数点以下は切り上げとする。

6. 有床義歯補綴学（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）		
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	オーバーケース	習熟度試験
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数			
⑧～⑮	6	【義歯外来自験実習】 概形印象・精密印象・顎間関係記録・試適	6	6	1	0	0	0	0	自験実施により1ケースとして承認する。	25	
⑥⑦⑮～⑰	6	【義歯外来自験実習】 義歯調整、支台歯の前処置	6	6	1	0	0	0	0	自験実施により1ケースとして承認する。		
⑥⑮	6	【技工操作】 技工操作	5	5	1	0	0	0	0	補綴に関連する技工操作実施により1ケースとして承認する。		
①～⑧	6	【義歯外来介助・見学実習】 検査・診断、概形印象採得	8	0	0	0	0	4	2	症例を見学してライター許可を得れば1ケースとして承認する。		
⑧	6	【義歯外来介助・見学実習】 精密印象採得	8	0	0	0	0	4	2	症例を見学してライター許可を得れば1ケースとして承認する。		
⑨～⑫	6	【義歯外来介助・見学実習】 顎間関係の記録	12	0	0	0	0	4	3	症例を見学してライター許可を得れば1ケースとして承認する。		
⑬⑭	6	【義歯外来介助・見学実習】 ろう義歯試適	8	0	0	0	0	4	2	症例を見学してライター許可を得れば1ケースとして承認する。		
⑮⑰	6	【義歯外来介助・見学実習】 完成義歯の装着	8	0	0	0	0	4	2	症例を見学してライター許可を得れば1ケースとして承認する。		
⑮	6	【義歯外来介助・見学実習】 義歯調整	12	0	0	0	0	4	3	症例を見学してライター許可を得れば1ケースとして承認する。		
⑦⑩⑮	6	【義歯外来介助・見学実習】 義歯修理、顔弓記録、GoA、その他の補綴治療	8	0	0	0	0	4	2	修理、特殊な治療、その他の補綴治療を見学して1ケースとして承認する。		
⑤⑱	6	【新患急患対応実習（義歯外来A）】 新患急患対応	4	0	0	0	0	2	2	新患急患を半日見学して1ケースとして承認する。		
①～④⑨⑪～⑬⑰	4	【有床義歯学習】 口頭試問、有床義歯学習	2	2	1	0	0	0	0	口頭試問によりライターの許可を得れば1ケースとして承認する。		
①～④⑨⑪～⑬⑰	4	【有床義歯治療評価】 有床義歯治療評価、課題提出	3	3	1	0	0	0	0	レポート提出により1ケースとして承認する。		
①～④⑨⑪～⑬⑰	4	【試験】 習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	12月に試験（70点）で合格、承認 不合格者には再試験を行う	10	
リクワイアメント合計			100		6		0		18			

形成的評価：

形成的評価（有床義歯治療評価）
義歯治療に関する口頭試問やレポートを行い評価し、有床義歯治療の理解を深める。

総括評価を兼ねている場合（上記リクワイアメントに含めているが形成的評価を兼ねているもの）
・習熟度試験
上記は、成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。
12月に試験を行い70点以上で合格、承認となる。不合格者には再試験を行う。

その他（補足事項）：

オーバーケースは、最高得点者を25点として比例加算を行うこととする。比例加算で生じた小数点以下は切り上げとする。

習熟度試験の評価点については以下のとおりとする。
10点…得点率90%～100%
8点…得点率80%～90%未満
4点…得点率70%～80%未満
0点…再試験該当者（70%未満）

7. 冠橋義歯補綴学（冠橋義歯・口腔インプラント学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）											
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数		
1)	①②③ ④⑤⑦	1	【クラウン・ブリッジ治療】 支台築造	10	5	0	5	2	0	0	介助終了後、1ケースとして承認する。 自験したケースは、オーバーケースとして承認する。
	①②③ ④⑤⑦	1	【クラウン・ブリッジ治療】 支台歯形成	10	5	0	5	2	0	0	介助終了後、1ケースとして承認する。 自験したケースは、オーバーケースとして承認する。
	①②③ ④⑤⑦	1	【クラウン・ブリッジ治療】 精密印象・咬合	10	5	0	5	2	0	0	介助終了後、1ケースとして承認する。 自験したケースは、オーバーケースとして承認する。
	①②③④ ⑤⑥⑦	1	【クラウン・ブリッジ治療】 暫間冠作製・調整	10	5	0	5	2	0	0	介助終了後、1ケースとして承認する。 自験したケースは、オーバーケースとして承認する。
	①②③④ ⑤⑥⑦	1	【クラウン・ブリッジ治療】 試適・装着	10	5	0	5	2	0	0	介助終了後、1ケースとして承認する。 自験したケースは、オーバーケースとして承認する。
	①②⑤⑦	2, 3, 4	【クラウン・ブリッジ治療】 経過観察	10	5	0	5	2	0	0	介助終了後、1ケースとして承認する。 自験したケースは、オーバーケースとして承認する。
	⑦	9	【PBL】 知識・技能問題解決	20	10	2	0	0	0	0	1クールに1回臨床講義を設ける。 (前期・後期)
	③④	3, 6	【試験】 支台歯形成（顎歯模型5本以上）	10	10	1	0	0	0	0	1歯形成毎に指導医に評価を受け、 5本終了で1ケース承認する。
⑦	8	【試験】 レポート・口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	介助終了後、臨床講義担当者へレポート 提出、口頭試問実施により1ケースとして承認する。	
リクワイアメント合計				100		4		12		0	

評価点（35点）	
オーバーケース	見学（自験・介助に含まれていないケース）
30	5

形成的評価：

- 1) 形成的評価のみの場合
・顎歯模型で支台歯形成練習を5本以上行うことで、支台歯形成ができるようになる。

2) 総括評価を兼ねている場合
・指導医1名のもと総合的レポートの作成を行い、冠橋義歯補綴学の理論を理解できるようになる。指導医が必要とした場合は、さらに口頭試問を追加しそれらの結果をもとに評価を行う。十分な知識を習得していない場合は再試験を施行する。

その他（補足事項）：

- 1) オーバーケースの評価点はミニマムと同じとする。

8. 口腔インプラント学（冠橋義歯・口腔インプラント学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
1) ②③ 2) ③	3, 6	【手術】 インプラント一次手術 （1ケースは骨移植、CTG、FGGでも可）	20	0	0	0	0	10	2	見学・介助終了後、口頭試問かレポート提出で合格すること承認。
1) ②③ 2) ③	3, 6	【手術】 インプラント二次手術	10	0	0	0	0	10	1	見学・介助終了後、口頭試問かレポート提出で合格すること承認。
1) ② 2) ④	6	【補綴処置】 印象採得	10	0	0	10	1	0	0	見学・介助終了後、口頭試問かレポート提出で合格すること承認。
1) ② 2) ⑤	6	【補綴処置】 上部構造装着	10	0	0	10	1	0	0	見学・介助終了後、口頭試問かレポート提出で合格すること承認。
1) ①②③ 2) ②⑥	4	【メンテナンス】 インプラントメンテナンス	10	0	0	0	0	10	1	見学・介助終了後、口頭試問かレポート提出で合格すること承認。
2) ④	6	【試験】 臨床習熟度評価：印象採得	10	10	1	0	0	0	0	口頭試問および模型実習提出を実施し、フィードバックを受けること承認。
2) ⑤	6	【試験】 臨床習熟度評価：上部構造装着	10	10	1	0	0	0	0	口頭試問および模型実習提出を実施し、フィードバックを受けること承認。
1) ①③ 2) ①②③	1, 4	【試験】 治療計画立案	10	10	1	0	0	0	0	治療計画について発表と質疑応答を行い、35点満点中26点以上の得点で加点を行う。
1) ①③ 2) ①②③	2	【臨床実習中の学習時間】 PBL：知識・技能問題解決 （ワークショップ）	10	5	2	0	0	0	0	埋入シミュレーション、レポートを完成させチェックを受けること承認。
リクワイアメント合計			100		5		2		4	

評価点（35点）	
オーバーケース	治療計画立案
20	15

形成的評価：

臨床習熟度評価（印象採得・上部構造装着）を実施することで理解度を確認し、不足する知識・技能についてフィードバックを行う。

その他（補足事項）：

治療計画立案の評価点の加点については以下のとおりとする。
 15点…実得点34、35点
 12点…実得点32、33点
 9点…実得点30、31点
 6点…実得点28、29点
 3点…実得点26、27点

9. 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）											評価点（35点）		
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	習熟度試験	オーバーケース	実習態度
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数				
1)	⑨	2, 3, 4	【摂食嚥下機能障害患者に対する診療】 姿勢調整	10	0	0	0	0	5	2	外来、病棟において、姿勢調整の見学により1 ケースとして承認する。	10	5
	①④	4	【摂食嚥下機能障害患者に対する診療】 口腔内診査	10	0	0	0	0	5	2	外来、病棟において、口腔内診査の見学により1 ケースとして承認する。		
	①④	2, 3, 4	【摂食嚥下機能障害患者に対する診療】 スクリーニング検査	10	0	0	0	0	5	2	外来、病棟において、スクリーニング検査の見学 により1ケースとして承認する。		
	⑩	4	【摂食嚥下機能障害患者に対する診療】 口腔機能低下症の検査	10	10	0	0	0	10	1	外来、病棟において、口腔機能低下症の検査の実 施または見学により1ケースとして承認する。		
	②～④	2, 3, 4	【嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査】 嚥下内視鏡の準備、操作	0	0	0	5	0	0	0	外来、病棟において、嚥下内視鏡検査の介助によ り1ケースとして承認する。		
	②～④	2, 3, 4	【嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査】 嚥下内視鏡検査（介助）	10	0	0	5	0	5	2	外来、病棟において、嚥下内視鏡検査の見学によ り1ケースとして承認する。		
	②～④	2, 3, 4	【嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査】 嚥下造影検査（介助）	0	0	0	0	0	10	0	病棟において、嚥下造影検査の見学により1ケー スとして承認する。		
	①～⑩	3, 4	【嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査】 摂食嚥下リハビリテーション計画立案 (PBL)	10	10	1	0	0	0	0	治療計画を各自で立案し、意見交換および口頭試 問実施により1ケースとして承認する。		
	⑧⑨	4	【直接訓練・間接訓練・専門的口腔ケア】 間接訓練・口腔衛生管理のいずれか	20	0	0	10	0	10	2	病棟において、間接訓練・口腔衛生管理の見学によ り1ケースとして承認する。		
	⑦	4	【直接訓練・間接訓練・専門的口腔ケア】 直接訓練	0	0	0	0	0	10	0	病棟において、直接訓練の見学により1ケースと して承認する。		
①～⑩	2, 3, 4	【口頭試問】 口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	口頭試問実施により1ケースとして承認する。			
①～⑩	2, 3, 4	【試験】 習熟度試験	10	10	1	0	0	0	0	実習が全て終了後に、65点以上を獲得することに より1ケースとして承認する。			
リクワイアメント合計			100		3		0		11		20		

オーバーケース

形成的評価：

治療計画は各自に1症例配当した患者に対し立案し、各々プレゼンテーションを行う。その際、意見交換および口頭試問実施し、形成的評価を行う。

その他（補足事項）：

10. 口腔外科学（口腔外科学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	
1)・2)	1.2	【医療面接・診察・説明】 医療面接・診察（自験）	8	4	2	0	0	0	0	自験終了後、担当教員による直接観察および診療内容の確認を行い、医療面接・診察・説明が適切に実施できていることを確認した上で、1ケースとして承認する。
3)	2.6	【医療面接・診察・説明】 診療録の記載（自験）	8	4	2	0	0	0	0	
3)	1.2	【医療面接・診察・説明】 抜歯についての説明（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
4)	3.6	【普通抜歯】 抜歯機材の準備（自験）	2	2	1	0	0	0	0	自験または介助終了後、担当教員が実施内容を確認し、手技の理解および診療参加態度が適切であると判断された場合に1ケースとして承認する。
4)	3.6	【普通抜歯】 浸潤麻酔・抜歯操作（介助）	6	0	0	2	3	0	0	
4)	1.6	【普通抜歯】 浸潤麻酔・抜歯操作（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
3)	1.2	【普通抜歯】 抜歯後の注意事項（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
3)	2.6	【普通抜歯】 抜歯後の処方（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
4)	1.6	【普通抜歯】 抜歯後の経過観察、処置（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
4)	3.6	【外来小手術】 器械器具の準備（自験）	3	2	1	0	0	1	1	
4)	3.6	【外来小手術】 器具の片づけ（自験）	6	2	3	0	0	0	0	
4)	1.6	【外来小手術】 器械器具のダブルチェック（自験）	7	2	3	0	0	1	1	自験または介助終了後、担当教員が実施内容を確認し、手技の理解および診療参加態度が適切であると判断された場合に1ケースとして承認する。
4)	3.6	【外来小手術】 手術の介助（介助）	10	0	0	2	4	2	1	
2)・5)	4.6	【一般診療】 粘膜疾患の診療（見学）	4	0	0	0	0	2	2	担当教員の指示のもと見学を行い、病態などの理解をしていることを確認した上で1ケースとして承認する。
2)・5)	4.6	【一般診療】 顎関節疾患の診療（見学）	4	0	0	0	0	2	2	
6)	3.4	【病棟実習】 術後回診（見学）	2	0	0	0	0	2	1	担当教員の指示のもと見学を行い、術式・病態・術後管理について理解していることを確認した上でライターが1ケースとして承認する。 ※症例検討会は臨床実習中の学習時間として実施
6)	4.9	【病棟実習】 症例検討会（見学・参加）	2	0	0	0	0	2	1	
6)	4.9	【病棟実習】 全身麻酔手術（見学）	8	0	0	0	0	2	4	
6)	4.9	【病棟実習】 頭頸部腫瘍センターの手術（見学）	4	0	0	0	0	4	1	
6)	4.9	【課題】 レポート課題（全麻手術）（自験）	2	2	1	0	0	0	0	提出されたレポート内容についてライターが評価し、病態理解および考察が適切であると判断された場合に1ケースとして承認する。
6)	6.9	【課題】 レポート課題（外来）（自験）	2	2	1	0	0	0	0	
6)	1.9	【口頭試問】 口頭試問	4	4	1	0	0	0	0	教授またはライターの実施する口頭試問により、口腔外科領域における理解および治療方針の説明が適切に行えることを確認し、1ケースとして承認する。
リクワイアメント合計			100		24		7		14	

評価点（35点）			
オーバーケース	レポート （外来）	レポート （病棟）	口頭試問
20			
		5	
		5	
			5

形成的評価：

<ul style="list-style-type: none"> ・実習期間中、担当教員が随時フィードバックを行い、医療面接、診察態度、診療補助、手技理解、患者対応について理解度および到達度を確認する。 ・レポート課題および口頭試問は、形成的評価を兼ねた総括評価として位置付ける。
--

その他（補足事項）：

<ul style="list-style-type: none"> ・各実習項目の達成状況については、症例の内容、学生の理解度および実習への取り組み態度を踏まえ、総合的観点から評価を行う。 ・診療状況等により、一部の实習項目については、見学、代替症例、手術動画等を活用し、教育的効果を担保した実習を実施する場合があります。 ・オーバーケースについては、ミニマムケースと同様に取り扱い、達成状況を総合的に評価したうえで、所定の方法に基づき比例加算を行う。 ・本実習は診療参加型臨床実習の理念に基づき、講義形式による知識付与に備ることなく、実際の症例観察および診療参加を通じた視覚的・体験的学習を重視する。学習時間については、症例検討会および振り返りを通じて確保し、知識と臨床経験の統合を図る。 ・臨床実習Ⅰにおいては、形成的評価の一環として、口腔外科領域に関する基礎的知識および臨床的思考力の定着を目的に、問題演習（DESS〔国家試験問題演習アプリ〕）を活用を実施する。本演習は、臨床実習Ⅱにおける症例経験、診察・処置への参加、症例検討および口頭試問の基礎となる事前学習および理解度確認として位置づける。

1 1. 歯科麻酔学（歯科麻酔学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）		
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	レポート	口頭試問
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数			
①②	6	【鎮静法】 麻酔チャート記録	10	0	0	0	0	5	2	口頭試問		
⑬	6	【鎮静法】 診療録記載	10	0	0	0	0	5	2	口頭試問		
③	6	【鎮静法】 モニタ装着	10	0	0	0	0	5	2	口頭試問		
⑭	6	【鎮静法】 点滴回路準備	10	0	0	0	0	5	2	口頭試問		
⑭	6	【鎮静法】 術後指示	10	0	0	0	0	5	2	口頭試問		
⑤	6	【全身麻酔】 医療面接（病歴聴取）	5	0	0	0	0	5	1	口頭試問		
⑦⑧⑨⑩⑫	6	【全身麻酔】 診療録記載	5	0	0	0	0	5	1	口頭試問		
④⑥	6	【全身麻酔】 術前指示	5	0	0	0	0	5	1	口頭試問		
⑦⑪	6	【全身麻酔】 人工呼吸	5	0	0	0	0	5	1	口頭試問		
⑦⑪	6	【全身麻酔】 喉頭展開	5	0	0	0	0	5	1	口頭試問		
①～⑭	4	【PBL】 麻酔知識・技能問題解決	5	5	1	0	0	0	0	口頭試問		
①～⑭	4	【課題】 レポート	10	10	1	0	0	0	0	レポート提出	15	
①～⑭	4	【口頭試問】 口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	口頭試問		20
リクワイアメント合計			100		3		0		15			

形成的評価：

その他（補足事項）：

・レポート
・口頭試問
上記は成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。

12. 歯科放射線学（歯科放射線学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）			
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	口内法撮影 評価試験	口頭試問	講義
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数				
①②	6	【エックス線検査口内法撮影】 二等分法	16	2	8	0	0	0	0	自験症例実施によりケースとして承認する。			
①②	6	【エックス線検査口内法撮影】 咬翼法	2	2	1	0	0	0	0	自験症例実施によりケースとして承認する。			
①②	6	【エックス線検査口内法撮影】 咬合法	2	2	1	0	0	0	0	自験症例実施によりケースとして承認する。			
①②	6	【エックス線検査口内法撮影】 事前学習レポート	2	2	1	0	0	0	0	レポート提出によりケースとして承認する。			
①②	6	【エックス線検査口内法撮影】 口内法撮影評価試験	10	10	1	0	0	0	0	試験を実施し80点以上でケースとして承認する（100点満点）。	10		
⑤	6	【エックス線検査口外法撮影】 パノラマ線撮影	4	2	1	2	1	0	0	自験症例実施によりケースとして承認する。			
⑥	6	【エックス線検査口外法撮影】 頭部エックス線規格撮影	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
⑥	6	【エックス線検査口外法撮影】 顎関節撮影（シュラー）	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
⑥	6	【エックス線検査口外法撮影】 顎関節撮影（オルビトラムス）	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
⑥	6	【エックス線検査口外法撮影】 他単純エックス線撮影	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
⑥	4	【エックス線検査口外法撮影】 胸部エックス線撮影	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
⑥	4	【胸部エックス線写真の基本】 放射線画像診断基礎、 胸部エックス線写真の基本	3	3	1	0	0	0	0	講義を受講することでケースとして承認する。			
③④	6	【エックスCT検査】 CBCT	2	0	0	0	0	2	1	自験症例実施によりケースとして承認する。			
③④	6	【エックスCT検査】 CBCT再構成	2	2	1	0	0	0	0	自験症例実施によりケースとして承認する。			
③④	4	【エックスCT検査】 MDCT	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
③④	4	【MRI検査】 造影、非造影	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
③④	4	【核医学検査】 骨、腫瘍シンチグラフィ	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
③④	4	【超音波検査】 頭頸部超音波検査	2	0	0	0	0	2	1	見学実習終了後にケースとして承認する。			
③④⑤	4	【施設見学レポート】 事後レポート	4	4	1	0	0	0	0	見学実習終了後にレポート提出によりケースとして承認する。			
⑥⑦⑧	6	【疾患読影】 疾患読影（典型例共通穴埋め式）	5	1	5	0	0	0	0	自験症例実施によりケースとして承認する。			
⑥⑦⑧	6	【疾患読影】 疾患読影	10	1	10	0	0	0	0	自験症例実施によりケースとして承認する。			
⑥⑦⑧	4	【臨床習熟評価】 口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	試験を実施し80点以上でケースとして承認する（100点満点）。		15	
⑥⑦⑧	4	【画像診断】 講義	10	5	2	—	—	—	—	講義を受講することでケースとして承認する。			10
リクワイアメント合計			100		34		1		10				

形成的評価：

口内法撮影試験、正常解剖読影試験、疾患読影試験を行い、理解度を確認する。
なお、口内法撮影試験は成績に含める試験だが、理解度を確認する機会を兼ねている。

その他（補足事項）：

13. 歯科矯正学（歯科矯正学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）											
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数		
1)	①～⑧	1,6	【患者の見学・介助】 患者の見学・介助	48	3	16	0	0	0	0	レポート提出
1)	①～⑧	1,6	【実技実習】 実技実施ケース	20	2	10	0	0	0	0	器具の準備・片付け、口頭試問
2)	①～⑤	4,9	【症例検討会の参加】 症例検討会	4	4	1	0	0	0	0	口頭試問
3)	①～②	4	【試験】 到達度試験	5	5	1	0	0	0	0	筆記試験、口頭試問
3)	①～②	4	【試験】 小テスト	5	5	1	0	0	0	0	筆記試験
3)	①～②	4	【口頭試問】 器具および装置	8	4	2	0	0	0	0	口頭試問
3)	①～②	4	【講義】 講義	10	5	2	0	0	0	0	筆記試験、口頭試問
リクワイアメント合計				100		33		0		0	

評価点（35点）		
オーバーケース数	到達度試験	小テスト
15		
	10	
		10

形成的評価：

到達度試験、小テストは、成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。

その他（補足事項）：

オーバーケースの評価点はミニマムと同じとする。加算状況を全体的に評価するが、基本的には最高得点者を20/35点として比例加算を行うこととする。小数点以下は切り上げとする。

1 4. 小児歯科学（小児歯科学・障害者歯科学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）							
到達目標	DP	実習項目	ミニマム合計	自験		介助		見学		評価方法	レポート	課題	リーフレット	口頭試問	筆記試験	オーバーケース	
				点数	ミニマムケース数	点数	ミニマムケース数	点数	ミニマムケース数								
2)	②③⑤⑨	1, 3	【外来実習】 定期健診	9	3	2	2	0	1	3	【見学症例】 外来実習後、口頭試問を行い1ケース承認する。 【介助・自験症例】 外来実習後、レポートを提出し1ケース承認とする。					10	
	①②④	2, 5	【外来実習】 口腔衛生指導	11	3	3	2	0	1	2							
	⑤	4, 6	【外来実習】 齲蝕予防処置	9	3	2	2	0	1	3							
	⑦⑧⑨	4, 6	【外来実習】 治療	7	3	0	2	1	1	5							
	⑥	3	【外来実習】 器材準備	15	3	5	2	0	1	0							
1)	①～⑤	6	【外来実習】 その他	12	3	0	2	0	2	6	外来実習後、口頭試問を行い1ケース承認する。						
1) 2)		8	【課題】 レポート	10	2	5	0	0	0	0	レポートを提出し、1ケース承認をする。	5					
1)	①	2	【課題】 リーフレット	2	2	1	0	0	0	0	リーフレットを提出し、1ケース承認をする。		1				
3) 5)		9	【PBL】 臨床推論	10	5	2	0	0	0	0	課題の提出をし、1ケース承認をする。		4				
4)		8	【試験】 到達度試験	2	2	1	0	0	0	0	前期配属期間内に行う試験にて65%以上獲得したら1ケース承認とする。				5		
			【試験】 習熟度試験	3	3	1	0	0	0	0	0	後期配属期間内に行う試験にて65%以上獲得したら1ケース承認とする。				5	
1) 2) 3)		8	【まとめ】 口頭試問	10	10	1	0	0	0	0	後期配属期間内に行う口頭試問を受講したら1ケース承認とする。			5			
リクワイアメント合計				100		23		1		19							

オーバーケース点数 1回につき

形成的評価：

・到達度試験（前期）
・習熟度試験（後期）
上記は、臨床実習の成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねて行う。

その他（補足事項）：

到達度試験（前期）、習熟度試験（後期）、口頭試問、レポート、課題の評価点については以下のとおりとする。課題に関しては、（前期得点＋後期得点）/2にて評価点をつける。
5点…試験の得点率95%～100%、レポート評価A
4点…試験の得点率90%～95%未満、レポート評価B、課題評価A
3点…試験の得点率80%～90%未満、レポート評価C、課題評価B
2点…試験の得点率70%～80%未満、レポート評価D、課題評価C
1点…試験の得点率65%～70%未満、レポート評価E、課題評価D
0点…試験の再試験該当者

リーフレットの評価点については以下のとおりとする。
提出期日内での提出：1点、提出期日越えての提出：0点

オーバーケースの評価点はミニマムと同じとする。加算状況を全体的に評価するが、基本的には最高得点者を10/35点として比例加算を行うこととする。比例加算で生じた小数点以下は切り上げとする。

15. 障害者歯科学（小児歯科学・障害者歯科学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）		
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	習熟度試験	口頭試問
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数			
④⑦	6	【定期診査】 口唇・口腔内の診察	30	5	6	0	0	0	0	自験後、1ケースとして承認する。		
⑤	6	【定期診査】 口腔衛生指導	30	5	6	0	0	0	0	自験後、1ケースとして承認する。		
③	6	【定期診査】 口腔疾患予防処置	6	0	0	3	2	0	0	介助後、1ケースとして承認する。		
①	3	【定期診査】 移乗	6	0	0	3	2	0	0	介助後、1ケースとして承認する。		
①～⑦	4	【講義】 講義（学習時間）	8	4	2	0	0	0	0	前期1ケース、後期1ケースで行い 終了後に承認する。		
①～⑦	4	【課題】 レポート提出（前期・後期）	10	5	2	0	0	0	0	自験終了後、レポート提出により1ケース として承認する。		
①～⑦	4	【試験】 習熟度試験	5	5	1	0	0	0	0	後期実習期間中に実施する。 実施後に1ケースとして承認する。	20	
①～⑦	4	【口頭試問】 口頭試問	5	5	1	0	0	0	0	後期実習期間中に実施する。 実施後に1ケースとして承認する。		15
リクワイアメント合計			100		18		4		0			

形成的評価：

・習熟度試験
・口頭試問
上記は、成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。

その他（補足事項）：

習熟度試験：1問2点 10問出題（満点 20点） 国家試験の過去問題から出題する。
口頭試問：1問3点 5問出題（満点 15点） 実習中に配布するプリントから出題する。

16. 内科学（関連医学分野）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）		
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	レポート	口頭試問
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数			
①⑤	6	【内科的診察】 血圧測定の方法と臨床的意義の説明	10	10	1	0	0	0	0	実習中適宜施行		
②	6	【内科的診察】 聴診のI音、II音の聴診と触診	10	10	1	0	0	0	0	実習中適宜施行		
③	6	【心電図記録および判読】 12誘導心電図の所見	10	10	1	0	0	0	0	実習中適宜施行		
③	6	【心電図記録および判読】 代表的不整脈 (心室細動、心静止、心房細動)	10	10	1	0	0	0	0	実習中適宜施行		
④	6	【採血と検査の意義】 血液検査より貧血と血液疾患の説明ができる。	5	5	1	0	0	0	0	実習中適宜施行		
④	6	【採血と検査の意義】 生化学検査より腎臓疾患、肝臓疾患、 糖尿病、メタリック症候群の説明ができる。	10	10	1	0	0	0	0	実習中適宜施行		
④	6	【採血と検査の意義】 感染症－ウイルス肝炎の診断を対応	5	5	1	0	0	0	0	実習中適宜施行		
①～⑤	4	【口頭試問】 実習事項に関する口答試問	20	20	1	0	0	0	0	口頭試問		15
①～⑤	4	【課題】 実習事項に関するレポート	20	20	1	0	0	0	0	レポート提出	20	
リクワイアメント合計			100		9		0		0			

形成的評価：

- ・レポート
- ・口頭試問

上記は成績に含める試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。

その他（補足事項）：

17. 臨床薬学（薬剤部）

総括評価：

リクワイアメント（全ての修了要件を満たした場合、基礎点65点）										評価点（35点）		
到達目標	DP	実習項目	ミニマム 合計	自験		介助		見学		評価方法	レポート	到達度試験
				点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数	点数	ミニマム ケース数			
1)	①	4	【医薬品の取り扱い】 医薬品に関する基礎知識	5	0	0	0	0	5	1	講義を全て受講し、到達度試験実施により1ケースとして承認とする。	
	②	4	【医薬品の取り扱い】 法的規制のある医薬品	5	0	0	0	0	5	1		
2)	①	4	【医薬品情報】 添付文書	5	0	0	0	0	5	1	講義を全て受講し、到達度試験実施により1ケースとして承認とする。	
	②	4	【医薬品情報】 医薬品情報の入手	5	0	0	0	0	5	1		
	③	4	【医薬品情報】 健康被害救済制度	5	0	0	0	0	5	1		
3)	①	4	【歯科常用医薬品】 歯科領域で使用する薬剤	10	0	0	0	0	10	1	講義を全て受講し、到達度試験実施により1ケースとして承認とする。	
	②	4	【歯科常用医薬品】 高齢者、妊産婦・授乳婦、小児への投与	5	0	0	0	0	5	1		
4)	①	4	【処方箋の書き方】 処方箋の記載事項	5	0	0	0	0	5	1	講義を全て受講し、到達度試験実施により1ケースとして承認とする。	
	②	4	【処方箋の書き方】 処方箋の作成	10	10	1	0	0	0	0	処方せんへの書き方を学び、理解できた場合承認とする。	
	③	4	【処方箋の書き方】 電子カルテでの処方オーダー	10	10	1	0	0	0	0	電子カルテを用いて処方オーダーをする仕組みを理解できた場合承認とする。	
5)	①	3	【チーム医療における薬剤師との関わり】 薬剤師の役割	5	0	0	0	0	5	1	講義を全て受講し、到達度試験実施により1ケースとして承認とする。	
	②	4	【チーム医療における薬剤師との関わり】 歯科用院内製剤	5	0	0	0	0	5	1	講義を全て受け、到達度試験を受験した場合に承認とする。	
6)	①	4	【歯科医師による服薬指導】 歯科専用医薬品	5	0	0	0	0	5	1	講義を全て受講し、到達度試験実施により1ケースとして承認とする。	
	②	4	【歯科医師による服薬指導】 持参薬・お薬手帳の確認	10	10	1	0	0	0	0	服薬指導の実習実施により1ケースとして承認する。	
	③	4	【歯科医師による服薬指導】 処方薬の説明	10	10	1	0	0	0	0		
2) 3)	4	【課題】 レポート									期日までにレポートを提出し、内容精査の上評価点を決定する。	5
1) ~ 6)	4	【試験】 到達度試験									臨床薬学の実習終了時に到達度試験を実施し、評価点を決定する	30
リクワイアメント合計				100		4		0		11		

形成的評価：

* 総括評価を兼ねている場合（上記リクワイアメントに含めているが形成的評価を兼ねているもの）

- ・ レポート
- ・ 到達度試験

上記は、成績に含める課題・試験だが、理解度を確認する機会（形成的評価）を兼ねている。

その他（補足事項）：

* 実習を欠席した場合は、原則、振替とする。振替が不可能な場合は、ライターと相談の上、レポート提出で出席を認める。到達度試験は受けられないため、評価点は与えない。

* レポートの評価については以下の通りとする

- ・ 必要事項や内容が足りないと判断した場合：（-1点）～（-2点）
- ・ 提出期限を過ぎた場合：（-1点）
- ・ 未提出の場合：0点

58期生 臨床実習 実施要領

1. 実習期間

臨床実習Ⅰオリエンテーション…… 3月27日

実習期間…… 3月30日～4月7日（7日間）

臨床実習Ⅱオリエンテーション…… 4月10日

実習期間…… 4月13日～2月25日（148日間）

総実習日数……（155日）

2. 実習科目と担当診療科

- ・実習科目は17科目とする。
- ・担当診療科は別紙の通りとする。（第58期生臨床実習 実習科目・担当分野）

3. 実習形式

1) 実習Ⅰ

- ・摂食嚥下・口腔リハビリテーション学、内科学、臨床薬学を除く14科目で行う。
- ・実習Ⅰは班別ローテート方式とする。
- スケジュールは別紙の通り。（58期生臨床実習Ⅰ日程表による）

2) 実習Ⅱ

- ・17科目で行う。
- ・実習Ⅱは完全配属方式とする。
- 実習の科目、班分け、日程は別紙の通り。（58期生スケジュール一覧表による）
- ※調整中
- ・火曜日は、総合講義Ⅰがある場合は、臨床実習は行わない。
- ・第1土曜日に病院案内実習がある場合は、臨床実習日とする。

4. リクアイアメント

総合歯科学200点、その他の科目を各100点とし、17科目合計1800点とする。

5. 修了要件および評価方法

1) 修了要件

下記の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の要件を満たしていることを臨床実習修了の要件とする。

(1) 全科目のリクアイアメントを100%以上達成していること。

- ・前期リクアイアメント：原則として7月末の時点で全科目合計650点を達成すること。
- ・中期リクアイアメント：原則として12月末の時点で全科目合計1500点を

達成すること。

上記が達成できない場合は夏期、冬期休暇中の補習等を課す場合がある)

- (2) 臨床実習開始日（2026年4月10日）から臨床実習終了日（2027年2月25日）までの臨床実習の全日程において、4/5以上出席していること。
- (3) 臨床実習後臨床能力試験「一斉技能試験」および「臨床実地試験」に合格していること。
- (4) 介護体験実習および地域医療体験実習を修了していること。
- (5) 岩手医科大学附属病院総合安全教育プログラム研修を2回以上受講していること。

2) 評価法

(1) 基礎点

- ① 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)を満たしている場合、基礎点を65点とする。
- ② 修了要件の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)のいずれか一つを満たしていない場合、基礎点を0点とする。

(2) 総合評価点

- ① 各科目において、臨床実習の到達度評価を行い35点満点で評価する。
- ② 17科目の総合評価の点数の平均を臨床実習の総合評価点とする。

(3) 臨床実習の評価点

- ① 基礎点に総合評価点を加えた点数を臨床実習の評価点とする。
- ② 評価点が65点以上を臨床実習修了とする。

第58期生臨床実習 実習科目・担当分野

	科 目	担当分野
1	総合歯科学	
2	予防歯科学	予防歯科学分野
3	歯内治療学	う蝕治療学分野
4	保存修復学	
5	歯周病学	歯周療法学分野
6	有床義歯補綴学	有床義歯・ 口腔リハビリテーション学分野
7	摂食嚥下・ 口腔リハビリテーション学	
8	冠橋義歯補綴学	冠橋義歯・ 口腔インプラント学分野
9	口腔インプラント学	
10	口腔外科学	口腔外科学分野
11	歯科麻酔学	歯科麻酔学分野
12	歯科放射線学	歯科放射線学分野
13	歯科矯正学	歯科矯正学分野
14	小児歯科学	小児歯科学・ 障害者歯科学分野
15	障害者歯科学	
16	内科学	関連医学分野
17	臨床薬学	薬剤部

2026年度 歯学部 看護・介護体験実習 実施要領

実施責任者：石河 太知 教授（分子微生物学分野）

教育成果（アウトカム）

学外連携教育プログラムの一環として実施する看護・介護体験実習の学内・外施設での実習を第1学年において実際に体験することにより全人的医療とその意義を理解できる。また、介護体験実習を第5学年で再体験することにより全人的医療ならびにチーム医療とその意義をより深く理解できる。

実習期間

2026年10月6日（火）～10月16日（金）のうち、医学部、看護学部と連携し

1年生：看護体験4日間・介護体験4日間

5年生：介護体験実習2日間

実習施設

【看護体験】 本学附属病院

【介護体験】 盛岡市近郊の介護保険施設等

※実習先は医学部、看護学部と調整したうえで最終決定する。

実習方法

【看護体験】・1年生を班毎に各病棟に配属し、4日間の実習とする。

【介護体験】・1年生を班毎に各施設に配属し、4日間の実習とする。

・5年生（臨床実習生）を班毎に各施設に配属し、2日間の実習とする。

※一班あたりの人数は、受入側と調整したうえで決定する。

評価方法

<1年生>

【看護体験】・看護部からの評価

【介護体験】・介護施設からの評価

・補填課題による評価

※それぞれの実習取り組み状況及び発表会の内容・態度を上記評価に加味して最終評価とする。

<5年生>

【介護体験】・評価は実習取り組み状況及びレポート等により行う。

・本実習を臨床実習の修了要件の一つとする。

事前ガイダンス

<1年生>

2026年9月4日（金） 14時40分～

2026年9月30日（水）14時40分～（歯科医学概論）

<5年生>

2026年9月29日（火）14時40分～

発表会（1年生のみ）

2026年11月20日（金）10時30分～16時10分

2026年度 第5学年地域医療体験実習 実施要領

実施責任者：浅野 明子 准教授（う蝕治療学分野）

1. 教育成果（アウトカム）

学外連携教育プログラムの一環として実施する第5学年地域医療体験実習を通じて地域における歯科医療の実情を認識できるようになり、その意義についても理解できるようになる。

2. 到達目標

- （1） 歯科医療と地域社会との連携を説明できる。
- （2） 地域社会における歯科医療の多彩な役割を具体的に説明できる。
- （3） 種々の歯科の診療形態とチーム医療について説明できる。

コア・カリキュラム番号 C-7-2、E-6-1、E-6-2

3. 実習概要

- （1） 実習期間 2026年9月1日（火）～11月30日（月）
※上記期間の内1日ないし2日
- （2） 実習施設 岩手県内の国保歯科診療所他 9施設
秋田県内病院 1施設
青森県内病院 1施設

4. 実習にあたっての一般的注意事項

- ・ 実習生としての言葉づかい、態度、服装に注意を払うこと。
- ・ 自己の所在を常に明確にし、遅刻、欠席の際には必ず連絡をとること。
- ・ 実習に際しては、指導者の指示に従うこととし、勝手な行動はとらないこと。
万一、不測の事態等が生じた場合は、直ちに指導者に報告し、指示を仰ぐこと。

5. 評価方法

施設指導者による実習評価及びレポートにより評価し、臨床実習修了要件の一つとする。

6. 事前オリエンテーション

2026年8月24日（月） 16時00分～

2026年度 第5学年高次臨床実習 実施要領

実施責任者：山田 浩之 教授（口腔外科学分野）

第5学年 高次臨床実習は、「学外の施設・機関との連携のもと、地域歯科医療、全人的医療および先進的医療についての理解を深める」ことを目的とする学外連携教育プログラムの一環として実施する。高次臨床実習は、学外の歯科医療機関あるいは他大学における実習を原則とするが、学内での実習も可とする。但し、学内講座・分野での実習も高次臨床実習というプログラムの中で行うものであることから、受講した学生のリクワイアメント等には反映させない。

【教育成果】（アウトカム）

学外の歯科医療機関あるいは他大学における実習を通じて、先進的歯科医療について説明できる。

【実施方法】

1. 対象者

第5学年 臨床実習において、2026年10月末日で1150点以上のリクワイアメントを達成のうえ、出席良好（2026年10月末日で欠席率5%未満）で成績優秀（総合講義Ⅰの前期試験成績が75点以上であること。）かつ高次臨床実習に強い熱意を有する学生で、受入れ機関の承認が得られた学生とする。歯学部臨床実習運営委員会からの推薦者の決定は、口腔医療センター長、歯科医療センター長、総ライター長による面接（2名以上による面接）を経て行う。

資格判定は臨床実習運営委員会からの推薦のもとに教務委員会で行い、教授会の承認を得る。

2. 実習期間

2027年2月から3月までの期間のうちの2週間以内とする。

3. 受入れ機関

高次臨床実習の受入れが承認された学外の歯科医療機関あるいは他大学及び学内講座・分野の2施設以内とする。

4. 実習内容

受入れ機関に一任する。学内で受け入れる場合は、事前に教育プログラムを作成し、それに則り実施する。

5. その他

- ・一機関へ希望者が集中した場合、教務委員会で調整、選抜を行い、教授会の承認を得た後、学生に通知する。
- ・高次臨床実習にともなう準備費、交通費・滞在費等は個人負担とする。
- ・予防接種抗体価検査等の証明が義務付けられている場合は、受入れ機関の指示に従うこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
----------------	----	------	------

総合歯科学

LED光照射器 デミウルトラ		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習において学生外来での自験時にレジンやセメントの重合に使用するため
可撤式歯科用ユニット ユーティリオII	ユーティリオII	2	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験・見学・介助、また相互実習等の実習全般に使用する
歯科用ユニット シグノG20	シグノG20	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験・見学・介助、また相互実習等の実習全般に使用する
オサダエナック	OE-11W	2	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験に使用する
キャビトロンセレクトSPS		3	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験に使用する
ルートZX mini		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験に使用する

予防歯科学

卓上オートクレーブ(簡易カスト附属)	PS220	1	基礎実習・研究用機器	実習機材の滅菌
複写機	MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
超音波スケーラーソルフィZX	Ser. SG707	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
インスツルメント専用オートクレーブ*	DA-5L452280	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
歯科ユニット(スマイリー)	Z-L251LL	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ノートパソコン	LetsnoteB3/ノートCF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	ThinkPadT43P2668-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
歯面清掃器(エアフロー)一式	SI	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
デジタルカメラ一式(F2.8レンズ+フラッシュ+アダプタ)	D5000他	1	臨床実習用機器	口腔内写真撮影実習及び症例収集
LED光重合器ペンキュアー	107-360 Ser. XI0111	1	臨床実習用機器	臨床実習用
一眼レフ・デジタルカメラ・EOS	K-x	1	臨床実習用機器	臨床実習用資料(口腔内写真)撮影用
マイクロモータートルクタイプ	LM-III	1	臨床実習・診療用機器	口腔の外傷予防に関する臨床実習でデモに使用
デジタル一眼レフカメラ 一式	EOS 8000D	1	臨床実習・診療用機器	演習用問題作成、臨床実習用および診療用機器
デスクトップパソコン	Endeavor MR4800E	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成
デスクトップパソコン	Endeavor AT994E	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成
デスクトップパソコン一式	MR4800E	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成
ノートパソコン Dell latitude-9410	NBLA096-401N3	1	視聴覚用・基礎実習用機器	講義資料の作成、学生への講義・プレゼンテーション
バイオ冷凍庫	ALS-657HC	1	研究用・基礎実習・臨床実習用機器	実験、実習試料及び試薬の保存

歯内治療学

リングファーン	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	鋳造修復物作製用
根管長測定機能付根管拡大装置一式	Ser. SE5092	1	臨床実習・診療用機器	歯内療法学の臨床実習及び診療用
生態情報モニター	BX-10ne	1	臨床実習・診療用機器	患者のモニタリング用
無針注射器	シジレット	1	臨床実習・診療用機器	局所麻酔用
インフォームドコンセント用口腔内カメラ	クリスタルカムII	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
ハイパースターオーバルジェットLクリーナー一式	SHB-QJI	1	臨床実習・診療用機器	鋳造修復物作製用

モノクロ複写機	IR2230F	1	視聴覚用機器	講義・実習資料作成用
オートルーパー式	V260509	1	臨床実習・診療用機器	切削用ハンドピースのメンテナンス用
ネスパーキヤスコー式	ヒーター加熱真空加圧鑄造機	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
超音波スケラー（バリオス）	VA560 標準	1	臨床実習・診療用機器	スケーリングに使用
パソコン	2133	1	視聴覚用機器	講義・実習用の資料提示用
歯科用実体顕微鏡	DMS25ZC30	1	臨床実習・診療用機器	学生への症例術野の提示 外科的歯内療法の治療
ノートブックパソコン MacBookPro	MC026J/A	1	視聴覚用機器	講義・実習用のプレゼンテーション
歯面漂白用加熱装置・コスモブルー式	プレミアムホワイト	1	臨床実習用機器	臨床実習に於いて光重合型 充填材の重合に使用
エンドマスター	#1060 ISO-E	1	臨床実習用機器	臨床実習における歯内療法 で使用
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	臨床実習におけるタービン・ エンジンのメンテナンス に使用
スリムプロジェクター	XJS68	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテー ションに使用
ノートパソコン	LL750VGW	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテー ションに使用
デジタルカメラ・オーラショットⅢ	261-003	1	臨床実習用機器	症例の記録に使用
歯科用重合用光照射器ブルーショット		7	臨床実習用機器	光重合型及び光硬化型の材 料を用いた成形修復で使用
ノートパソコン	FMVLM10W2	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 及び実習のデモに使用
カラーレーザープリンター	LBP7200CN	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
スキャナー	GT-X970	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
デスクトップパソコン一式	S713A5B/21W2	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
カラーレーザープリンター一式	LBP7200CN	1	視聴覚用（学部授業他）機 器	講義の資料作成
iPad 一式	128GB	1	視聴覚用機器	講義・実習時の資料提示
トロリー	O7E-01	1	臨床実習用機器	Dream EGG保管台として使用 学生に見易く提示する
クリスタルアイ エコノミーセット	CE100-DC/JP	1	臨床実習用機器	学生外来での側色
咬合器 H20型	602-002	2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
超音波スケラー キャピトロンセレクト トSPS	667-127	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
咬合器 ディナーマークⅡ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
咬合器フェイスボウ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診 断・治療に使用
歯科用ユニット スマイリー 一式	GMP2-MS1211	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
Xスマートプラス		1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
電熱式根管プラグ・ダイヤベン	630-200	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
歯科根管材料電気加熱注入器・ダイヤガ ン	630-100	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療 に使用
ベッドサイドモニタ	DSL-8001R	1	臨床実習用機器	生体モニターの取扱いを体 得（臨床実習）
i p a d A i r W i - F i 32 G B	MD789JA	2	臨床実習用機器	患者への説明、レントゲン 等に使用
歯科用口腔内カメラ・デンタルアイ・S	EJ-CA01NP	1	臨床実習用機器	臨床実習の口腔内撮影時に 使用
歯科用ユニット・スマイリーGP2- MS1211		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習自験用ユニット
オープン保管庫	L5-G210EW4	3	基礎実習・研究用機器	講義実習の資料保存
根管充填システム（ゼネシスフィル ー式）		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技 の説明

デンタポート根管測定モジュール	DD-RCM2	10	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技の説明 見学 自験に使用
オサダエナック10W	OE-10W	4	臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技の説明 見学 自験に使用
高精度根管長測定器 ルートZxmini	201070390	5	基礎実習・研究用機器 臨床実習・診療用機器	歯内療法学基礎実習における治療手技の説明 臨床実習における 見学 自験に使用
ノートパソコン Lavie一式	NEC	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用(学部授業他) 機器	講義 実習の資料提示用
アイスペシャル デジタル口腔撮影装置	C-3	2	臨床実習用機器	臨床実習における症例記録のため
ゼネシスフィルター式		1	臨床実習用機器	臨床実習における垂直加圧 充填法の見学、体得に使用する
ゼネシスパック式		1	臨床実習用機器	臨床実習における垂直加圧 充填法の見学、体得に使用する
一眼レフカメラ EOS kiss X10	EOS KissX10 ブラック	1	臨床実習用機器	臨床実習で患者口腔内を撮影し資料採取するため

保存修復学

リングファース	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
生態情報モニター式	BX-10ne	1	臨床実習・診療用機器	患者のモニタリング用
無針注射器	シシジェット	1	臨床実習・診療用機器	局所麻酔用
インフォームドコンセント用口腔内カメラ	クリスタルカムII	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
ハイラスターオーバールシジェットLクリーナー式	SHB-0JI	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
モノクロ複写機	IR2230F	1	視聴覚用機器	講義・実習資料作成用
オートループ一式	V260509	1	臨床実習・診療用機器	切削用ハンドピースのメンテナンス用
ネオスパーキャスト一式	ヒーター加熱真空加圧鑄造機	1	臨床実習・診療用機器	鑄造修復物作製用
超音波スケーラー (バリオス)	VA560 標準	1	臨床実習・診療用機器	スケーリングに使用
パソコン	2133	1	視聴覚用機器	講義・実習用の資料提示用
歯科用実体顕微鏡	DMS25ZC30	1	臨床実習・診療用機器	学生への症例術野の提示
ノートブックパソコン MacBookPro	MC026J/A	1	視聴覚用機器	講義・実習用のプレゼンテーション
歯面漂白用加熱装置・コスモブルー一式	プレミアムホワイト	1	臨床実習用機器	臨床実習に於いて光重合型 充填材の重合に使用
エンドマスター	#1060 ISO-E	1	臨床実習用機器	臨床実習における歯内療法 で使用
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	臨床実習におけるタービン・ エンジンメンテナンス に使用
スリムプロジェクター	XJS68	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテー ションに使用
デジタルカメラ・オーラショットIII	261-003	1	臨床実習用機器	症例の記録に使用
歯科用重合用光照射器ブルーショット		7	臨床実習用機器	光重合型及び光硬化型の材 料を用いた成形修復で使用
ノートパソコン	FMVLM10W2	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 及び実習のデモに使用
歯面漂白用加熱装置・コスモブルー一式	プレミアムホワイト	1	臨床実習用機器	漂白治療及びその教育
自動精密切断機一式	アイメット1000	1	基礎実習・研究用機器	研究用試料、教育試料作成
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	回転器具整備とその教育
ノートパソコン	VS586PC-AAAA	1	視聴覚用機器	講義のデモ・資料作成
ハードディスクレコーダー	NYXスパー 120GBブラック	1	視聴覚用機器	講義のデモ・資料作成 (ビデオ作成)
デスクトップパソコン一式	PCs5550.jp	1	視聴覚用機器	講義のデモ・資料作成

パソコン	FMV BIBLO NF70Y	1	視聴覚用機器	講義および配布資料作成用
自動精密切断機一式	プレミアムホワイト	1	基礎実習・研究用機器	研究用試料、教育用試料作成
エンドマスター	#1060 ISO-E	1	臨床実習用機器	歯内治療及びその教育
ケア3プラスC1タイプ大学仕様		1	臨床実習用機器	回転器具整備とその教育
ノートパソコン	VS586PC-AAAA	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ、資料作成
ハードディスクレコーダー	NYXスーパー・120GBブラック	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ・資料作成 (ビデオ作成)
デスクトップパソコン一式	PCs5550jp	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ・資料作成
ノートパソコン	FMVP775A	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のデモ・資料作成
生体情報モニター・一式	HBP-2070-NEXT	1	臨床実習用機器	臨床実習時の治療・見学用
双眼ルーペ	EyeMag ⁺ タイプ	1	基礎実習・臨床実習用機器	臨床実習時の治療・見学用
自動注油装置・オートループ	OAL-1	1	臨床実習用機器	臨床実習使用機器のメンテナンス用
歯科用顕微鏡・デンタ300 フロアスタンド式	フロアスタンド式	1	臨床実習用機器	臨床実習時の治療・見学用
デスクトップパソコン	VPCJ136FJW1	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成用
デスクトップパソコン	iMac 27インチ	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成用
ノートパソコン・レッツノートプレミアムエディション	J10 CF-J10DELP	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成用
拡大鏡・マイクロジャスタブルTT LルーペII 2.5倍	Kat00001	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
ロクラクII Limitedスーパー・シルバー	ROKU2-LU-300G-SS	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
双眼ルーペ・フリップアップタイプ		1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
カラープリンター	LP-S7100R	1	視聴覚用機器	授業配布資料作成
汎用歯科用照明器・MiCDルーペライト一式	LL-LED	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
技工用エンジン・アルチメイトXL トルクセット	UMXL	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
光重合レジン照射器	ブルーショット	2	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
超音波洗浄器・エナック10W	超音波洗浄器・エナック10W	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
アルコン型半調節性咬合器・顔弓	マークII・フェイスボウ	3	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
生体情報ライブモニター	OPV-1510	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
加熱根管充填システム・システムBスターターキット	P0034050	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
超音波洗浄器スピードソニック	2510-MT	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
歯科用電動注射器・みずいらずF&FDC-1801カートリッジタイプ	729-756	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
高周波電気メス プログ-F横型	103-250	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
根管長測定器デンタポートモジュールDR-RCM2	107-380	2	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習の指導及び臨床実習の治療・見学用
超音波スケーラー・キャビトンセレクト		1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストラーション
技工用電気レーズ・ラボラトリーレーズ	LL2	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互体験実習
サージテルオクリーレーター	AsianMode	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストラーション
手術用マイクロスコープ アレグラ330 顕微鏡一式	アレグラ330	1	臨床実習用機器	症例提示用
プロジェクター 一式	LV-8225	1	臨床実習用機器	症例プレゼン用
ビデオカメラ	HDR-CX590V	1	臨床実習用機器	症例資料作成
歯科用電動注射器・カートリーエースプロ	729-290	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストラーション

口腔外サククション・フリー亜ムーフオルテS		2	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション
コンダイラー型半調節性咬合器・ハノー咬合器	H20	3	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション
生体モニター架台	KC-012P	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
オートクレーブ滅菌器・プチクレーブ	DA-8	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
ハンドピースメンテナンス装置	107475	1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
超音波スケーラー・キャビトロンセレクト		2	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
歯髄診断器・パルプテスター		1	臨床実習用機器	臨床実習でのデモンストレーション 相互体験実習
iPad 一式	128GB	1	視聴覚用機器	講義・実習時の資料提示
トロリー	OPE-01	1	臨床実習用機器	Dream EGG保管台として使用 学生に見易く提示する
クリスタルアイ エコノミーセット	CE100-DC/JP	1	臨床実習用機器	学生外来での側色
咬合器 H20型	602-002	2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
超音波スケーラー キャビトロンセレクトSPS	667-127	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
咬合器 ディナーマークⅡ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
咬合器フェイスボウ		2	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の診断・治療に使用
歯科用ユニット スマイリー 一式	GMP2-MS1211	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
X スマートプラス		1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
電熱式根管プラグ・ダイアペン	630-200	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
歯科根管材料電気加熱注入器・ダイヤガン	630-100	1	臨床実習用機器	臨床実習の自験患者の治療に使用
ベッドサイドモニタ	DSL-8001R	1	臨床実習用機器	生体モニターの取扱いを体得（臨床実習）
i p a d A i r W i - F i 32 G B	MD789JA	2	臨床実習用機器	患者への説明、レントゲン等に使用
歯科用口腔内カメラ・デンタルアイ・S	EJ-CA01NP	1	臨床実習用機器	臨床実習の口腔内撮影時に使用
歯科用ユニット・スマイリーGP2-MS1211		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習自験用ユニット
オープン保管庫	L5-G210EW4	3	基礎実習・研究用機器	講義実習の資料保存
咬合器（プロターEV07）	EV07	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における、咬合の診査や補綴・修復物作成
フリーアーム、アルテオS（口腔外用サククション）	フリーアーム、アルテオS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習見学、自験時に口腔外で発生する切削片を吸引する。
オサダエナック10W	OE-10W	4	臨床実習・診療用機器	臨床実習における治療手技の説明 見学 自験に使用
ノートパソコン Lavie一式	1Y1708231004NR	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用（学部授業他）機器	講義 実習の資料提示用
アイスペシャル デジタル口腔撮影装置	C-3	2	臨床実習用機器	臨床実習における症例記録のため
レーザープリンター	LBP651C	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用（学部授業他）機器	実習、講義の配布資料作成
一眼レフカメラ EOS kiss X10	EOS KissX10 ブラック	1	臨床実習用機器	臨床実習で患者口腔内を撮影し資料採取するため

歯周病学

コンビュク制御麻酔注射器ワト		1	臨床実習・診療用機器	無痛的麻酔
診療用ユニット一式	SPシェラユニット	1	臨床実習・診療用機器	歯周治療用

液晶プロジェクター	LV-7355	1	視聴覚用機器	症例のプレゼンテーション用
歯科用ユニット(エステオフレックス)	KF-F	1	臨床実習・診療用機器	外来診療に使用する
超音波スケーラー	キャビトロンSPS	2	臨床実習・診療用機器	歯石の除去処置
キセノン式無影灯	XL-1P	1	臨床実習・診療用機器	歯周外科処置時の照明
全自動血圧計	BP-203RVIII C	1	臨床実習・診療用機器	歯周外科における術中管理
生体情報モニタ	OPV-1512	1	臨床実習用機器	高血圧患者の歯周治療時及びオペ時のモニタリング
ミニタワーPC	OptiPlex360カスタマイズ	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	PC-MJ18XC278	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
スキャナー	GT-X970	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
デスクトップパソコン・Inspiron	One19・プレミアムパッケージ	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
ノートパソコン・一式	Inspiron1564	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
ノートパソコン一式	VPCS11AGJ	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
デスクトップパソコン・一式	3.02GHz9400M	1	視聴覚用機器	症例及び講義の編集・プレゼンテーション用
外科録画システム・オペ録		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の録画、学生へのプレゼンテーション用
デジタルハイビジョン液晶モニター一式	アケオス26インチ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の解説用
ノートパソコン・一式	CF-S9LWEJDS	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用
液晶ディスプレイ	S2243W-HXBK	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用 症例提示用
Er・YAGレーザー装置 アーウィンアドベール	MEY-1	1	臨床実習用機器	適応症例への使用と学生教育用
液晶プロジェクター	LV-8320	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生への講義及びケースプレゼンテーション用
ソニックテクノ 歯科用デジタルカメラ	DC17-PRO	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
ノートパソコン	PV83228HNMS	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
サージテルライト Microオデッセイ		1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける術野の説明
ノートパソコン 一式	SVP1121A2J	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示用
マイクロスコープ ブライトビジョン	LED5011	1	臨床実習用機器	臨床実習における手術野の明示
コピー機 imageRUNNER ADVANCE	C5235F	1	基礎実習・研究用機器	講義の配布資料作成
ノートパソコン	CF-LX3HEQBP	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示用
歯科用デジタルカメラ・CanonEOS 70D仕様一式	DC-PRO/GP3	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける患者データ(口腔内写真)取得用
デスクトップパソコンiMac21.5 カスタマイズZOPE一式	ZOPE/MD5642M/A	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける臨床症例データ解析用
歯科用ユニット	G20	1	臨床実習・診療用機器	外来診療に使用
ソニックフレックスLIX	2003L	5	臨床実習・診療用機器	臨床実習における、歯石除去、口腔清掃などに使用 自験・見学に使用
フリーアーム、アルテオS(口腔外用サクシオン)	フリーアーム、アルテオS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習見学、自験に口腔外で発生する切削片を吸引する。
iPad mini Wf-fi256G	MUU32J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	ケースプレゼンテーション用
ノートパソコン	CF-LV8SDKVS	1	視聴覚用機器	講義の資料提示用(プレゼンテーション)
歯科用ユニット	EOM-REGARO-CSS	1	臨床実習用機器	臨床実習(歯周治療)

有床義歯補綴学

レーザープリンター	LP-9400	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料作成用
-----------	---------	---	--------	-----------------

レーザープリンタ	SATERA LBP3800	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
デナーマークII (50台)		1	基礎実習専用機器	補綴学の基礎実習で使用
パソコン	デモンション9150	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
パソコン一式	DellPrecision	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
ノートパソコン	XPSM1210	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
デジタルハイビジョンDVDビデオカメラ	HDC-SX5-S	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
ノートパソコン一式	VGN-AR94US	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習の配布資料 作成用
ノートパソコン Lets note LIGHT	CF-W5MW8AAJR	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
パソコン	Vostro Desktop 400TM	1	視聴覚用機器	講義および実習の配布資料 作成用
実験用ミニふるい振とう機	MVS-1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における咀嚼能率 試験の判定に使用
マイクロモーターパル	103-240	1	基礎実習・研究用機器	基礎実習・臨床実習時のデ モを行う際に使用
定温乾燥機	1-7477-01	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における咀嚼能率 試験の判定に使用
咀嚼嚙下舌圧計測システム		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における嚙下動態 のデモを行う際に使用
パソコン	Vostro Desktop	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテー ションに使用
吸引器	ミニックDC	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における摂食嚙下 リハビリテーションのデモ に使用
センサーインターフェイス	PCD-350B	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における義歯床下 粘膜の動態をモニターし供 覧
フィットレジンインジェクター	1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における義歯製作 のデモに使用
スブラゾンP-MAX	プラス	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における予後管理 のデモに使用
歯科用ユニット	R582812	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における診療全般 のデモに使用
生体情報モニター	OPV-1512	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における患者全身 管理のデモ用
カメラヘッド	OYV-S7H-1N	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	摂食嚙下障害の臨床診査の 説明
デジタルビデオカメラ	TG1	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	実習デモ製作や臨床実習に おける症例提示
パソコン 一式	90NS	1	視聴覚用機器	症例提示
パソコン 一式	VGN-TZ93US(Ultimate)	1	視聴覚用機器	症例提示
ビデオシステムセンター	OTV-S1	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用
インプランターNeo	Neo	1	臨床実習用機器	症例術式の説明
ノートパソコン	Macbook 13インチ アルミニウムZOFU	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
ノートパソコン一式	Macbook 13インチ アルミニウムZOFU	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
デナーマークII 咬合器バック	760206	1	臨床実習用機器	症例術式の説明
HDビデオカメラ	IVIS HF20	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用
HDD (NAS)	TS-X4.0TL/R5	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用試料保存
大容量ハードディスク (RAID対応)	HD-QS4.0TSU2/R5	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用試料保存
i Mac 24インチPC	iMac 24インチ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用製作
パソコンMacBook 2.13GH z Core2Duo/13.3	MC240J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義のプレゼンテーション 用製作
フィットレジンマルチキュア		1	臨床実習用機器	技工操作の術式説明
大判プリンターImagePROGRAF	iPF8100	1	臨床実習用機器	配布資料の作製用

オクルーザ709		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	臨床実習における診査・診断説明
PCカード型高速データ収集システム一式	NR-350	1	臨床実習用機器	講義プレゼンテーション資料収集と保存
パーソナルコンピュータ VAI0	VGN-FW73JGB	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例プレゼンテーション用資料の作製
アルチメイトXT標準セット	UMXL-GT	1	臨床実習用機器	臨床実習の術式説明
HDビデオウォークマン	GV-HD700	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション資料収集と保存
PENTAXファイバースコープビデオシステム一式		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	摂食嚥下障害の臨床診査の説明
パーソナルコンピュータVAIO	VGN-TT93HS	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例プレゼンテーション用資料の作製
CAPT-PLUS・チェアサイド義歯調整用サクションLEDライト付		1	臨床実習用機器	技工操作の説明
デナー・マークⅡ咬合器		3	臨床実習用機器	症例術式の説明
筋電アンプ一式		1	臨床実習用機器	顎機能検査を用いた診査・診断説明
ボルバー	3 5 RV	1	臨床実習用機器	義歯製作のデモに使用
冷蔵庫	R-S31XMV	1	臨床実習用機器	臨床実習使用材料の保管
頭蓋骨模型	P-10-SB. 12	1	臨床実習用機器	義歯製作のデモに使用
デジタルビデオカメラ	HDCTM300	1	臨床実習用機器	臨床実習時のデモに使用
デジタル液晶モニター13V	LC-13SX7A	1	臨床実習用機器	臨床実習での摂食嚥下リハビリテーションのデモに使用
RAIDハードディスク	HD-QS2. 0TSU2/R2	1	臨床実習用機器	資料の保管
HDビデオカメラ	ivis HFR10(RD)	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
デスクトップパソコン一式	FRM90621A	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
液晶ディスプレイ	SX2262WPXBK	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
デナー・マークⅡ	760327	2	臨床実習用機器	臨床実習における補綴治療の際に使用
ノートパソコン	PATX66LRTWH	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	HPE-290jp/CT	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
電子辞書	XD-A5900MED	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
MICDルーペ	レキ ュー-R60	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
ROHS8. 4液晶モニター	CM-840Ⅱ	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
デスクトップパソコン	VPCJ11AFJ	1	基礎実習・研究用機器	講義および実習配布資料の作成
カラーレーザープリンター	SateraLBP7200C	1	基礎実習・研究用機器	授業配布資料の作成
内視鏡用光源装置（ハロゲン光源装置）	LH-150PC	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
アルチメイトXL	UMXL-GT	1	臨床実習用機器	臨床実習での治療の際に使用
デジタルビデオカメラ	ivis HFS21	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
集塵機	CAPT-PULUS	1	臨床実習用機器	臨床実習における技工操作時での使用
アルコン型半調節性咬合器	デ ィナーマークⅡ	5	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
患者説明用模型・ティースモデル	保険・自費対比型	1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
歯科用ユニットGコンパクトi オーバーアームタイプ		1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
拡大鏡・EyeMagPRO	Sタイプ 3. 6×350		臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
筋電アンプ一式	EMG-02100	1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用

デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業および実習配布資料の作成
ノートパソコン	VAIO・typeS・VPCS13AGJ_Pro	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
LEDヘッドライト	H60	1	臨床実習用機器	臨床実習での補綴治療の際に使用
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料作成用
デスクトップパソコン	StudioXPS8100	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料作成用
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
味噌用測色計カラーリーダー	CR-13	2	基礎実習用機器	授業および実習配布資料作成用
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
デナー・マーク II 咬合器		3	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究症例治療用
光照射器 GライトプリマII		1	臨床実習用機器	臨床実習における補綴治療の際に使用
パルプテスター	20T26-40818	1	臨床実習用機器	臨床実習における補綴治療の際に使用
HDビデオウォークマン	GV-HD700	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
プロジェクター	EB-X12	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーションに使用
みきさん2 アルギン酸練和器		1	臨床実習用機器	臨床実習時のアルギン酸印象材の練和に使用
スプラソン P-MAX+		1	臨床実習用機器	臨床実習時の患者メンテナンス等に使用
口腔外バキューム フリーアームアルテオ	S	2	臨床実習用機器	臨床実習時の義歯等の切削片を吸引する。
義歯作成・イボベースシステム一式		1	臨床実習用機器	有床義歯製作及び学生への示説、見学に使用
歯科用ユニット・特別仕様一式	EOM-REGARO-0ss	1	臨床実習・診療用機器	診療参加型臨床実習における患者診察および見学に使用する。
デジタルビデオカメラ Handycam 一式	HDR-CX680	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
フリーアーム、アルテオS (口腔外用サクシオン)	フリーアーム、アルテオS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
キュート カートリッジタイプ	DC2C	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
低温冷凍冷蔵庫	DF25	1	臨床実習機器	臨床研究の説明の為の試料保存

冠橋義歯補綴学

リングファース	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	技工物の作成
歯科診療用ユニット一式	スマイリーノベル21L-231LL	1	臨床実習・診療用機器	補綴診療に使用
ディスプレイ	SDM-M81	1	臨床実習・研究用機器	実習・講義の資料作成用
ナハキサガラフー一式	JM-1000G	1	臨床実習・診療用機器	下顎運動(顎関節症)の観察・評価に使用する
デジタルカメラ一式	CoolPix995	1	臨床実習・診療用機器	外来診療における症例の記録に使用する
ノートパソコン(モニター付)	PCG-FX55V/BP	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
シミュレーションユニット		1	基礎実習および臨床実習用機器	臨床実習・基礎実習におけるシミュレーション実習に使用
支台歯形成技能評価システム		1	基礎実習および臨床実習用機器	支台歯形成の評価用
切削シミュレーション装置	ESC-2	1	基礎実習および臨床実習用機器	支台歯形成のシミュレーション実習に使用
デジタルカメラ一式	Canon EOS KISS Digital	1	臨床実習・診療用機器	症例説明およびプレゼンテーション用
ノートパソコン	VAIOPCG-ZIX/P	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用

歯科用視野拡大装置	EVW200N	2	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ハイパスタースターボジェットLクリーナー一式	SHB-0JI	1	臨床実習・診療用機器	外来診療の技工操作に使用
歯科用ユニット一式	EOM-Σ0S	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ホーレーザ-PRO	200225	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
ノートパソコン	CF-W5KWAXR	1	臨床実習・診療用機器	歯冠色データの解析に使用する
歯科用CAD/CAMシステム	DECSYSCAN	1	臨床実習・診療用機器	外来診療における技工物製作に使用
ハンディマルチス外肋メラー式	CE-N9019099	1	臨床実習・診療用機器	歯冠色構築システムとして使用する
プロターevo7咬合器一式	PROTAR evo 7	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
デジタルカメラ式	D80	1	基礎実習および臨床実習用機器	講義・実習のための資料収集と作成
クリスタルアイエコノミーセット	CE100-PC/JP	1	基礎実習および臨床実習用機器	色彩の歯科に関する講義・実習のための資料収集と作成
ノートパソコン一式	PATX64H2LP	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション
HPワークステーション	RV725AV-AUYS	1	臨床実習用機器	講義・実習の資料ならびに症例のデータベース
携帯型筋電計バイオフィードバック装置	DL-3	1	臨床実習用機器	顎関節症患者の検査データの分析方法の理解のため
クイックビュー卓上タイプ	091-0010	1	臨床実習用機器	症例提示用
ビデオカメラ	HDCTM350	1	臨床実習用機器	臨床実習
ノートPC	PARX2T8KLJ	1	視聴覚用機器	症例プレゼン用
ビデオカメラ	HDR-CX520V	1	臨床実習用機器	支台歯形成中の画像記録
スライドスキャナ・パワースライド		1	視聴覚用機器	スライド整理・症例プレゼン用
アイマブプロ（双眼ルーペ）	Fタイプ	1	臨床実習用機器	臨床実習における術式見学
プロジェクター	NP610J	1	視聴覚用機器	症例プレゼン用
一眼レフカメラ	D700 L24120KIT	1	臨床実習用機器	症例プレゼン用
液晶テレビ（モニター）	32H9000	1	視聴覚用機器	術式等説明用
カラーレーザープリンター IPS10・一式	SPC720	1	基礎実習・研究用機器	資料作成
液晶ディスプレイ	MDT221WTF	1	臨床実習用機器	グループ学習時のプレゼン用
KaVo_CAD/CAMエベレストシステム一式		1	臨床実習用機器	CAD, CAMによるクラウンブリッジ作製法を理解する
バリオス750標準セット	VA750LUX	1	臨床実習用機器	支台歯形成・スケーリングのために使用
電気エンジン・サクセス40	OS-40	2	臨床実習用機器	技工練習
歯科重合用光照射器・ブルーショット	BS-01	1	臨床実習用機器	レジン築造法の習得
歯科用電気回転駆動装置・メルサージュプロセット		1	臨床実習用機器	技工練習
半調節性咬合器	プローチIV	1	基礎実習・研究用機器	咬合器使用法の習得
集塵機	CAPT-PULUS	1	臨床実習用機器	外来での技工物調整用
プロジェクター・長焦点レンズ付	LP-WM5500・LNS-T20	1	視聴覚用機器	症例提示用
口腔撮影用カメラ・Steri-1・一式	GX200	1	臨床実習用機器	臨床実習症例記録用
咬合器・KAVO PROTER EVO5 一式	EVO5	1	臨床実習用機器	臨床実習時の補綴装置作成のため
咬合器・KAVO PROTER EVO7	EVO7	1	臨床実習用機器	臨床実習時の補綴装置作成のため
歯科用拡大鏡・サージテル・スルーザレンズ・ルーペ一式	EVXiM250NオーグリHJブラック	1	臨床実習用機器	

ノートパソコン・VE680AV	4520S/CT	1	基礎実習・臨床実習用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ノートパソコン	VPCYA19FJB	2	基礎実習・臨床実習用機器	実習（講義）の資料作成
ノートパソコン	PCLS550CSW	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習（講義）の資料作成
ジルコニア焼結用ファーネス一式（KavoEverestTherm）	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム（実習用）製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
iPad・一式	64GB Wifi	1	視聴覚用機器	実習（講義）資料作成用
サージタル・スルーザレンズ・ルーペ	EVCiM300NオーケリHJブラック	1	基礎実習・臨床実習用機器	
サージタルライトシステムコンパクトLEDライト	オクセイライト	1	基礎実習・臨床実習用機器	
BSAソラリスミニ		1	基礎実習・臨床実習用機器	
デスクトップパソコン・FMVXDBTH2Z ESPRIMO	D581/CX	1	基礎実習用機器 視聴覚用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
歯科用拡大鏡・サージタルルーペ・オーケリレーザー	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	
デスクトップパソコン・MateJ・一式	PC-MJ31LLZTJESC	1	基礎実習用機器	実習（講義）用資料作成
ノートパソコン	PT45159DBFB(SSS)		視聴覚用機器	実習（講義）用資料作成
A3カラーレーザー複合機・一式	C810DNT	1	基礎実習・臨床実習用機器	授業配布資料作成
歯科用デジタルカメラ 一式	DCN11-LV/GP2	2	基礎実習・臨床実習用機器	実習（講義）用資料作成
カラーレーザー複合機	C810DNT	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
ノートパソコン	13インチカスタマイズ	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
ノートパソコン	PC-VJ25MLNLTLC	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
MiCDルーペ TTLタイプ	SL-S-R	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習資料作成用
サージタルライトシステムMicroオデッセイLEDライト		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
サージタルルーペレーザーフレーム	EVK550	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
サージタルルーペオーケリレーザー	EVK650	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
サージタルライトシステムMicroオデッセイ		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習指導用
ノートパソコン LaVieZ	PC-LZ550MSS	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義資料提示用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE-I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
内視鏡用CCDカメラ	PSV-4000	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	嚥下に関わる機器、内視鏡検査の説明用
オサダサクセス40	OS-40	1	臨床実習用機器	臨床実習に於いてレジン等の切削を行うため
ハンディーラボII	168-1070	6	臨床実習用機器	臨床実習に於いて補綴装置の切削に使用
ARCTICAオートスキャン / アルクスディグマ2 一式		1	臨床実習用機器	顎運動の解析、学生への示説に使用
デジタル一眼レフカメラ 一式	EOS 80D	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
デンタポートOTR 根管拡大キット	DP-ZX	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
プロターEV07一式（咬合器）	EV07	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
3Shape TRIOS 3 Color Pod		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。

口腔インプラント学

歯科用ユニット	Plus-0SLS	1	臨床実習・診療用機器	インプラント補綴治療用
無影灯	34Cam	1	臨床実習・診療用機器	インプラント埋入手術時の照明
全自動血圧計	DS-7100	1	臨床実習・診療用機器	インプラント埋入手術時の全身管理

シャーカステン	AICH-D32	1	臨床実習・診療用機器	初診時説明用、またインプラント埋入手術時のCT説明用
OPELASER	LA12	1	臨床実習・診療用機器	インプラント埋入手術後の創傷治癒促進、また二次手術時の切開
処置無影灯スカイルックスブラネット	34CAM 4灯式	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける手術デモンストラーション及び見学用
ノートパソコン	Pavilion dv7	1	臨床実習・診療用機器	症例のデータ管理及びプレゼンテーション用
ビデオレコーダー (ブルーレイ)	DMR-BW770	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける手術見学用
咬合器・PROTARシステム一式	EVO7	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時のデモンストラーション用
一眼レフカメラ・EOS	KissX4Body	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時のデモンストラーション用
歯科用ユニット・レフィアーノ		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX4	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
3Dデジタルスキャナー・3M Lava COS	68901INS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
歯科用ユニット・EOM-REGAROCs		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時の説明用
手術用顕微鏡・デンタ300フロアスタンド式		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける術野説明用
歯科用ユニット トリートメントセンター	C8+	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於けるインプラント手術見学時に使用
半調節性咬合器プロターEV07・一式		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習での模型診査に使用
インプラント埋入ナビゲーションシステム Navident		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習インプラントの埋入実習のため
細菌カウンタ	DU-AA01NP-H	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
TRIOS用 ノートパソコン 一式	CDM10222	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
ノートパソコン Macbook Pro 一式	Apple	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
タブレットパソコン iPad Air2Wi-Fi 128GB 一式	MGTY2J/A	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
3Dデジタルモデリングシステム Geomagic FreeForm Touch	データ.デザイン	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
ノートパソコン Lavie Hybrid ZERO 一式	P C-H Z 750GAS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
細菌カウンタ	DU-AA01NP-H	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
TRIOS用 ノートパソコン 一式	CDM10222	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習の診療見学・実施の際に用いる。
LEDライト ファイヤーフライー式		1	臨床実習・診療用機器	インプラント補綴見学時に使用
歯科用ユニット エステチカ	E80T Vision	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用
マイクロエッチャー2ブローキット		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に使用

摂食嚥下・口腔リハビリテーション学

舌圧測定器	TPM-1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における測定の練習用
タブレットパソコン iPadPro Wi-Fi 64GB 一式	MTXP2J/A	1	視聴覚用機器	症例提示用
ノートパソコンVAIO SX12	VJS1211/S1211	1	視聴覚用機器	臨床実習における配布資料等の作成用
ポータブル歯科用X線装置 ポートエックスⅢ	PORT-XIII	1	臨床実習・診療用機器	訪問診療実習に使用
訪問診療用ポータブルユニット ポータキューブ+SV一式	HLU-P	1	臨床実習・診療用機器	訪問診療実習に使用
ビジネスプロジェクター一式	EB-W06	1	臨床実習用機器	臨床実習における講義用画像提示用
JMS舌圧測定器	TPM-02	1	臨床実習用機器	臨床実習における検査方法習得のため
バイタルスティムプラス 一式	Mar-23	1	臨床実習用機器	臨床実習における訓練方法習得のため

口腔外科学

液晶プロジェクター	LV-7355J	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
DVDビデオカメラ	DZ-MV380	1	視聴覚用機器	症例撮影用
プレゼンテーションスタンド	RE-450X	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	V7280.jp/CT	1	視聴覚用機器	講義資料の提示用
デジタル一眼レフカメラ	D40X	1	視聴覚用機器	症例写真撮影用
パソコン	CF-W7DJAJS	1	視聴覚用機器	講義資料の提示用
パソコン Mac mini 一式	MC238J/A	1	視聴覚用機器	実習の資料提示用
ノートパソコン	CF-S9KYFEDR	1	視聴覚用機器	実習の資料提示用
カラー複合機 ADVANCE 一式	C5045F	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料作成
パワープロジェクター	LV-7385	1	視聴覚用機器	実習・講義の資料作成
歯科用ユニット・シグノタイプ	G40	1	臨床実習用機器	臨床実習における治療
ノートパソコン一式	I Book 466/12	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
パソコン一式	PowerMac G4/867DVDR	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
デジタルカメラ	EOS D-30	1	視聴覚用機器	症例データベース作成
ノートパソコン一式	PowerBookG4	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
シャカステン一式	MS-J3	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
内視鏡用記録装置一式	DCR-PC300K	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
ノートパソコン一式	iBOOKG4/COMBO	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
内視鏡手術器械用DVDレコーダー	PRV-R55	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
咬合診断装置	Ser. 435362	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
歯科用吸引装置	フリーームフォルテS単体移動型	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
レントゲンサクションユニット	LSU4000 78001005	2	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
高周波ラジオ波メス	デントサージ IEC	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
パソコン	MacminiM9686J/B	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
歯科用ユニット(エクシード)	II型オーパ-アーム	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
技工用マイクロモーター搭載集塵機	Ser. 9797	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
歯科用ユニット一式	シグノレファートスタンダードステップタイプ	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
咬合診断装置	Ser. 435362	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科診療時(咬合診断)に使用
歯科用ボ-タブル診療ユニット	ボ-タア-21タイプM	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
パソコン一式	ApplePowermacG5一式	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
耳鼻咽喉ファイバースコープ 一式	FNL-10RBS	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
インバーター式シャカステンNE080	409-030-07	1	臨床実習・診療用機器	症例の提示用
パソコン	Imac2GHz IntelCore 2 Duo/17	1	視聴覚用機器	症例の提示用・症例データベース作成
T P S 電動マイクロドリルシステム一式	T P S 基本セット	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時(手術)に使用
2チャンネル低周波治療器	E S - 420	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
内視鏡CCDカメラ装置一式	P S V - 4000	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用

クアトロケアー	2104A	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
マイクロプレートリーダー	680XR	1	臨床実習・診療用機器	口腔外科の診療時に使用
オーラルショットII	261-002	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義・実習のための病態像撮影・保存用
ホギールーペ	1	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における術野の説明用
プチクレープ	DA-5	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における器具滅菌消毒の説明
パソコン	MB403J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義のプレゼン用
パソコン 一式	dx7400SF/CT	2	視聴覚用機器	パソコン 一式
Canon モノクロ複合機 Satera ペディスタルType B 1段カセットユニット	Stera MF7330	1	臨床実習用機器	臨床実習、患者データ資料作成用
パソコン 一式	MacBook Z0FV1J/A	1	視聴覚用機器	講義のデモ及び研究データ解析用 講義・実習の資料提示用
双眼ルーペ・専用LED BLIセット 一式	BLS-3 スポットフレーム	1	臨床実習用機器	臨床実習（口腔外科手術）用
マイオモニターJ5	615-104ser662483	1	臨床実習用機器	臨床実習用（顎関節症患者）
ナーステーブル	1500H	1	臨床実習用機器	口頭試問実施用
光ファイバー照明装置（高輝度ハロゲンランプ）	PICL-500V KN3320295	1	臨床実習用機器	臨床実習（口腔外科手術）用
電子辞書	SR-A10001M	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用
パソコン Mac mini 一式	MC238J/A	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
ノートパソコン	MC207J/A	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
デスクトップパソコンMacMini	MC238J/A2.26GHz	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
ノートブックパソコン・MacBookPro	カスタマイズ Z0J5	1	視聴覚用機器	講義の資料作成用及び資料提示用
医学系電子辞書	SR-A10002	1	臨床実習用機器	講義の資料作成用
レーザービームプリンタ	Satera LBP9500C	1	臨床実習用機器	講義配布資料作成用
清拭車	B-15NS05240	1	臨床実習用機器	臨床実習指導用
生体情報モニター	DS-7110	1	臨床実習用機器	臨床実習指導用
歯科用ユニット・シグノタイプ	G40	1	臨床実習用機器	臨床実習指導用
デスクトップパソコン・一式	S5750jp/CT	1	臨床実習用機器	臨床実習時の資料（症例写真等）の提示用
LEDヘッドライト・バッテリーバック充電用アダプター付		1	臨床実習用機器	臨床実習時の症例提示用
LEDヘッドライト		1	視聴覚用機器	臨床実習時の症例提示用
カラー複合機・DocuCentre IV	C3370P	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコン・MacBook Air 一式	11インチ MC505J/A	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
シャーカステン・ユニット取付型		3	臨床実習用機器	臨床実習時の患者資料提示用
ノートブックパソコン・MacBookAir・一式	CTO Education Z0JK	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
ノートパソコン・VAIO	VPCS149FJ/B	1	基礎実習用機器	講義資料作成・提示用
顕微鏡用デジタルカメラ・パソコン 一式	DS-Fi1-U3	1	臨床実習用機器	臨床実習症例資料提示用
電気味覚計	TR-06	1	臨床実習用機器	臨床実習症例資料提示用
デスクトップパソコン・MacPro	2.4GHz 8Core Xeon Z0LG	1	基礎実習用機器	実習・講義資料作成用
頭蓋・神経表示モデル	W19018	1	臨床実習用機器	臨床実習用資料
液晶テレビ	LC52Z5	1	臨床実習用機器	臨床実習用資料提示用

頭蓋・神経表示モデル	W19018	1	臨床実習用機器	臨床実習での解剖の説明
中軽量棚	6H64LTZ269	1	臨床実習用機器	臨床実習における手術見学の際に使用する。
歯科用ユニット シグノG40	シグノG40	1	臨床実習用機器	臨床実習時の診療
i Pad Wi-Fi 32G一式	MD514JA	5	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用
i Pad Wi-Fi 64G一式	MD515JA	5	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用
オーラルショットV	261-005	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用
歯科用ユニット一式 大学型特別仕様	EOM-REGALO	1	臨床実習用機器	
EOM-REGALO		1	臨床実習用機器	
デジタルカメラ	D5300	1	臨床実習用機器	
プレゼンテーションマウス	ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
メディカルビデオレコーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術式の供覧
デスクトップパソコン・27インチ iMac Retina 5Kディスプレイ一式	ZOSC Academic	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン 一式	PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
ノートパソコン	CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
CEチェア RXタイプ	CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
Macmini CoreI5	MGEQ2JA (SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
一眼レフカメラ	EOS80D (SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
窓用エアコン	CWA1816	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ポータブル内視鏡システム	11101CMM	1	臨床実習・診療用機器	咽頭部の膨張の評価
炭酸ガスレーザー	GL-III Fine	1	臨床実習・診療用機器	口腔粘膜疾患の治療
歯科用ユニット	G20	1	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
ガリレオアンルーペ、メデビューフレームセット	G-2542, KMV-F-S	1	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
ワイナー I-7.4 LEDライトセット	キーラー、アンド、ワイナー	1	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
マイオモニター	J5	2	臨床実習・診療用機器	患者の治療（臨床実習）
液晶テレビ一式	65HL210X、CR-PL51	1	視聴覚用機器	症例供覧のため
デスクトップパソコン	595-p0105.jp	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の資料提示用
デスクトップパソコン	24-xa0174.jp	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の資料提示用

歯科矯正学

デスクトップパソコン一式	PCV-RX72K	3	臨床実習・診療用機器	患者の症例分析用
ノート型パソコン一式	PC-VY21GWZ75	1	臨床実習・診療用機器	患者の症例分析用
矯正用電子カルテ	ディープラスICDR	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習・診療用機器
A4スキャナー一式	ES-2200	1	臨床実習・診療用機器	患者の症例分析用および資料の取り込み用
ノート型パソコン一式	PowerBook G4/500	1	臨床実習・診療用機器	患者の症例プレゼンテーション用
デジタルカメラ一式	FinePix S2PRO他	1	臨床実習・診療用機器	患者の写真撮影用
患者説明用スライドコンバーター一式	TRS-35XG	1	臨床実習・診療用機器	患者の病態写真の説明用
レーザープリンター	LBP-1910	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成

咬合器(オソナティックオクルーサーリレーター)	SAM2C用・300002C	1	臨床実習・診療用機器	外科的矯正治療の診断用
レーザープリンター	LBP-1820	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
ノートパソコン	PCG-FR55E/B	2	視聴覚用機器	講義・実習の資料提示用
歯科用診療用ユニット	スペースラインスピリットⅢ	1	臨床実習・診療用機器	外来での患者実習時に使用する
臨床画像ファイリングシステム一式	DS2003ServerDental他	1	臨床実習・診療用機器	臨床で得た画像をファイリングし、臨床実習・講義・研究用に加工する
ノートパソコン一式	iBook M9848J/A	1	臨床実習・診療用機器	診療における画像データの処理およびプレゼンテーション用
プロジェクター	VPL-CX21	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における症例提示ほか
グライアント用ノートパソコン一式	MA254J/A	2	臨床実習・診療用機器	臨床で得た画像をファイリングし、臨床実習・講義・研究用に加工する
デジタルカメラ	D80B	1	臨床実習・診療用機器	患者の写真撮影用
パソコン一式	VGC-RM51PL9	2	基礎実習・研究用機器 視聴覚用機器	講義・実習の資料作成用
ノートパソコン一式	CF-W5AWDBJR	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料提示用
レーザープリンター	LBP5300	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の配布資料作成用
パソコン一式	MA970J/A	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成用
ノートパソコン	PC-VY21GWZ75	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における症例分析実習用
矯正歯科用電子カルテD+	ディープラスICDR	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における症例分析実習
パソコン一式	FMV-FB70T	1	基礎実習・研究用機器	演習および試験問題の作成
ダミーヘッド装着用口腔模型	D50FE-EP. A. 7	3	臨床実習用機器	臨床実習におけるマルチブラケット装着実習
ノートパソコン	PST422 FCWZR1U/M	3	臨床実習用機器	臨床実習における症例分析実習
歯科用重合用光照射器	ブルーショット	2	臨床実習用機器	臨床実習におけるボンディング実習
デスクトップパソコン・iMac	MC413J/A	2	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
レーザープリンター	LBP8620	1	基礎実習・研究用機器	実習、授業の配布資料作成
レーザープリンター	LBP5910F	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
歯科用重合用光照射器・ブルーショット		2	臨床実習用機器	臨床実習におけるボンディング実習
デスクトップパソコン・一式	VPCL138FJ/S	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料作成
カラーレーザープリンター	LBP5400	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料印刷
ノートパソコン・一式	CF-J10EWHDS	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示
歯科重合用光照射器 ブルーショット		4	臨床実習用機器	臨床実習における重合手技と使用法習得のため
歯科用ユニット スペースライン スピリットV		1	臨床実習用機器	
レーザープリンター・一式	LBP9950CI	1	基礎実習・研究用機器	講義プリント
i Pad Air2 16GB	MGLW2JA	1	臨床実習・診療用機器	電子カルテのX-P閲覧
i Pad Air2 16GB	MHOW2JA	1	臨床実習・診療用機器	電子カルテのX-P閲覧
i Pad Air2 16GB	MGLI2JA	1	臨床実習・診療用機器	電子カルテのX-P閲覧
ノートパソコン	PT75VGP-BJA	3	臨床実習・診療用機器	症例検討会
舌圧測定器	TPM-01	1	臨床実習・診療用機器	患者機能検査
A3プリンター	PIXUSPR100S	1	基礎実習・研究用機器	講義プリント

ノートパソコン	PCNS850FAB	1	基礎実習・研究用機器	講義
ノートパソコン MacBook Air	MQD32J/A	1	臨床実習用機器 視聴覚用機器	矯正装置の説明・示説
Dolphin Imaging / Aquarium		1	臨床実習・診療用機器	症例分析、治療シミュレーション用
デスクトップパソコン	RS7J-D180/T3	1	臨床実習用機器	セファロデータ分析用
音響鼻腔測定器・鼻腔通気度計セット	A1 EXECUTIVE 他	1	臨床実習用機器	臨床実習時患者の検査に使用

小児歯科学

NIKON COOLSCAN IV EDスキャナー一式	LS-40ED	1	視聴覚用機器	臨床症例写真の取り込み
リングファース	TMF-500	1	臨床実習・診療用機器	鋳造時の加熱
デジタルビデオカメラ一式	DCR TRYV30	1	視聴覚用機器	臨床症例を撮影し、基礎実習のデモ用、講義資料用に使用
歯科診療用ユニット一式	スマイリ-NR231LL	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
スキャナー	ES-2200	1	視聴覚用機器	症例、図表の取り込み
ノートパソコン	PC-MTI-H3	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	FMV-DESKPOWER M8	1	視聴覚用機器	資料分析用、講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	MatePC-MY30YGZEG	1	視聴覚用機器	資料分析用、講義・実習のプレゼンテーション用
エレクトロサージェリー	G750200	1	臨床実習・診療用機器	外来診療時に使用する
オートループ一式	V260513	1	臨床実習・診療用機器	インスツルメントのメンテナンス
E d uClick50エディター用一式	4-807-3002	2	視聴覚用機器	双方向授業で使用
アイスペシャル	C-1	1	視聴覚用機器	
パソコン	CF-W7DWJNUR	1	視聴覚用機器	講義・実習での症例のプレゼンテーション用
プロジェクター	EMP1715	1	視聴覚用機器	講義・実習での症例のプレゼンテーション用
パソコン	MY-28A/A-5	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
パソコン	MY-31A/E-5	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
パソコン	MX2832SDXP	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
デジタル一眼レフカメラ	D60	1	視聴覚用機器	講義用臨床写真撮影
インクジェットプリンタ	PIXUS Pro9500	1	視聴覚用機器	講義用資料作成
ドクターチェア11型	DS-11	4	臨床実習用機器	
ノートパソコンV A I O	VPCX11ALJ	1	視聴覚用機器	講義デモ、研究データ解析
ビデオカメラ一式	HDRCX370VT	1	視聴覚用機器	症例プレゼン用
ドクターチェア・DS-11	I605932	1	臨床実習用機器	
電動麻酔器・アネジエクト ホワイト	513-600 Ser.10710303	1	臨床実習用機器	
電動麻酔器・アネジエクト ブルー	513-603 Ser.10210024	1	臨床実習用機器	
電動麻酔器・アネジエクト ピンク	513-604 Ser.10810412	1	臨床実習用機器	
口腔内撮影用デジタルカメラ・一式	EOS5DMark II	1	臨床実習用機器	
歯科用根管測定器 ルートZX	107-390	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける根管長測定用
歯科重合用照射器 ペンキュア2000	VL-10	3	臨床実習用機器	臨床実習に於けるレジン重合用
デジタルカメラ EOS 一式	5D MARKIII EF24-105LIS	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける口腔内写真撮影用

レストレイナー SR-7	特別仕様	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける不協力小児の歯科治療用
コードレスハンドピース メルサージュプロセット	1/4減速スクリュー	2	臨床実習用機器	臨床実習に於ける小児患者の歯面清掃
デスクトップパソコン・Mate J	MJ35M/E-J	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
ノートパソコン・レッツノート	CFSX3VEYWR	1	視聴覚用機器	講義資料作成およびプレゼン用
シリンジポンプ	TE-371	1	臨床実習・診療用機器	外来に実際に施行しているところを見学させたり介助させたりして機器の使用法、有用性を体得させる。
内視鏡用光源装置	TO-237LED	1	臨床実習・診療用機器	外来に実際に施行しているところを見学させたり介助させたりして機器の使用法、有用性を体得させる。
ソルフィーFボトルライト付	201070905	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における自験・見学・介助に使用する
鼻腔抵抗計測装置ライノグラフ	RG-301	1	臨床実習用機器	検査用機械

歯科放射線学

デジタルビデオカメラ	DCR-TRV30	1	視聴覚用機器	実際のX線撮影、CT、MRI撮影の様子を提示
ノートパソコン	iBook M7692J/A	1	視聴覚用機器	講義のプレゼンテーション用
ネットワークプリンター	DocuCentre230型	1	視聴覚用機器	授業の配布資料作成
デジタルレントゲン	GX-60NM II	4	臨床実習・診療用機器	X線撮影実習
パソコン一式	Endeavor	4	基礎実習・研究用機器	読影実習
モニター	RadiForce	4	基礎実習・研究用機器	読影実習
プリンター	PX-6000	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
パソコン一式	PowerMac G5	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
ポータブル超音波診断装置用リアプロローフ一式	10Lb-RS	1	臨床実習・診療用機器	画像診断
超音波診断装置一式	LOGIQBook	2	臨床実習・診療用機器	画像診断
液晶ディスプレイ	FlexScanS2100	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
X線撮影装置	KX0-32S	1	臨床実習・診療用機器	X線撮影実習に使用
デスクトップパソコン	200ST	1	視聴覚用機器	講義資料作成
歯科用コンビームCT装置一式	3D Accuitomo	1	臨床実習・診療用機器	画像診断
パソコン	1525	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義資料作成およびプレゼン用
パソコン	MB325J/A	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	講義資料作成用
前方投影型プロジェクタースクリーン40型	J BMA # 0 4 0 S	1	視聴覚用機器	臨床実習における画像のプレゼンテーション用
ハードディスク	RHDUXE2.0	1	臨床実習用機器	臨床実習用画像データの保存
ノートブックパソコン MacBook Pro	MB985J/A	1	視聴覚用機器	症例提示用
ノートパソコンMacBook	2.26GHzCore2Dup	1	基礎実習・研究用機器	講義のデモ及び研究データ解析
外付型ハードディスク	RHD4-UXE2.0	1	臨床実習用機器	症例提示用
フルカラーデジタル複合機	DocuCentre IVC2270PFS	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成
ノートパソコン一式・MacBook Air 11インチ	MacBook Air 11インチ	1	基礎実習・研究用機器	講義の資料提示用
635型GSベッド	TB-635	1	臨床実習用機器	臨床実習における超音波検査見学用
コンビームCT用サーバーシステム・一式	KAVO OP 3DDental	1	臨床実習用機器	臨床実習時の読影実習に使用
歯科用X線撮影装置 ペラビューエポックス	CR A-5	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	パノラマX線撮影

放射線情報システム 端末	PSP、ZIO station	1	臨床実習用機器	臨床実習時の画像閲覧用
CBCT画像サーバーPC	DELLDELL, OnDemand 3 DDental	1	基礎実習・研究用機器	実習の資料提示用
デジタルカメラ	D3300 18-55VR II	1	基礎実習・研究用機器	実習の資料提示用
A4ドキュメントスキャナ	CANON	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
デジタル口内法撮影システム	arcana mira	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における撮影練習
複合機 ApeosPort	C3570 (Model-PFS)	1	視聴覚用機器・臨床実習用機器	授業, 実習の配布資料作成

歯科麻酔学

Ciscoルーター一式	CISCO1605-R	1	視聴覚用機器	実習および講義の資料作成
パルス計測器付経皮血中ガス分圧モニター一式	9900MK-II 本体	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
生体現象用BNCコネクタ中継ボックス	11	1	臨床実習・診療用機器	モニター管理の提示
呼吸管理モニター	12	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
液晶プロジェクター	TH-LC80	1	視聴覚用機器	症例の提示用
パソコン	iMac1, 25GSD17FPT	1	視聴覚用機器	症例プレゼンテーション用
ベッドサイドモニターLifeScope	BSM-9510	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
A-Vインパルスシステム	AV6000	1	臨床実習・診療用機器	麻酔時のモニター管理用
喉頭ファイバースコープ一式	FI-9RBS他	1	臨床実習・診療用機器	気管の解剖及び挿管法
EMG麻酔ガスユニット一式	M1013A	1	臨床実習・診療用機器	患者の麻酔
ノートパソコン	CF-W5MWAJR	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
生体情報モニター一式	MP-50	1	臨床実習・診療用機器	術中時のモニター管理用
生体情報モニター一式	D S -7640	1	臨床実習・診療用機器	周術期におけるモニター管理用
パソコン	FMVXA50D	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料提示用
シリンジポンプ	TE-371	2	臨床実習・診療用機器	外来および病室にて鎮静全身麻酔を見学させ機器の有用性、使用法を体得させる。
パソコン 一式	MINI9	1	視聴覚用機器	講義・実習用資料の提示
パソコン 一式	EeePCS101	1	視聴覚用機器	講義・実習用資料の提示
一眼レフ交換レンズ IS-USM	EF-70-300F4-5.6	1	視聴覚用機器	症例撮影、提示用
AEDトレーナー 2	94005005	2	臨床実習用機器	蘇生実習時に使用
デジタルカメラEOS	KissX	1	視聴覚用機器	症例撮影、提示用
パソコン・OptiPlexモニターなしパッケージ一式	OptiPlex960	1	基礎実習・研究用 臨床実習用機器	資料作成
ノートパソコン・VAIO	XVPCX-11AVJ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義配布資料の作成
ノートパソコン・VAIO・Wシリーズ	261-003	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示用 研究データ解析用
口腔内撮影用デジタルカメラ・オーラルショット	261-003	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の記録 講義用症例収集のため
レサシベビースキルガイドモデル	14001105	3	基礎実習機器 臨床実習用機器	救急蘇生法実習
チョーキングチャーリー	102-00001	1	基礎実習機器 臨床実習用機器	救急蘇生法実習
レサシジュニアスキルガイドモデル	18001105	2	基礎実習機器 臨床実習用機器	救急蘇生法実習
デスクトップパソコン (モニター無モデル)	Vostro430モニター	2	基礎実習・研究用 臨床実習用機器	資料作成
ノートパソコン・高速ブルーレイパッケージ	Studio15	1	臨床実習用機器	講義資料作成

ファミリーコピア	DPC990	1	臨床実習用機器	臨床実習資料作成
ノートパソコン dynabook	TX/77MBL	1	臨床実習用機器	資料作成、症例整理・分析
ノートパソコン	VPCP11ALJ	1	視聴覚用機器	講義資料提示
PMTC用コードレスハンドピース	メルサージュ [®] P1/4減速タッチタイプ [®]	2	臨床実習用機器	外来での歯科治療及び実習
iPad 一式 (オフィスソフトインストール他)	with WiFi 16G	1	臨床実習用機器	症例提示・説明用
デスクトップPC一式 (27インチLEDディスプレイ)	MacPro	1	視聴覚用機器	講義資料作成
ノートパソコン	PC-LL750CS6W	1	臨床実習用機器	講義資料作成 研究資料収集・分析・作製
マルチ電気治療器	インテクトアド [®] ハンズコンボ 2762ccイオン導入仕様	1	臨床実習用機器	ペインクリニック治療及び実習
カラー複合機・一式	imagio MPC3301	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義資料作成用
ノートパソコンL e t s note B10	CF-B10 CWHDR	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
ノートパソコン・MacBookAir		1	基礎実習・臨床実習用機器	実習・講義プレゼンテーション用
携帯型喉頭ファイバースコープ・一式	LF-TP	1	臨床実習用機器	臨床実習における気管挿管の説明・練習用
デスクトップパソコン	MD007J/A	1	臨床実習用機器	臨床実習の症例提示用
ノートパソコン	LB-D711B	1	臨床実習用機器	実習資料作成およびプレゼンテーション用
心電計 Cardiofaxm	ECG-1350	1	臨床実習用機器	臨床実習時の相互実習および患者実習用
ノートパソコン MacBook Pro	ZON4 Education	1	臨床実習用機器	実習資料作成およびプレゼンテーション用
デスクトップパソコン	MD007J/A	1	視聴覚用機器	講義・実習用資料作成用
心電計 Cardiofaxm	ECG-1350	1	臨床実習用機器	臨床実習でのECG記録法の修得
iPad Air	Wi-Fi 16GB	1	臨床実習用機器	臨床実習に於ける病棟での電子カルテ接続用
デジタルカメラ一式	OM-D E-M10	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例提示資料の作成
薬用保冷庫	MPR-414FR-PJ	1	臨床実習用機器	相互実習用の薬品保管
ノートパソコン・MacBook Air 11インチ		1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション
歯科用ユニット スマイリー 一式	GMP2-MS1211	1	臨床実習用機器	全身管理、精神鎮静法の実習
SimPad 患者用モニター 一式	200-09205	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	全身管理、全身麻酔の実習
全身麻酔装置Fabius Plus一式		1	臨床実習・診療用機器	外来で実際に施行しているところを見学させ、機器の有用性や実際の使用法を体得させる。
ノートパソコン・MacBookAir	13インチZORJ Academic	1	基礎実習・研究用機器	授業の資料提示用
デスクトップ型パソコン	XPS89000	1	基礎実習・研究用機器	授業の資料作成及び研究データ解析用
冷蔵庫	SJS17B	1	基礎実習・研究用機器	実験、実習試料及び試薬の保存
LED喉頭鏡	136-054-71	1	臨床実習・診療用機器	全身麻酔時に使用しているところを見学または実際に使用させることで機器の使用法を習得させる。
カーディアレックスキューRQ-5000トレーナーセット	RQ-5000	2	臨床実習・診療用機器	臨床実習時にAEDの使用法を習得させる。
アンプ気道管理トレーニングモデル一式	10208160	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習時に気道確保法、気管内挿管法を習得させる。
継続定電流治療器 ノーマライザ			臨床実習・診療用機器	口腔領域の神経痛に対する治療法を習得させる。
デスクトップパソコン Inspiron 一式	3650	1	視聴覚用 (学部授業他) 機器	症例プレゼンテーション用
タブレットパソコン YOGA BOOK一式	ZA160037JP	1	視聴覚用 (学部授業他) 機器	症例プレゼンテーション用

レーザー血流計	ALF21D	1	臨床実習・診療用機器 基礎実習・研究用機器	
ノートパソコン	OneMix 2s	1	視聴覚用（学部授業他）機器	授業のデモ及び研究データ解析用
液晶テレビ 50型	FL50U3010	1	視聴覚用（学部授業他）機器	視聴覚用機器
ノートパソコン MacBookPro	MPXQ2JA	1	視聴覚用（学部授業他）機器	授業のデモ及び研究データ解析用

障害者歯科学

全身麻酔器	PRO-45S型	1	臨床実習・診療用機器	酸素・麻酔薬の投与
生体情報モニター一式	BP-608EV II	1	臨床実習・診療用機器	術中患者のモニタリングに使用
HDハンディカム	HDR-SR11	1	視聴覚用機器 臨床実習・診療用機器	症例の提示、プレゼン、記録用
歯科ユニット一式	モリタ障害者用歯科診療セット	1	臨床実習・診療用機器	歯科治療に使用
経皮的酸素飽和度測定装置	Radical 7	1	臨床実習・診療用機器	術中患者のモニタリングに使用
SMARTバイフェージック除細動器 ペースング付	M4735A	1	臨床実習・診療用機器	救急の不整脈治療及び見学実習用
インスツルメントメンテナンス装置	アトメック2104A	1	臨床実習・診療用機器	器具の後始末・洗浄について説明
余剰ガス吸引ポンプ	104-10-10	1	臨床実習・診療用機器	実習時の説明用（麻酔ガスの排気）
デスクトップパソコン	PD732V9GBHW	1	臨床実習・診療用機器	症例プレゼンテーション用
生体情報モニター一式		1	臨床実習・診療用機器	臨床実習に於ける症例の説明
シリンジポンプ	TE-352Q	1	臨床実習・診療用機器	
内視鏡用光源装置 LED 一式	TU-237LED	1	臨床実習・診療用機器	
レストレイナー	CR-1P特寸	1	臨床実習・診療用機器	
Masimo Raainbow SET	Radical7	1	臨床実習・診療用機器	
Masimo Raainbow SET パルスCOオキシメーター	Radical7	1	臨床実習・診療用機器	

内科学

デジタルHDビデオカメラ	CX520V	1	視聴覚用機器	内科診療及び救急蘇生などの実習撮影
ノートパソコン一式	7465-CTO	1	視聴覚用機器	高分解能心電図解析用 講義用
高分解能心電アンブ (プロトタイプ)	IB-81 (心電インプットボックス)	1	臨床実習用機器	高分解能心電図記録のための入力ボックス
デスクトップパソコン・Pavilion	PCHPE-190JP	1	視聴覚用機器	高分解能心電図プログラム 開発と解析
高分解能心電アンブ一式	IB-81	1	臨床実習用機器	高分解能心電図記録（ヘッドアップ）
サーバー (Windows)	ML110G6	1	視聴覚用機器	高分解能心電図プログラム 開発と解析サーバー
レーザープリンター	LBP7200C	1	臨床実習用機器	実習用資料印刷
キャプチャー・パソコンセット	HOBIA	1	臨床実習・診療用機器	授業のデモ及び研究データ 解析用
液晶プロジェクタ	LV-WX310ST	1	視聴覚用機器	症例提示用
2ch 節電2ch 音声収録システム	ADPod	1	基礎実習・研究用機器	実習において嚙下機能を解析する。
携帯型マルチヘルスマニター	チェックミー、プロS	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習における測定値の 実際を把握するために用いる。
マルチ周波数体組織計 プリンター 一式	MC-780A	1	臨床実習・診療用機器	臨床実習において体組織を 把握するために用いる。
携帯型マルチヘルスマニター	チェックミー、プロS	4	臨床実習・診療用機器	臨床実習における測定値の 実際を把握するために用いる。